

白 河 市

子育てしやすい環境づくりを進めるための
アンケート調査報告書

平成31年3月

白河市

目次

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査対象者	1
3 調査期間	1
4 調査方法	1
5 配布数と回収状況	1
6 調査結果の表示方法	2
第2章 調査結果	3
I. 就学前児童	3
1 お住まいの地域について	3
2 お子さんご家族の状況について	4
3 保護者の方の就労状況について	6
4 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況・利用希望について	9
5 地域の子育て支援事業の利用状況について	17
6 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	24
7 幼児教育・保育無償化について	27
8 お子さんの病気の際の対応について	28
9 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	30
10 小学校就学後の放課後の過ごし方について	34
11 家庭の子育て、地域の子育て環境について	36
II. 小学生	55
1 お住まいの地域について	55
2 お子さんご家族の状況について	56
3 保護者の方の就労状況について	58
4 放課後の過ごし方について	62
5 お子さんの病気の際の対応について	68
6 家庭の子育て、地域の子育て環境について	70

第1章 調査の概要

第1章 調査の概要

1 調査の目的

本市では、幼児教育や保育、子育て支援の更なる充実を図り、すべての子どもが尊重され、健やかに成長できる子育て環境の整備を目指すため、平成26年度に計画期間を5年間とする「白河市子ども・子育て計画」を策定いたしました。本調査は、32年度から5年間を計画期間とする第2期計画に、市民の皆様の子育てに関する御意見を反映するため実施したものです。

2 調査対象者

就学前児童、小学生の保護者のうち、無作為に抽出した2,000名（抽出率 51.0%）

【内訳】

就学前児童	小学生	合計
1,000名	1,000名	2,000名

3 調査期間

(1) 調査期間 : 平成30年11月1日(木)～12月5日(水)

4 調査方法

(1) 郵送による配布回収

5 配布数と回収状況

	就学前児童	小学生	全体
配布数	1,000	1,000	2,000
回収数	431	461	892
回収率	43.1%	46.1%	44.6%
無効回答	7	2	9
有効回答数	424	459	883
有効回答率	42.4%	45.9%	44.2%

6 調査結果の表示方法

- 集計は、小数点以下第2位を四捨五入しています。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合があります。
- 回答の比率(%)は、その質問の回答者数(n値)を基数として算出しています。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超える場合があります。
- 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合があります。
- クロス集計については、原則として「無回答」を除いています。また、「その他」や回答者数が少なく統計上有意でないと判断した項目などは適宜除外しています。
- クロス集計結果についてのコメントは、回答者数が少なく、統計上有意でないと判断した項目については省略しています。

第2章 調査結果

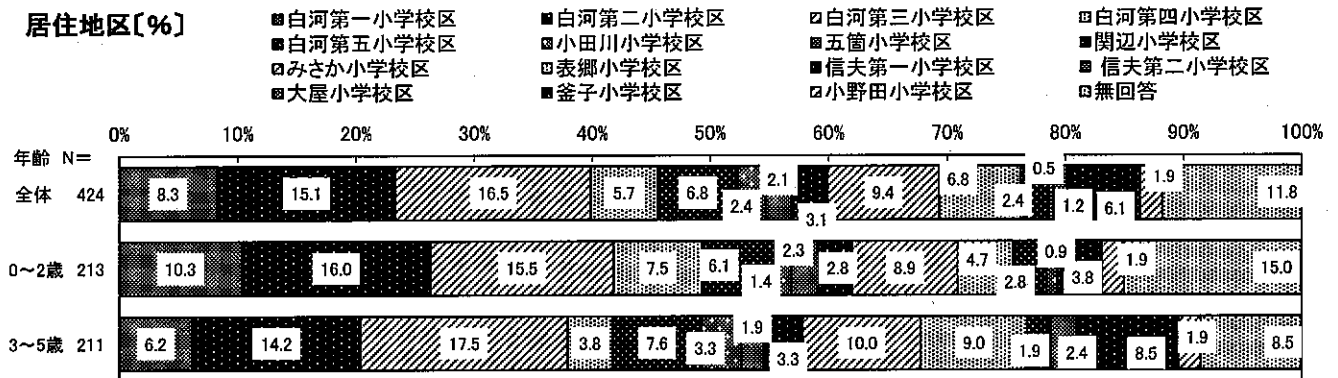
第2章 調査結果

I. 就学前児童

1 お住まいの地域について

問1 お住まいの地区はどちらですか。

最も多い「白河第三小学校区（16.5%）」に対し、最も少ないのは「信夫第二小学校区（0.5%）」となっています。また、「信夫第二小学校区」では3歳～5歳の区分、「大屋小学校区」では0歳～2歳の区分で、回答者が0人となりました。



アンケート回答者の児童の年齢は問2の集計により、以下のとおりとなっています。

[人]

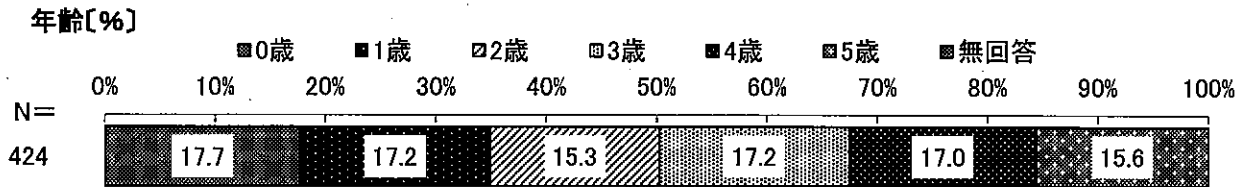
		合計	問2. お子さんの年齢（質問は生年月）					
			0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
全体		424	75	73	65	73	72	66
問1. お住まいの地区はどちらですか。	白河第一小学校区	35	5	8	9	4	5	4
	白河第二小学校区	64	14	12	8	6	12	12
	白河第三小学校区	70	10	14	9	15	10	12
	白河第四小学校区	24	4	5	7	2	2	4
	白河第五小学校区	29	6	6	1	12	3	1
	小田川小学校区	10	2	1	0	2	1	4
	五箇小学校区	9	2	3	0	1	1	2
	関辺小学校区	13	3	1	2	1	4	2
	みさか小学校区	40	3	8	8	9	7	5
	表郷小学校区	29	5	2	3	5	5	9
	信夫第一小学校区	10	2	1	3	2	1	1
	信夫第二小学校区	2	1	0	1	0	0	0
	大屋小学校区	5	0	0	0	2	2	1
	釜子小学校区	26	4	3	1	7	10	1
小野田小学校区	8	1	1	2	0	3	1	

※年齢は平成30年4月1日時点で生年月より算出

2 お子さんご家族の状況について

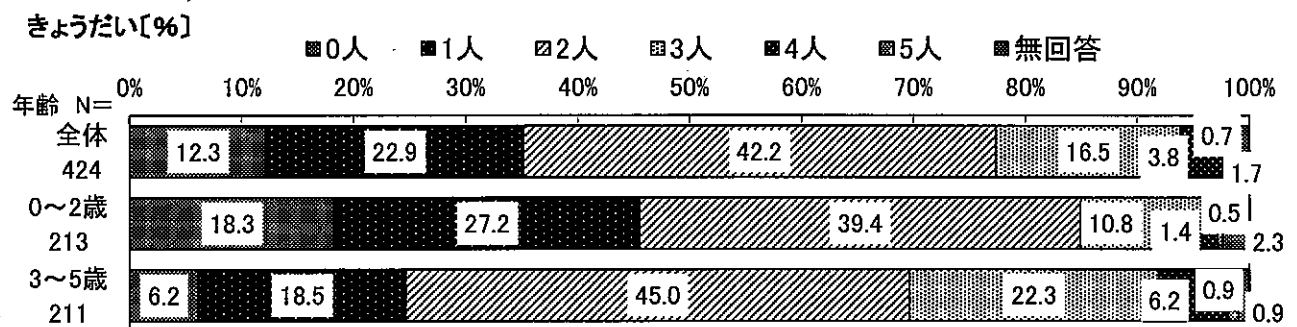
問2 お子さんの年齢を教えてください。(実際の記入は生年月)

調査対象のお子さんの年齢割合は以下の通りとなっています。ほぼ各年齢均等となっています。



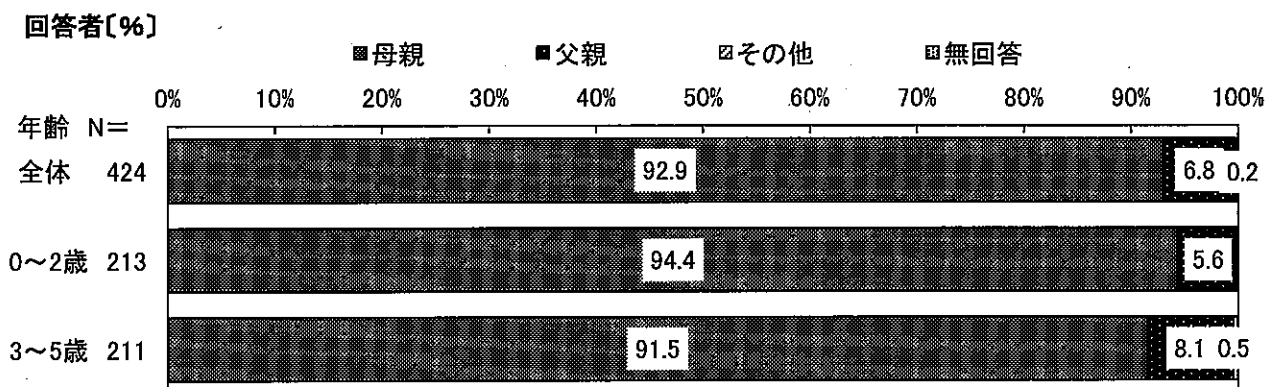
問3 きょうだいの人数と末子の方の年齢(末子の方の実際の記入は生年月)を教えてください。(きょうだいの人数は、調査対象の子を含めた人数)

きょうだいの人数は「2人」が最も多く、全体の42.2%を占めています。「調査対象のお子さんが末子」は141名、「調査対象のお子さん以外が末子」は107名、不明が19名となっています。



問4 ご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。

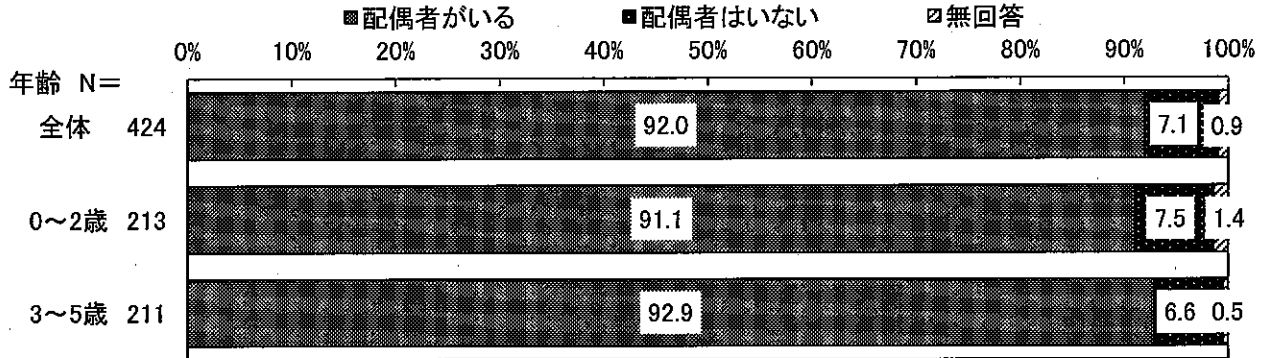
母親の回答率が高く、0~2歳は94.4%、3~5歳は91.5%となっています。



問5 ご回答いただいている方の配偶関係をお答えください。

ひとり親世帯は、全体では7.1%で、0~2歳では7.5%、3~5歳では6.6%となっています。

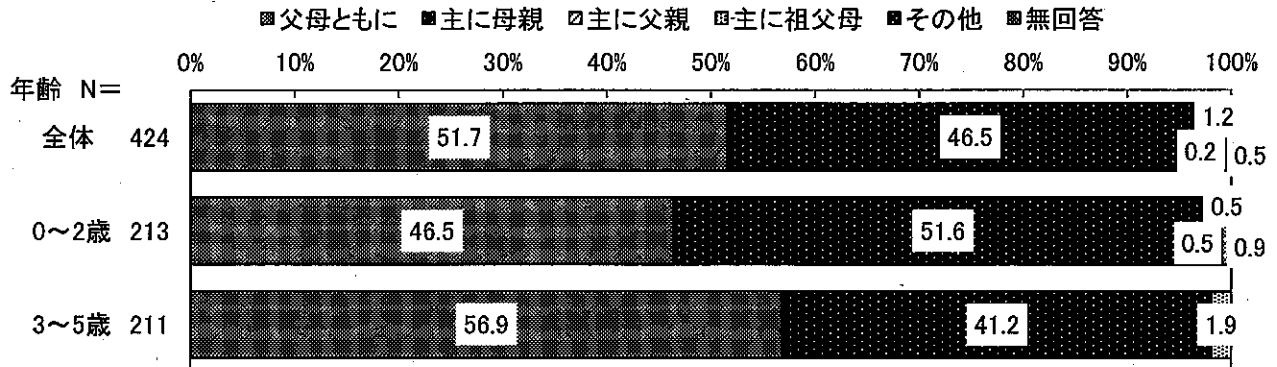
回答者の配偶関係[%]



問6 お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。

0~2歳では「主に母親」が51.6%で、3~5歳に比べ10.4%高くなっています。3~5歳では「父母ともに」が56.9%と0~2歳に比べ10.4%高くなっています。

主に子育てをしている人[%]



			問6. あて名のお子さんの子育て（教育含む）を主に行っているのはどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。（%）						
			合計	父母ともに	主に母親	主に父親	主に祖父母	その他	無回答
(人)			(人)						
全体 424			424	51.7	46.5	0.2	1.2	0.0	0.5
問2. お子さん 年齢区分	0~2歳	213	213	46.5	51.6	0.5	0.5	0.0	0.9
	3~5歳	211	211	56.9	41.2	0.0	1.9	0.0	0.0

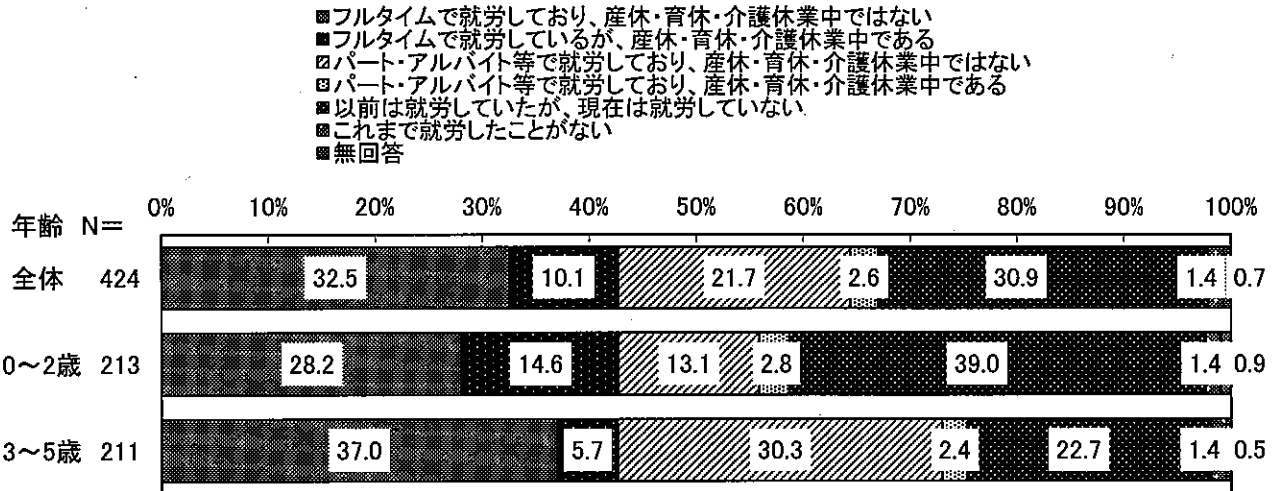
3 保護者の方の就労状況について

問7 保護者の方の就労状況（自営業・家族従事者含む）についてお答えください。

母親の就労状況は、「育休中等」も含めて、「フルタイムでの就労」は、全体で42.6%となっています。また、「パート・アルバイト等で就労して育休中等ではない」は、0～2歳では13.1%、3～5歳では30.3%となっています。「以前就労していたが、現在は就労していない」が、0～2歳では39.0%、3～5歳では、22.7%となっていて、その差は16.3%です。

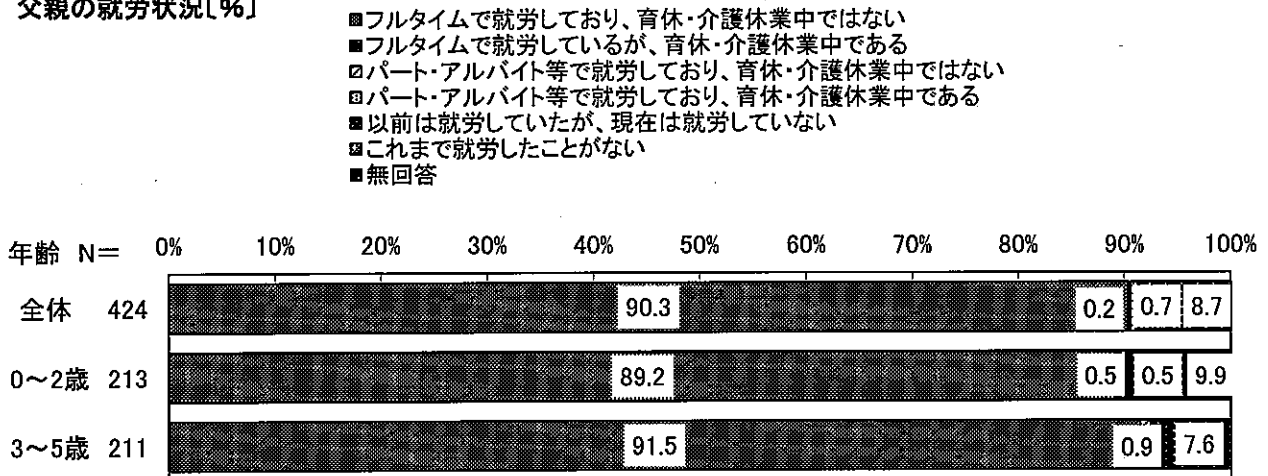
お子さんの年齢が高くなるにつれて、就労している比率が高くなっています。

母親の就労状況[%]



父親の就労状況は全体では「フルタイムで就労」が90.3%で、「育休中等」(0.2%)を加えると、90.5%です。「育休中等」は、0～2歳では0.5%で3～5歳ではいませんでした。

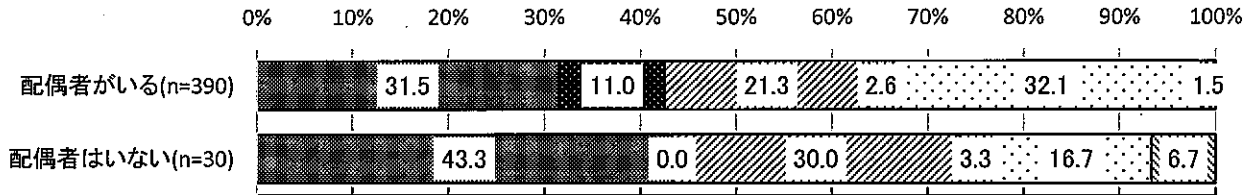
父親の就労状況[%]



ひとり親世帯（母親）の就労状況では、「フルタイムの就労（育休中等含む）」は43.3%と配偶者がいる世帯の42.5%とあまり差はありませんが、「育休中等」は0%と配偶者がいる世帯の11.0%と大きな差があります。また、「パート・アルバイト等で就労（育休中等含む）」も、配偶者がいる世帯に比べ、9.4%多い状況です。

母親の就労状況（配偶者有無別）〔%〕

- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答



※ 父親の就労状況（配偶者有無別）〔%〕

父親のひとり親世帯では、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が2名、未回答が28名でした。

問8 問7で「パート・アルバイト等で就労している」とお答えの方のうち、フルタイムへの転換希望はありますか。

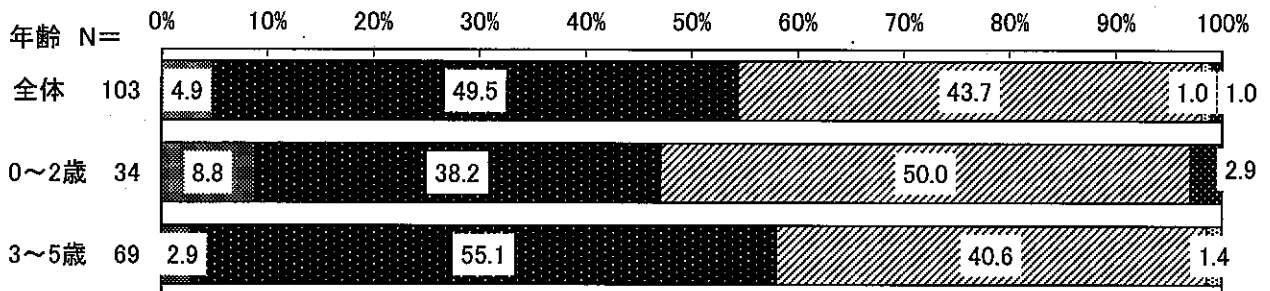
母親の「パート・アルバイト等からのフルタイムへの転換希望」は、全体で54.4%ですが、「予定がある」は、4.9%と低くなっています。「フルタイムへの転換希望」は、3～5歳で58.0%と0～2歳の47.0%に比べ高くなっています。

「アルバイト・パート等の就労を希望」は、0～2歳で50.0%、3～5歳で40.6%とお子さんの年齢が低い方が高くなっています。

ひとり親世帯（母親）の「フルタイムへの転換希望」は70.0%で、配偶者がいる世帯の54.4%に比べ、高くなっています。

パート等の母親/フルタイムへの転換希望〔%〕

- フルタイムへの転換予定がある
- フルタイムへの転換希望はあるが、予定はない
- パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答



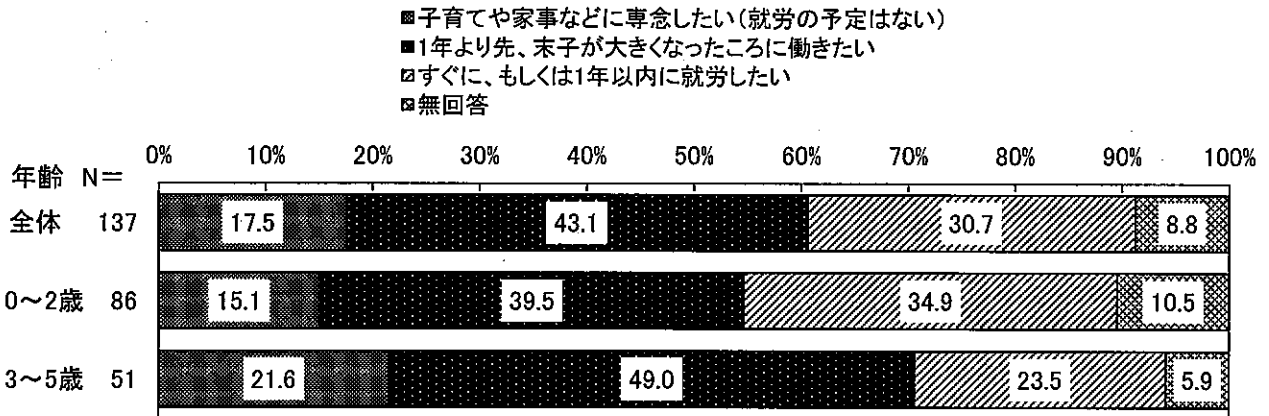
※ パート等の父親/フルタイムへの転換希望〔%〕

父親のフルタイムへの転換希望は全体で3名で、全員「転換希望はあるが、予定はない」でした。

問9 問7で「就労していない・就労したことがない」とお答えの方にはうかがいます。就労希望はありますか

全体で73.8%が就労を希望しています。また、「子育てや家事などに専念したい」が、0～2歳は15.1%に対し、3～5歳では21.6%と高く、「すぐに、もしくは1年以内に就労したい」が、0～2歳で34.9%に対し、3～5歳では23.5%と低くなっています。

未就労の母親/就労希望[%]



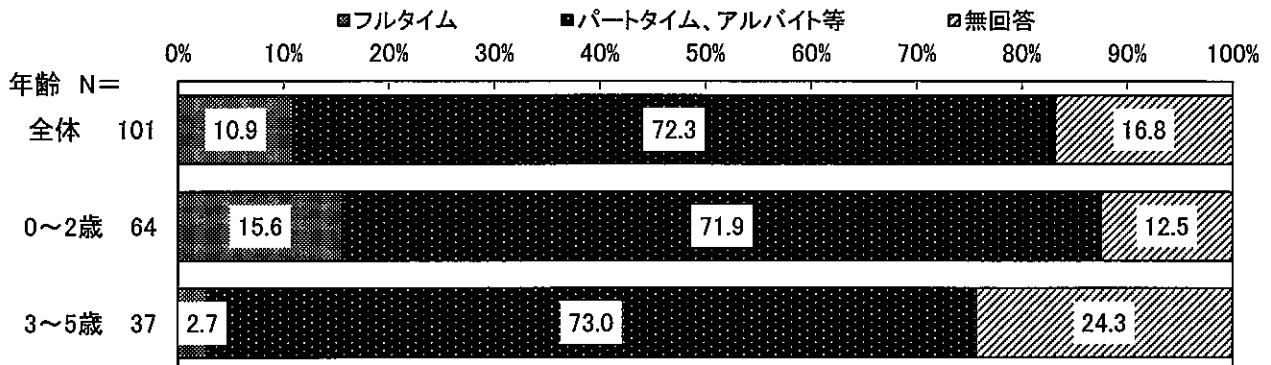
※ 未就労の父親/就労希望 [%]

父親の当設問の該当者は0名でした。

問9-1 問9で「就労したい」とお答えの方にはうかがいます。希望する就労形態をお答えください。

希望する就労形態は、「フルタイム」が、0～2歳では15.6%に対し、3～5歳では2.7%と大幅に低くなっています。母親の希望日数(週あたり)と時間(1日あたり)で多いのは、日数が3日～5日で74.3%、時間は4時間～5時間で50.5%です。

就労したい母親/希望する就労形態[%]



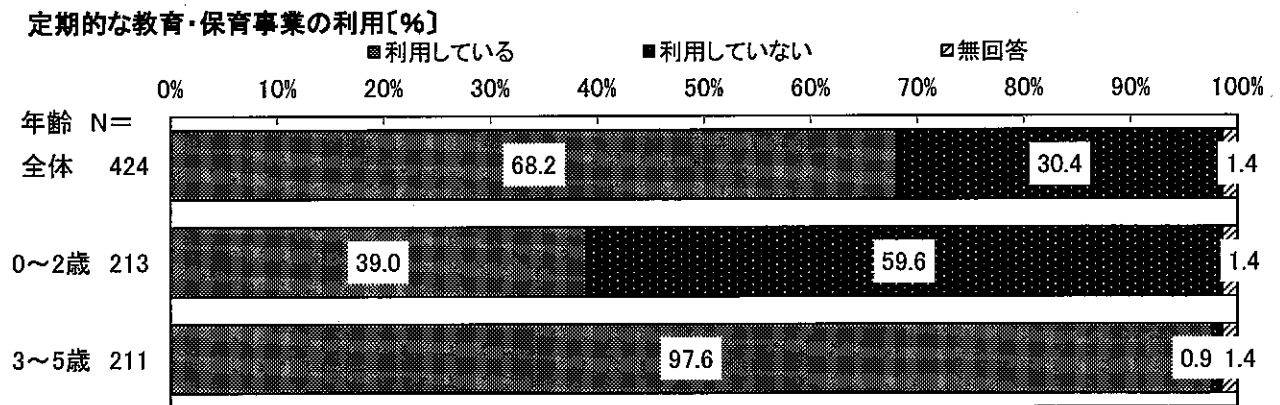
※ 就労したい父親/希望する就労形態 [%]

父親の当設問の該当者は0名でした。

4 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況・利用希望について

問 10 幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。

定期的な教育・保育事業の利用状況は、0～2歳では39.0%ですが、3～5歳では97.6%でほとんどのお子さんが利用しています。

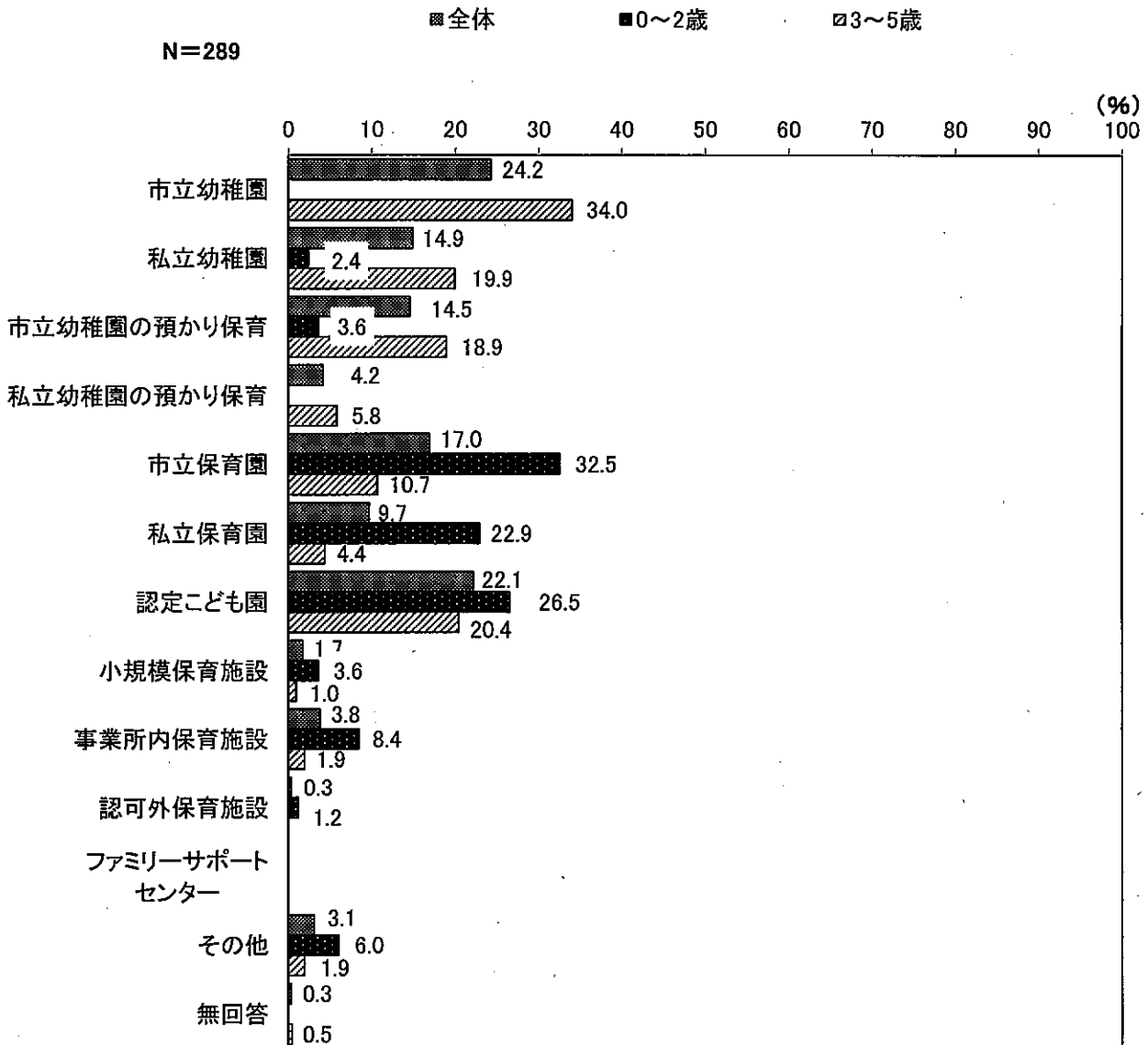


問 10-1 平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。(複数回答)

平日に利用している教育・保育事業は、0～2歳では、「市立保育園」が32.5%と最も多く、次に「認定こども園」が26.5%となっています。3～5歳では、「市立幼稚園」の利用が34%と最も多く、次に私立幼稚園が19.9%となっています。

なお、ひとり親世帯では、「私立幼稚園・保育園」利用が合わせて43.5%と、「市立幼稚園・保育園」の利用(34.8%)を8.7%上回っています。

利用者/教育・保育事業[%・複数回答]



問 10-2 問 10 で利用しているとお答えになった教育・保育の事業を現在どれくらい利用していますか。希望としてはどれくらい利用したいですか。

1日当たりの利用時間は「7～9時間」が最も多く、44.6%でした。週内利用日数は「5日」が最も多く、50.5%となっています。週内利用時間は、「21時間～30時間」、「31時間～40時間」がそれぞれ26.0%、27.7%と多くなっています。

また、1日当たりの利用希望時間は全体では「7～9時間」が42.4%ですが、ひとり親世帯では、60.9%となっています。週内利用希望日数は、全体では「5日」が86.5%と最も多くなっています。週内利用希望時間は全体では、「21～30時間」、「31～40時間」がそれぞれ26.0%、27.8%と多くなっていますが、ひとり親世帯では、「31時間以上」が多くなっています。

①1日利用時間(n=289)

時間/日	%
～3時間	1.0
～6時間	33.6
～9時間	44.6
不明・無回答	20.8

②週内利用日数(n=289)

日/週	%
3日	0.7
4日	2.1
5日	50.5
6日	8.0
不明・無回答	38.8

③週内利用時間(n=289)

時間/週	%
～20時間	10.0
～30時間	26.0
～40時間	27.7
41時間～	15.2
不明・無回答	21.2

④1日利用希望時間

	配偶者あり (%)	配偶者なし (%)	合計 (%)
～3時間	1.1%	0.0%	1.0%
～6時間	36.2%	4.3%	33.7%
～9時間	40.8%	60.9%	42.4%
不明・無回答	21.9%	34.8%	22.9%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

⑤週内利用希望日数

	配偶者あり (%)	配偶者なし (%)	合計 (%)
3日	2.3%	4.3%	2.4%
4日	4.2%	4.3%	4.2%
5日	87.2%	78.3%	86.5%
6日	2.3%	0.0%	2.1%
不明・無回答	4.2%	13.0%	4.9%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

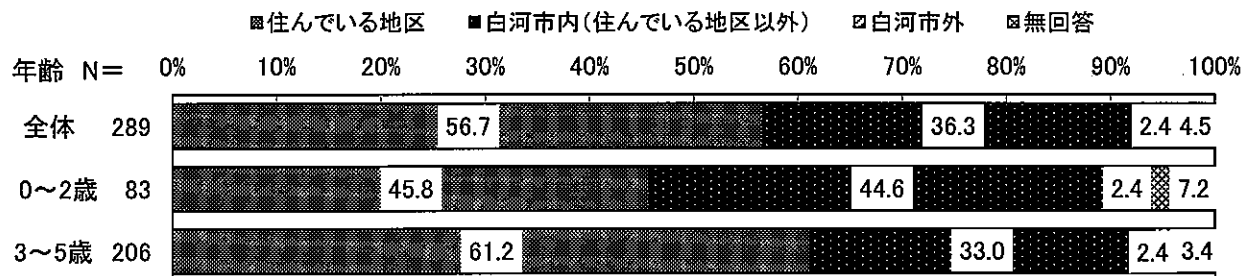
⑥週内利用希望時間

	配偶者あり (%)	配偶者なし (%)	合計 (%)
～20 時間	10.9%	0.0%	10.1%
～30 時間	27.2%	13.0%	26.0%
～40 時間	26.8%	39.1%	27.8%
41 時間～	13.6%	34.8%	15.3%
不明・無回答	21.5%	13.0%	20.8%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

問 10-3 問 10 で利用しているとお答えになった教育・保育の事業の場所はどこですか。

0～2 歳では「市内（住んでいる地区以外）」の利用が 44.6%と 3～5 歳に比べ 11.6%高くなっています。

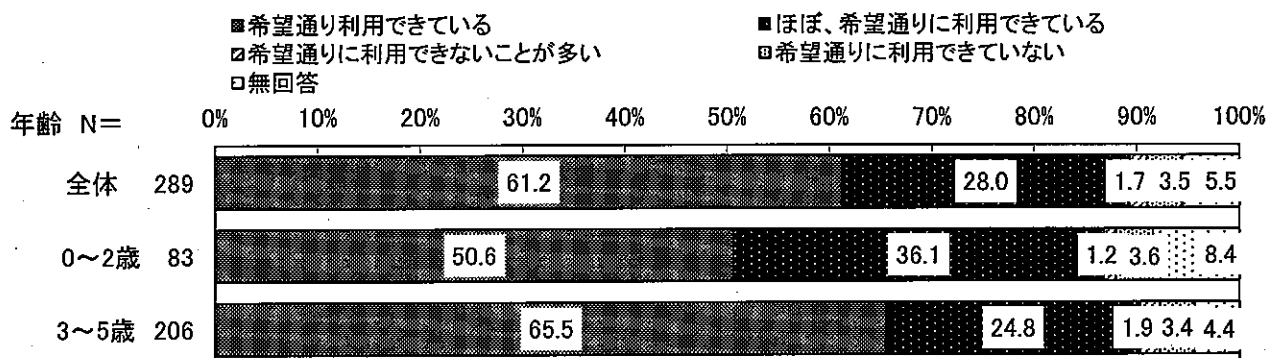
利用者/教育・保育事業の場所[%]



問 10-4 問 10 で利用しているとお答えになった教育・保育の事業は、希望通り利用できていますか。

「希望通り利用できている」と「ほぼ、希望通り利用できている」を合わせると、0～2 歳では 86.7%、3～5 歳の 90.3%とあまり差はありませんが、「希望通り利用できている」だけを見ると 0～2 歳では 50.6%と 3～5 歳に比べ 14.9%低くなっています。

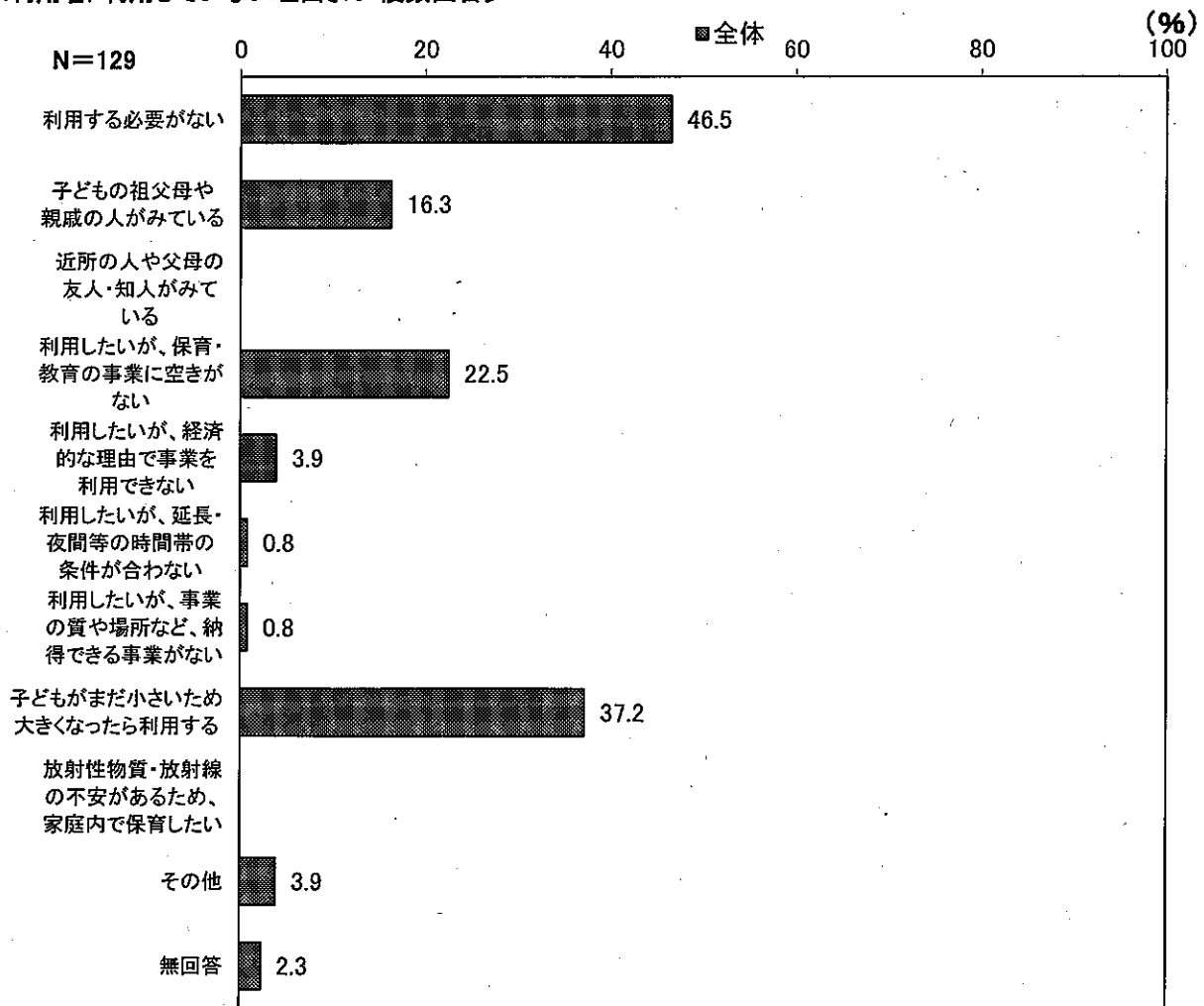
利用者/希望どおりの利用になっているか[%]



問 10-5 問 10 で利用していないとお答えになった方に、利用していない理由をうかがいます。(複数回答)

「利用していない」は 129 名で、そのうち 0~2 歳が 127 名とほとんどを占めています。その理由としては、「利用する必要がない (46.5%)」、「子どもが小さいため、大きくなったら利用する (37.2%)」、さらには「利用したいが保育・教育の事業に空きがない (22.5%)」が多くなっています。

未利用者/利用していない理由[%・複数回答]



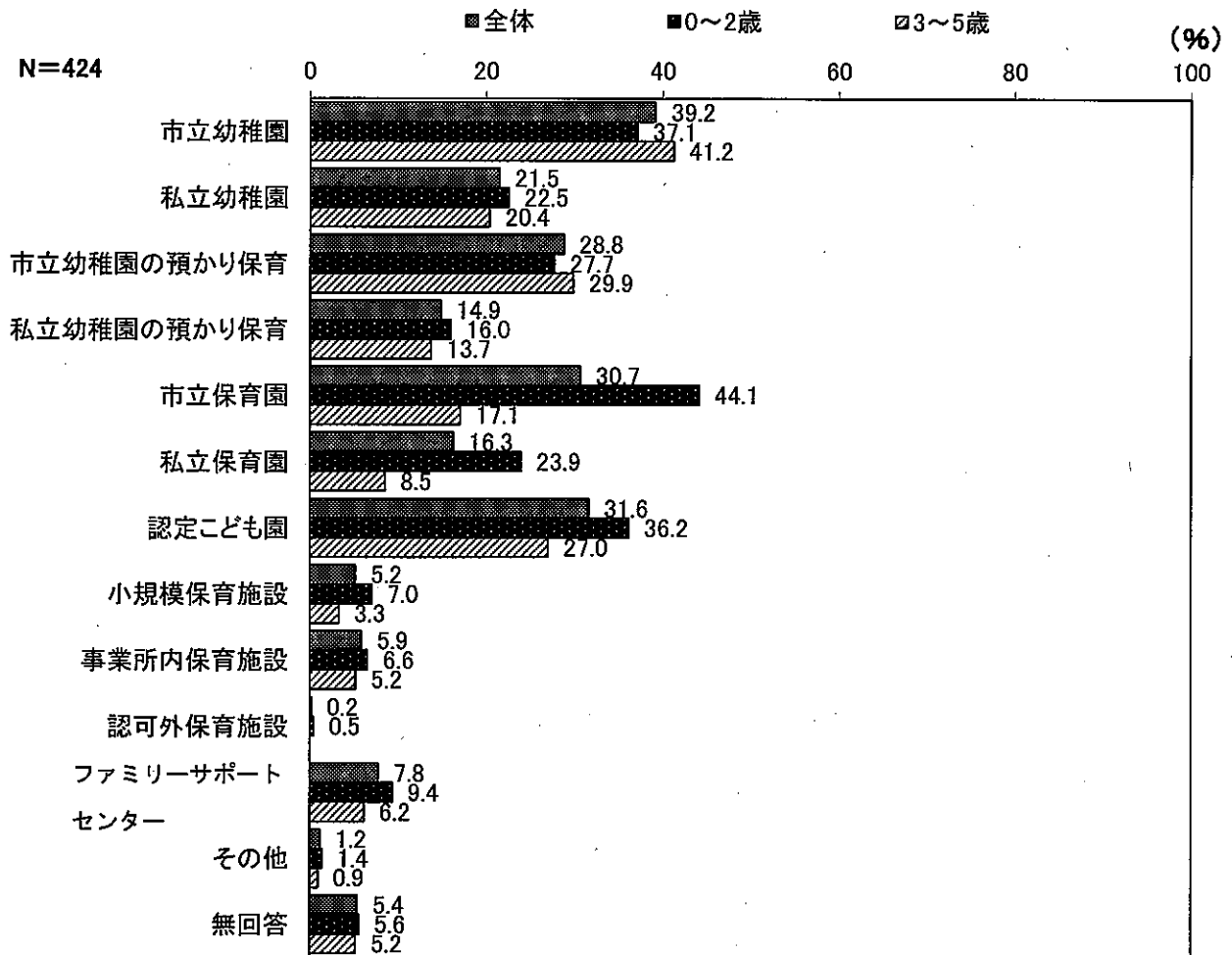
問 10-6 問 10-5 で「利用したいが延長・夜間等の条件が合わない」とお答えになられた方に、利用したい日数、時間（時間帯）をうかがいます。

回答者は 1 名で、週 6 日、7 時~19 時を希望しています。

問 11 「利用している、利用していない」にかかわらず、平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したい事業をお答えください。(複数回答)

全体では「市立幼稚園」39.2%、「認定こども園」31.6%及び市立保育園が30.7%と多くなっていますが、0～2歳では、「市立保育園」が44.1%となっています。また、ひとり親世帯では、「幼稚園（預かり保育を除く）」の利用希望が62.3%と、ふたり親世帯に比べ22.3%低くなっています。

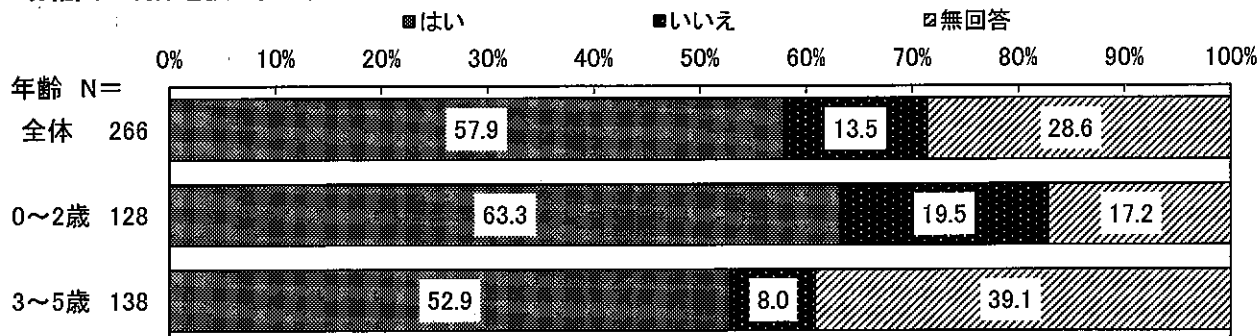
定期的に利用したい教育・保育事業[%・複数回答]



問 11-1 問 11 で「幼稚園・幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ市立保育園からその他のどれかに○をつけられた方にうかがいます。幼稚園・幼稚園の預かり保育の利用を強く希望しますか。

0～2歳では、「はい」が63.3%と高くなっていますが、「いいえ」も19.5%となっています。

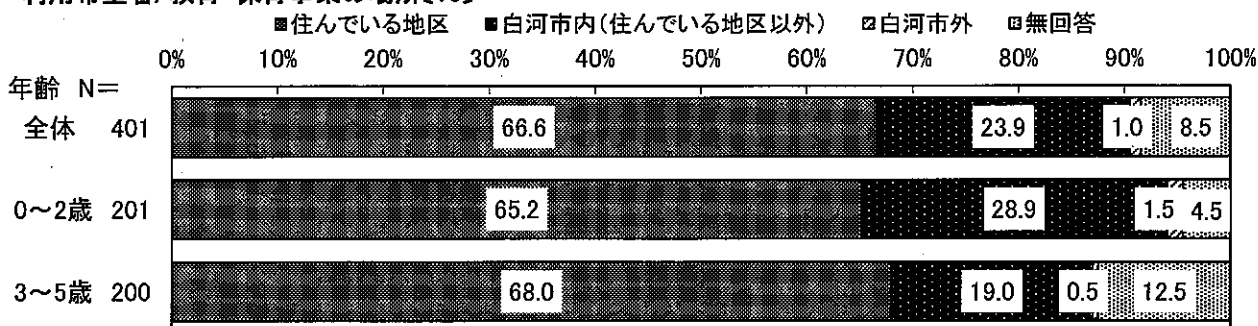
幼稚園の利用を強く希望[%]



問 12 問 11 で利用したいとお答えになった教育・保育の事業の主に利用したい場所はどちらですか。

全体では、市内が90.5%となっています。

利用希望者/教育・保育事業の場所[%]

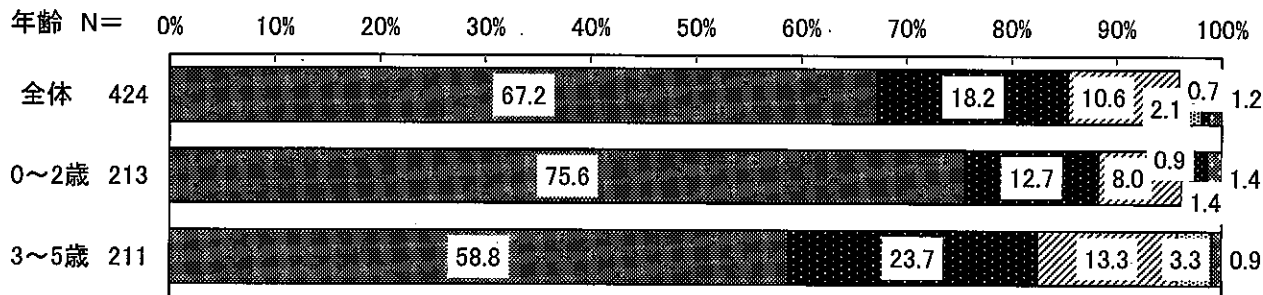


問 13 小学校入学前に幼稚園等の教育機関で、教育を受けさせることを希望しますか。

0～2歳では、「是非、受けさせたい」が75.6%と3～5歳の58.8%に比べ16.8%多くなっています。3～5歳では、「希望する教育内容を実施していれば受けさせたい」が23.7%と0～2歳に比べ11.0%多くなっており、「保育園に通っているので不要(13.3%)」「小学校入学前の教育は不要(3.3%)」も0～2歳に比べそれぞれ5.3%、2.4%多くなっています。

就学前の教育の希望[%]

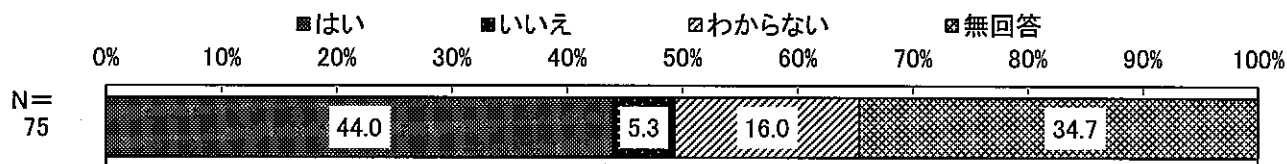
- 是非、受けさせたい
- 希望する教育内容を実施していれば、受けさせたい
- 保育園に通っているので不要
- 小学校入学前の教育は不要
- その他
- 無回答



問 14 1歳から必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得したいですか。

取得希望が44.0%となっていますが、「わからない」「無回答」が合わせて50.7%となっています。

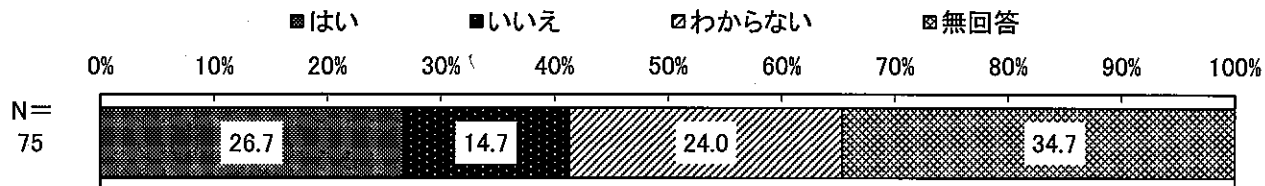
1歳になるまでの育児休業取得希望[%]



問 15 1年を超える育児休業の取得希望はありますか。

取得希望が26.7%となっていますが、「わからない」「無回答」が合わせて58.7%となっています。

1年を超える育児休業取得希望[%]



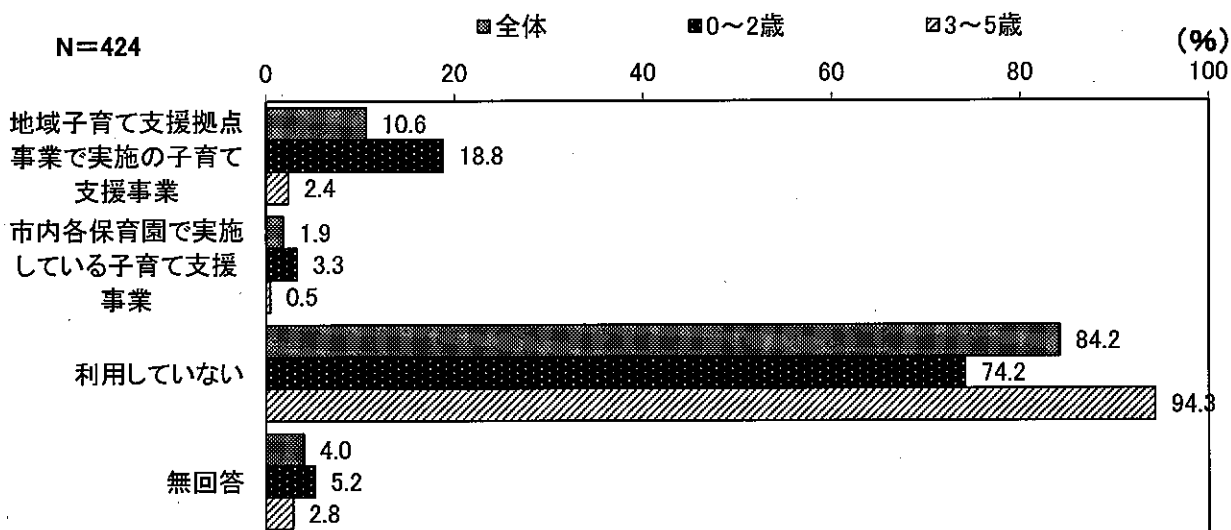
5 地域の子育て支援事業の利用状況について

問 16 「地域子育て支援拠点事業（おひさまひろば・たんぽぽサロン・赤ちゃんひろば）や市内各保育園で実施している子育て支援事業（子育て相談・親子交流・情報交換）」を利用していますか。（複数回答） また、おおよその利用回数（頻度）をお答えください。

「地域子育て支援拠点事業」は、0～2歳では18.8%、全体では10.6%となっています。1ヵ月当たりの利用回数については、「地域子育て支援拠点事業」は50名中、25名の方が1～2回となっています。10回以上も5名おり、最大利用回数は15回（1名）です。「市内各保育園で実施している子育て支援事業」の利用回数は7名中、1～2回は6名、4回は1名です。

ひとり親世帯では（n=30）、「地域子育て支援拠点事業」は1名です。

地域の子育て支援事業の利用状況[%・複数回答]



※ 地域の子育て支援事業の学校区別利用率比較

地域子育て支援拠点事業の利用率が高いのは、白河第一小学校区、白河第二小学校区、白河第三小学校区、白河第四小学校区と信夫第一小学校区です。

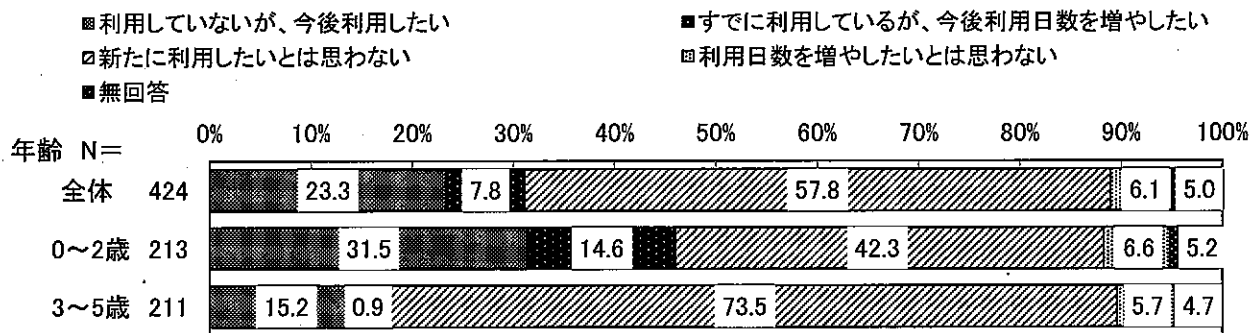
	地域子育て支援拠点事業	市内各保育園の子育て支援事業
白河第一小学校区	13.9%	28.6%
白河第二小学校区	30.6%	28.6%
白河第三小学校区	16.7%	0.0%
白河第四小学校区	13.9%	14.3%
白河第五小学校区	5.6%	28.6%
小田川小学校区	0.0%	0.0%
五箇小学校区	0.0%	0.0%
関辺小学校区	0.0%	0.0%
みさか小学校区	2.8%	0.0%
表郷小学校区	2.8%	0.0%
信夫第一小学校区	11.1%	0.0%
信夫第二小学校区	0.0%	0.0%
大屋小学校区	2.8%	0.0%
釜子小学校区	0.0%	0.0%
小野田小学校区	0.0%	0.0%

問 17 「地域子育て支援拠点事業」や「市内各保育園で実施している子育て支援事業」をできれば今後利用したいですか。あるいは利用日数を増やしたいと思いますか。また、おおよその利用回数（頻度）をお答えください。

「地域子育て支援拠点事業」については、0～2歳では「利用していないが、今後利用したい(31.5%)」と「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい(14.6%)」で合わせて46.1%となっています。3～5歳では「新たに利用したいとは思わない(73.5%)」と「利用日数を増やしたいとは思わない(5.7%)」で合わせて79.2%となっています。

ひとり親世帯では(n=30)、「新たに利用したいとは思わない」との回答が17名です。

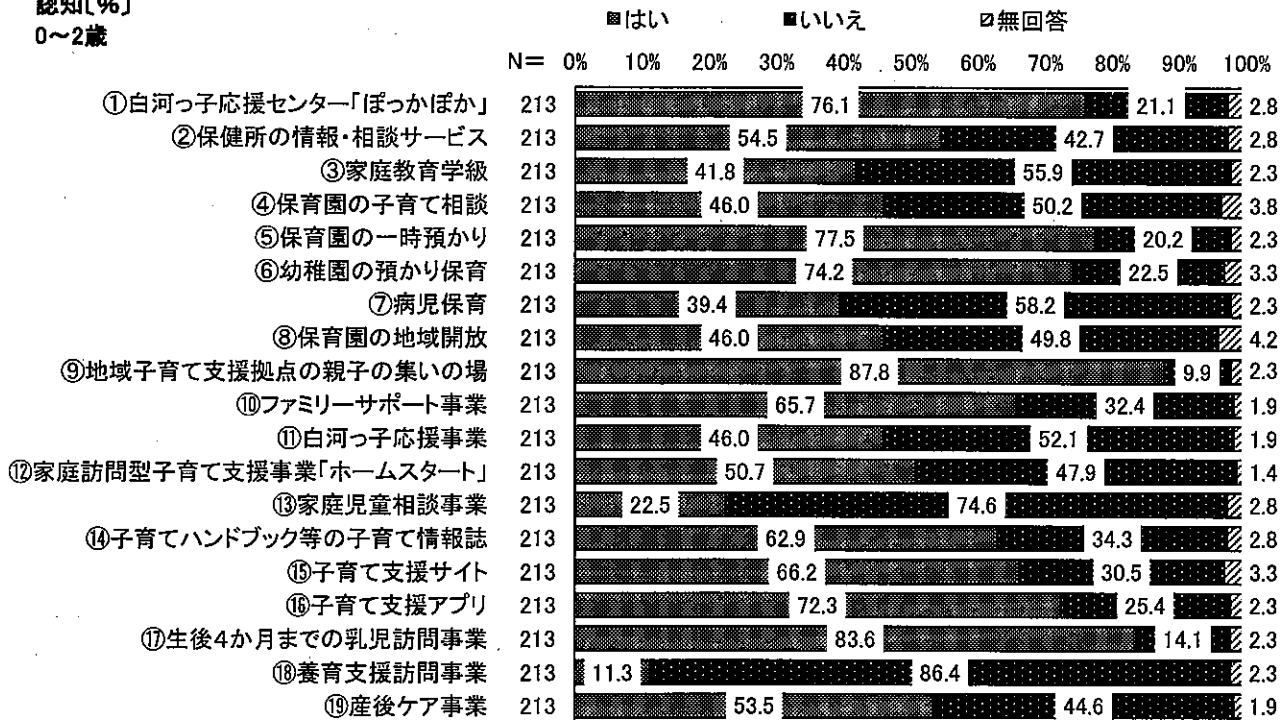
地域子育て支援事業の利用希望[%]



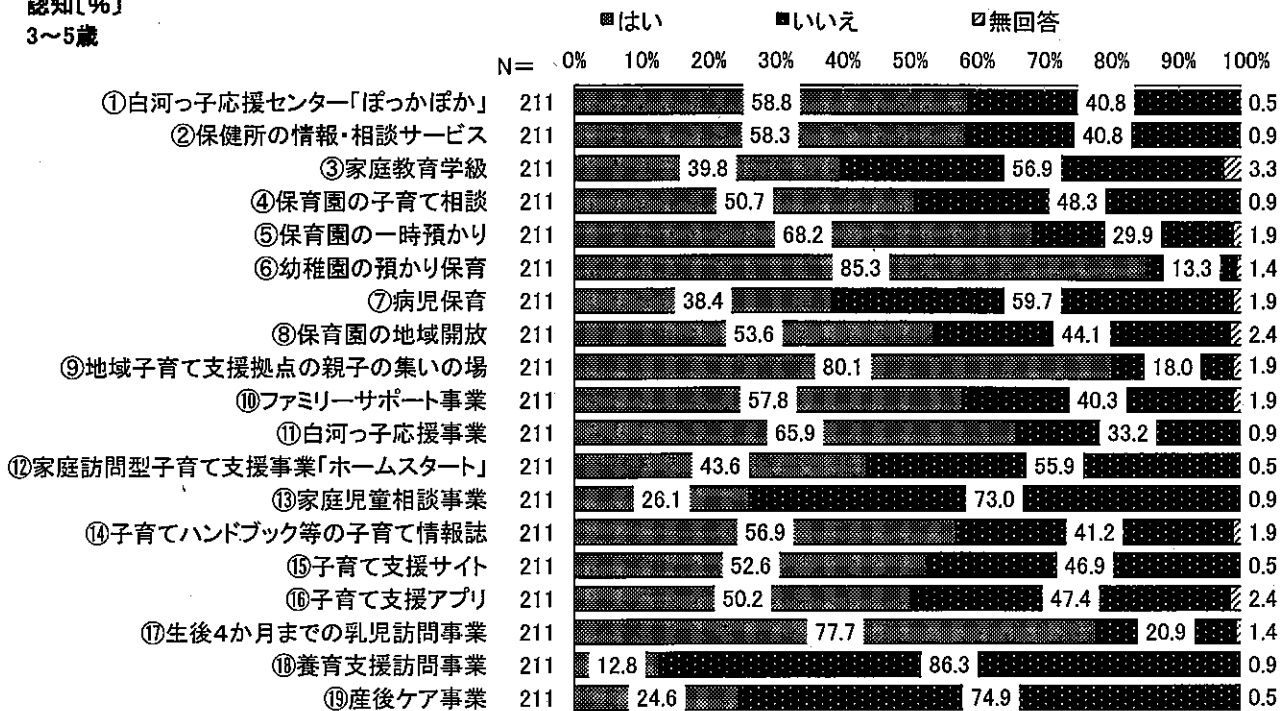
問 18 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。ただし、「利用したことがあるか」「利用したいと思う」かは、事業を「知っている」とお答えの方のみお答えください。

0～2歳では全般に認知度は高くなっていますが、「養育支援訪問事業（11.3%）」と「家庭児童相談事業（22.5%）」は低くなっています。3～5歳でも0～2歳と同様の傾向で、「養育支援訪問事業（12.8%）」「家庭児童相談事業（26.1%）」が低くなっています。

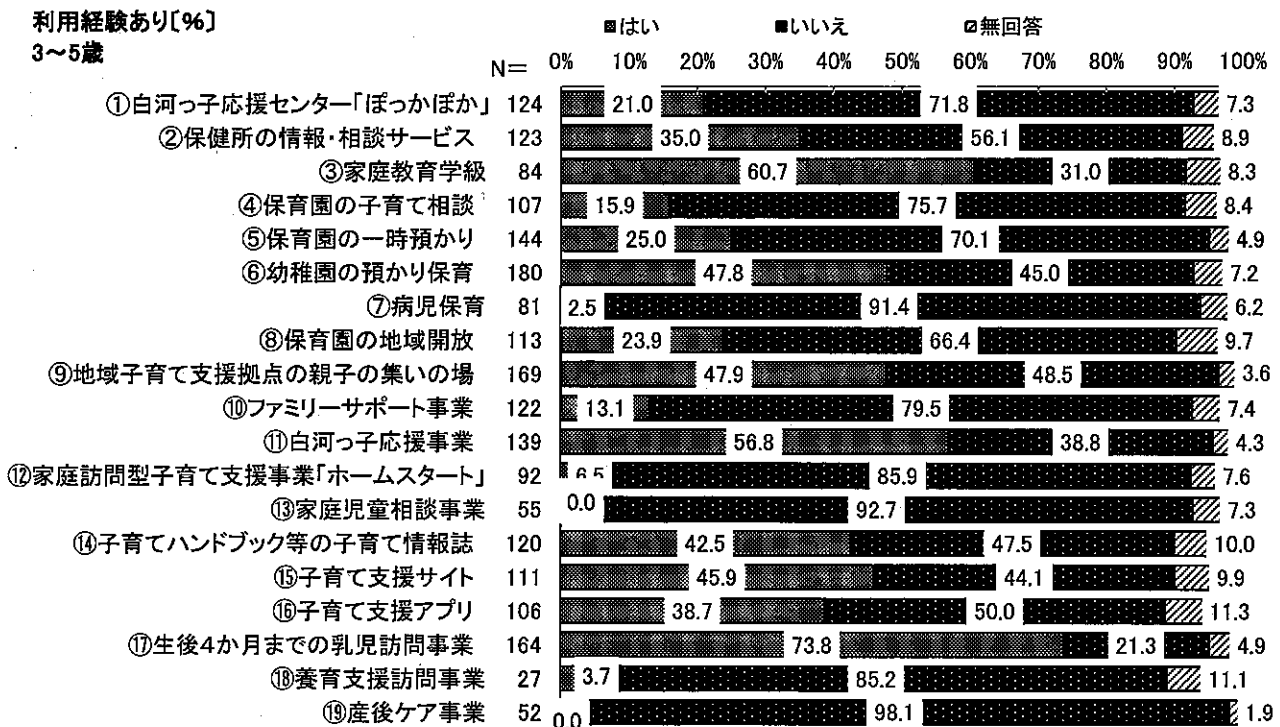
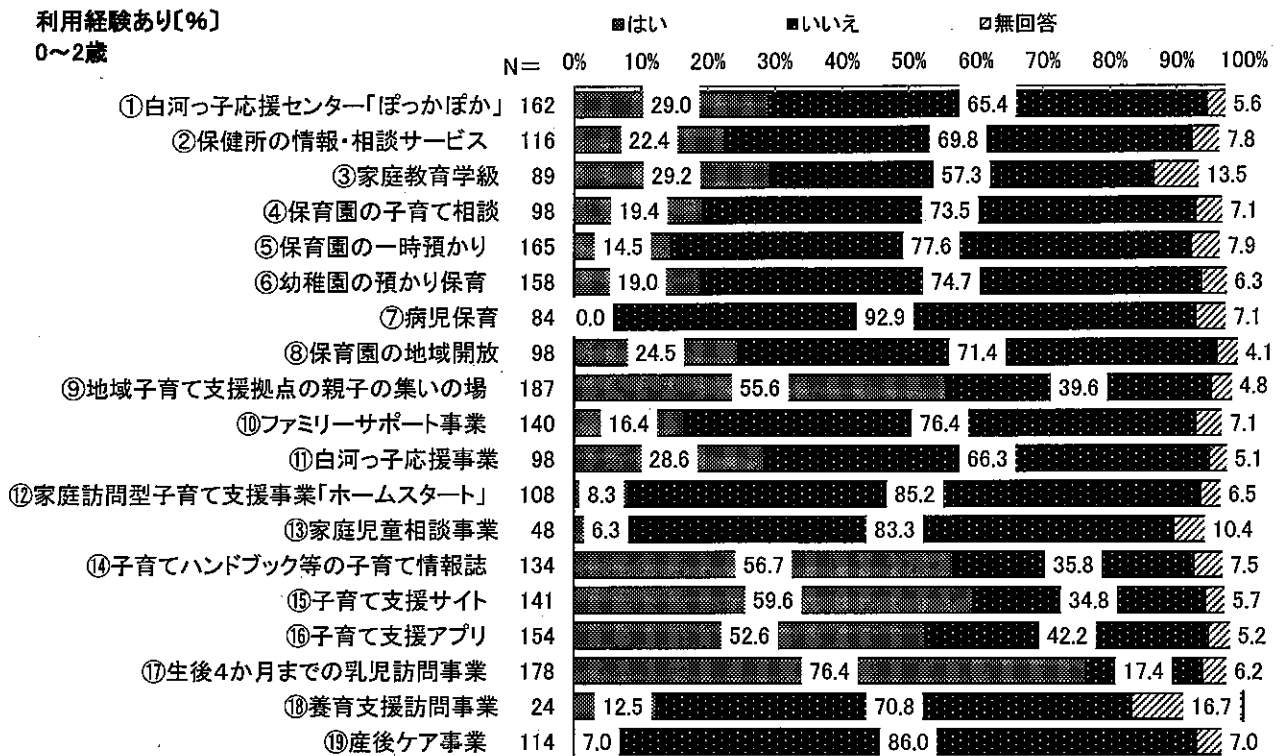
認知[%]
0～2歳



認知[%]
3～5歳



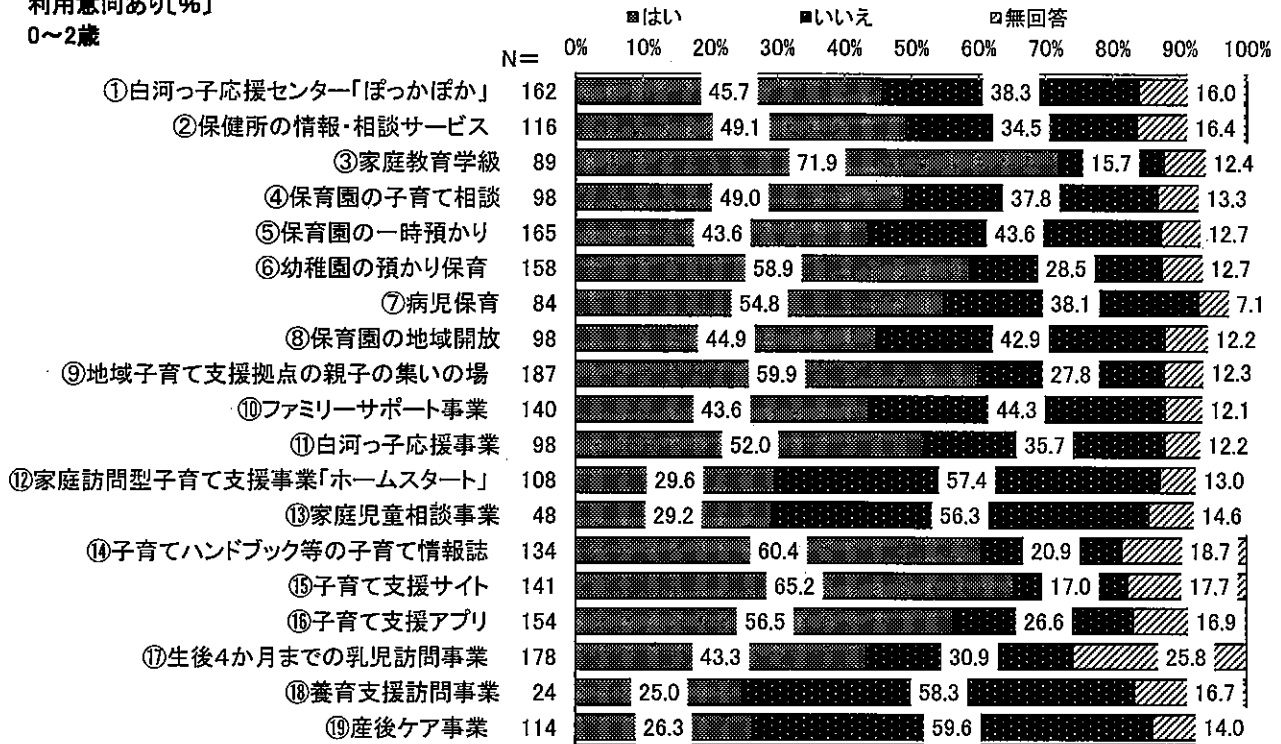
0～2歳で特に利用経験が低いものは「病児保育（0.0%）」「家庭児童相談事業（6.3%）」「産後ケア事業（7.0%）」です。3～5歳でも同様に「家庭児童相談事業（0.0%）」「産後ケア事業（0.0%）」「病児保育（2.5%）」となっています。「子育てハンドブック等の情報誌」「子育て支援サイト」「子育て支援アプリ」の利用は全体でも高くなっていますが、0～2歳では50%台で、3～5歳よりも10%以上高くなっています。



利用意向は全般的に利用経験よりも高い傾向にあり、また3～5歳に比べ0～2歳の方が高い傾向にあります。0～2歳では特に「家庭教育学級」が71.9%と高くなっています。3～5歳では「地域子育て支援拠点の親子の集いの場（利用経験47.9%→利用意向29.6%）」「白河っ子応援事業（利用経験56.8%→利用意向41.0%）」が利用経験に比べ、利用意向が低くなっています。また、「病児保育」の利用意向は、0～2歳で54.8%、3～5歳で34.6%となっています。

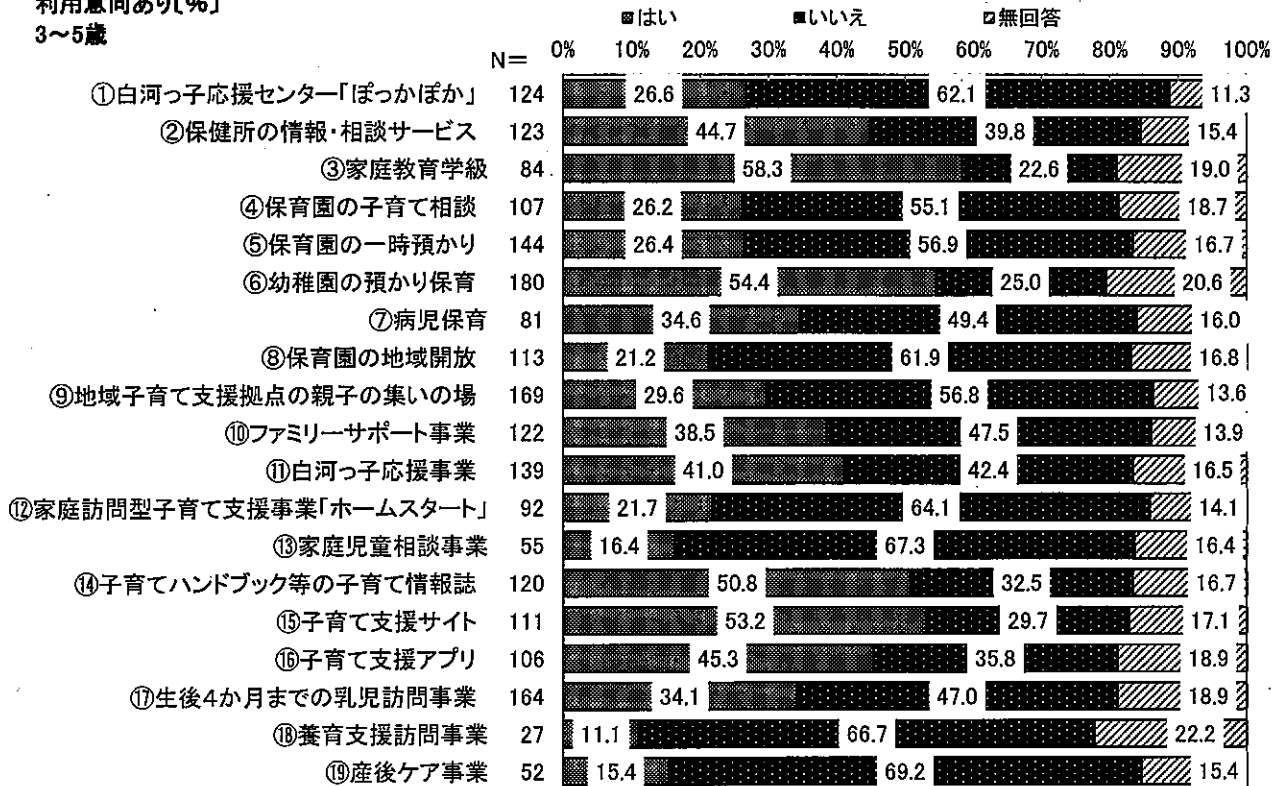
利用意向あり[%]

0～2歳



利用意向あり[%]

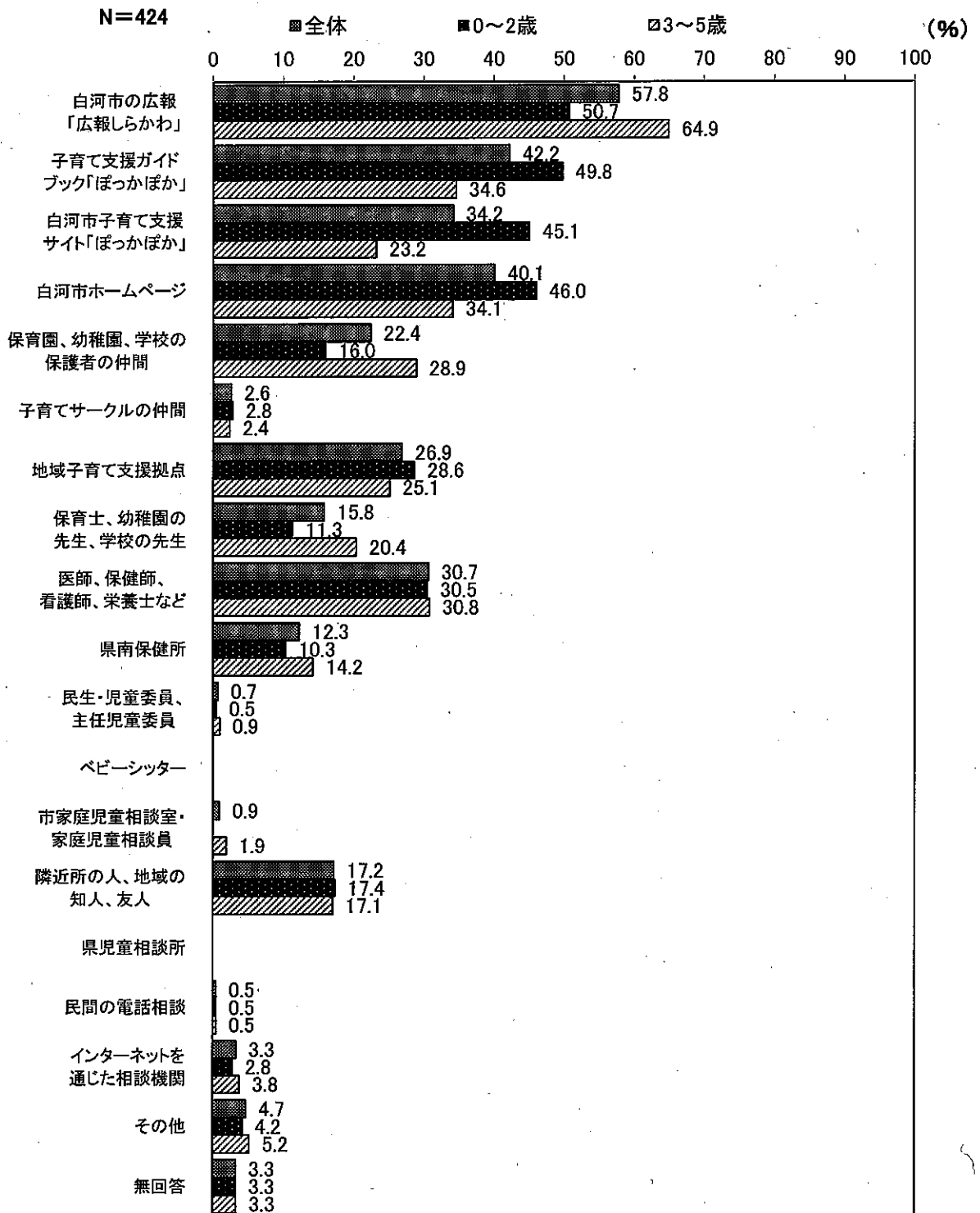
3～5歳



問 18-1 問 18 の各事業を知ったきっかけをお答えください。(複数回答)

3～5歳では、「広報しらかわ」からの情報入手が64.9%と次の「ガイドブックぽっかぽか」に比べ30%高くなっていますが、0～2歳では、「広報しらかわ」「ガイドブックぽっかぽか」「支援サイトぽっかぽか」「白河市ホームページ」が45%～50%程度で差が少なくなっています。また、0～2歳では「保護者仲間」からの情報入手が16.0%と3～5歳に比べ12.9%低くなっています。

各事業を知ったきっかけ[%・複数回答]



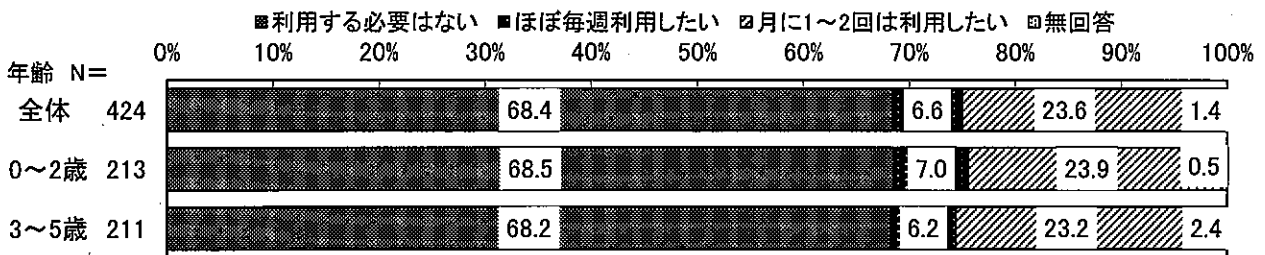
6 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 19 土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか。(一時的な利用、親族・知人による預かりは除きます)

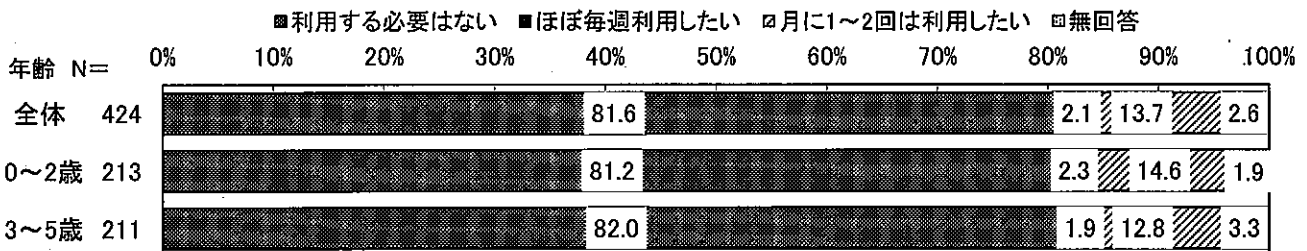
土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、0～2歳と3～5歳で差はなく、全体で土曜日に「ほぼ毎週利用したい」が6.6%、「月に1～2回利用したい」が23.6%になっています。日曜日・祝日の利用希望は、全体で「ほぼ毎週利用したい」が2.1%、「月に1～2回利用したい」が13.7%となっています。

また、ひとり親世帯では土曜日、日曜日・祝日の利用希望は多く、土曜日に「ほぼ毎週利用したい」が13.3%、「月に1～2回利用したい」が40.0%、日曜日・祝日の利用希望は、「ほぼ毎週利用したい」が13.3%、「月に1～2回利用したい」が23.3%となっています。

土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望[%]



日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望[%]



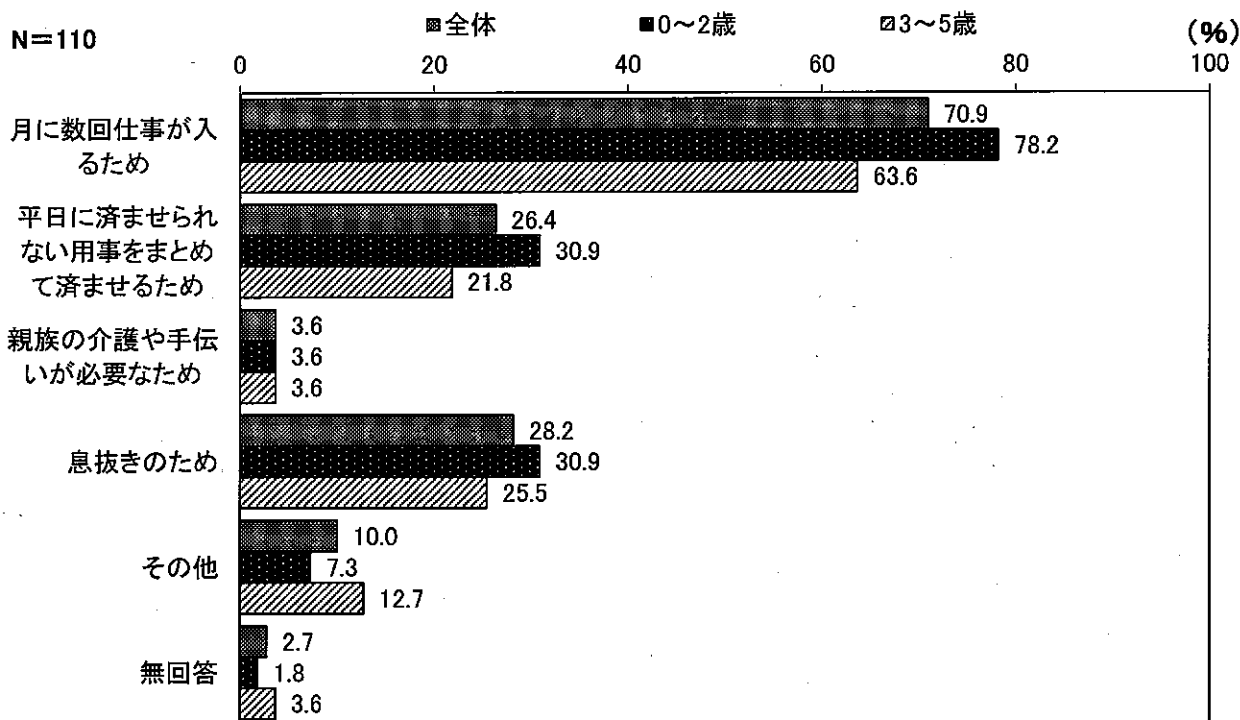
利用希望の開始時刻は土曜日、日曜日・祝日のどちらも7時～10時、希望終了時刻はどちらも12時～19時の範囲となっています。時間はどちらも9時間前後が多くなっています。

土曜日						日曜日・祝日					
開始時刻	人数	終了時刻	人数	時間帯	人数	開始時刻	人数	終了時刻	人数	時間帯	人数
7時	11	12時	6	8時～17時	18	7時	5	12時	1	8時～18時	10
8時	45	13時	6	8時～18時	13	8時	20	13時	1	8時～17時	7
9時	36	14時	8	9時～17時	10	9時	19	14時	1	9時～16時	6
10時	7	15時	9	※時間帯は上位3つを表示		10時	5	15時	3	※時間帯は上位3つを表示	
		16時	16				16時	11			
		17時	31				17時	15			
		18時	20				18時	14			
		19時	3				19時	2			

問 19-1 定期的な教育・保育事業を毎週ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。
(複数回答)

「月に数回仕事が入るため」が全体で 70.9%ですが、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」「息抜きのため」も全体で 30%弱となっています。3 項目とも、0~2 歳の方が、5~15%程度多くなっています。

月1~2回の利用希望者/利用したい理由[%・複数回答]

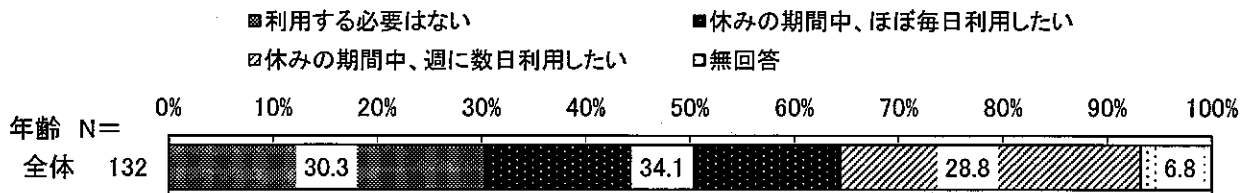


問 20 幼稚園の夏休み・冬休みなど長期休業期間中に、教育・保育事業の利用希望はありますか。また、利用したい時間帯をお答えください。

「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい(34.1%)」と「休みの期間中、週に数日利用したい(28.8%)」を合わせると 62.9%となっています。

また、ひとり親世帯の方では、7人中3人の方が、「ほぼ毎日利用したい」と答えています。

幼稚園利用者/長期休業期間中の利用希望[%]



利用希望の開始時刻は 7 時~14 時、希望終了時刻は 12 時~19 時の範囲となっています。時間帯は 8 時~17 時が 14 人と多いですが、9 時~15 時が 10 人、9 時~14 時が 9 人と、5~6 時間の短い時間の希望も多くなっています。

長期休業中					
開始時刻	人数	終了時刻	人数	時間帯	人数
7時	10	12時	2	8時～17時	14
8時	30	13時	2	9時～15時	10
9時	36	14時	13	9時～14時	9
10時	3	15時	13	8時～16時	7
13時	1	16時	16	9時～17時	7
14時	1	17時	24	※時間帯は上位5つを 表示	
		18時	10		
		19時	1		

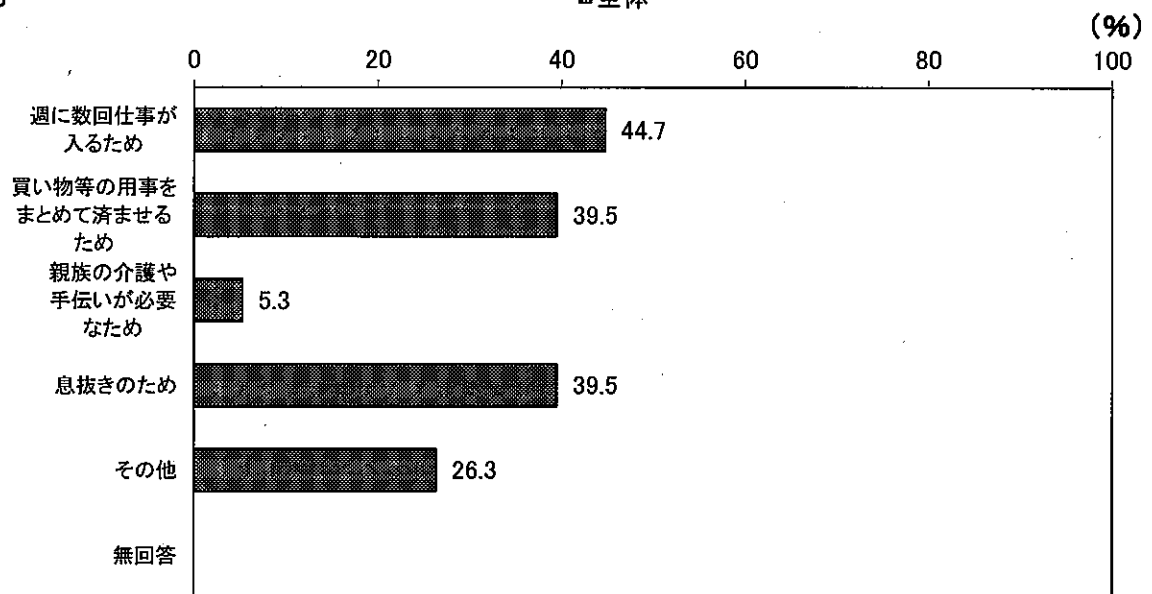
問 20-1 休みの期間中、週に数日利用したいに○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。(複数回答)

「週に数回仕事が入るため」が44.7%ですが、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」「息抜きのため」もそれぞれ40%弱となっています。

週に数日の利用希望者/利用したい理由[%・複数回答]

N=38

■全体

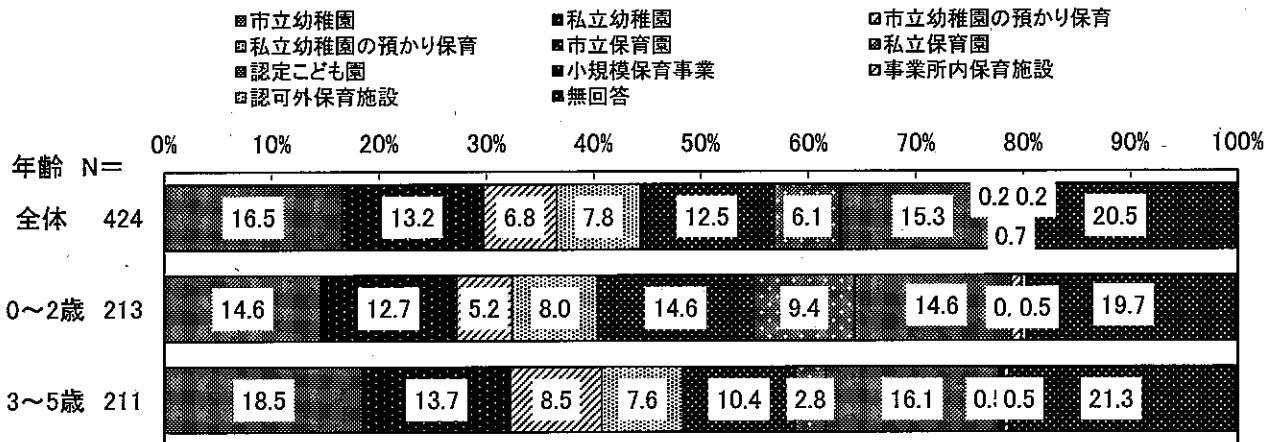


7 幼児教育・保育無償化について

問 21 幼児教育や保育が無償化となった場合、主に利用したいと思う事業はどれですか。

全体では、市立幼稚園（16.5%）、認定こども園（15.3%）、私立幼稚園（13.2%）が多くなっています。0～2歳では、市立幼稚園、認定こども園、市立保育園がそれぞれ14.6%となっています。3～5歳では、市立幼稚園（18.5%）、認定こども園（16.1%）、私立幼稚園（13.7%）です。

幼児教育・保育無償化の場合の利用したい事業【%】



		問 21. 幼児教育や保育が無償化となった場合、以下の事業において主に利用したいと思う事業はどれですか。											
													(%)
	合計 (人)	市立幼稚園	私立幼稚園	預かり保育 市立幼稚園	預かり保育 私立幼稚園	市立保育園	私立保育園	園 認定こども	事業 小規模保育	育施設 事業所内保	施設 認可外保育	無回答	
	全体 424	424	16.5	13.2	6.8	7.8	12.5	6.1	15.3	0.2	0.7	0.2	20.5
問 2.お 子さん	0～2歳 213	213	14.6	12.7	5.2	8.0	14.6	9.4	14.6	0.0	0.9	0.5	19.7
年齢区 分	3～5歳 211	211	18.5	13.7	8.5	7.6	10.4	2.8	16.1	0.5	0.5	0.0	21.3

ひとり親世帯では（n=30）、市立幼稚園、市立幼稚園預かり保育、市立保育園、私立保育園、認定こども園が3人～4人となっています。

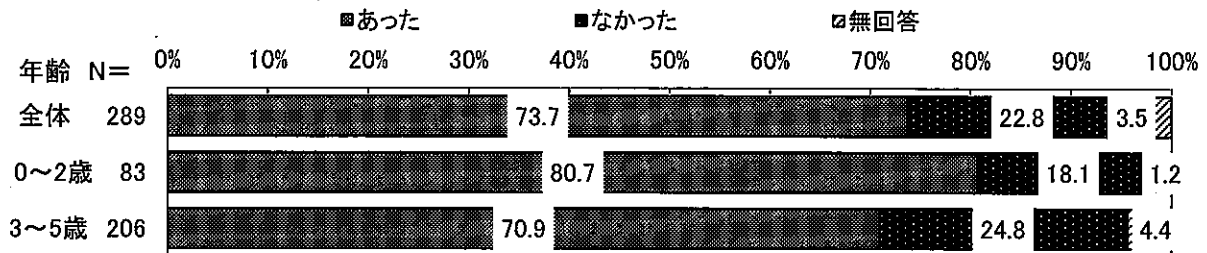
8 お子さんの病気の際の対応について

※平日の教育・保育を利用する方のみ対象

問 22 この1年間に、病気やケガで、教育・保育事業を利用できなかったことはありますか。

0～2歳で「利用できなかったことがある」方は80.7%で、3～5歳で「利用できなかった」方(70.9%)に比べ9.8%多くなっています。

病気等で教育・保育事業が利用できなかったこと[%]

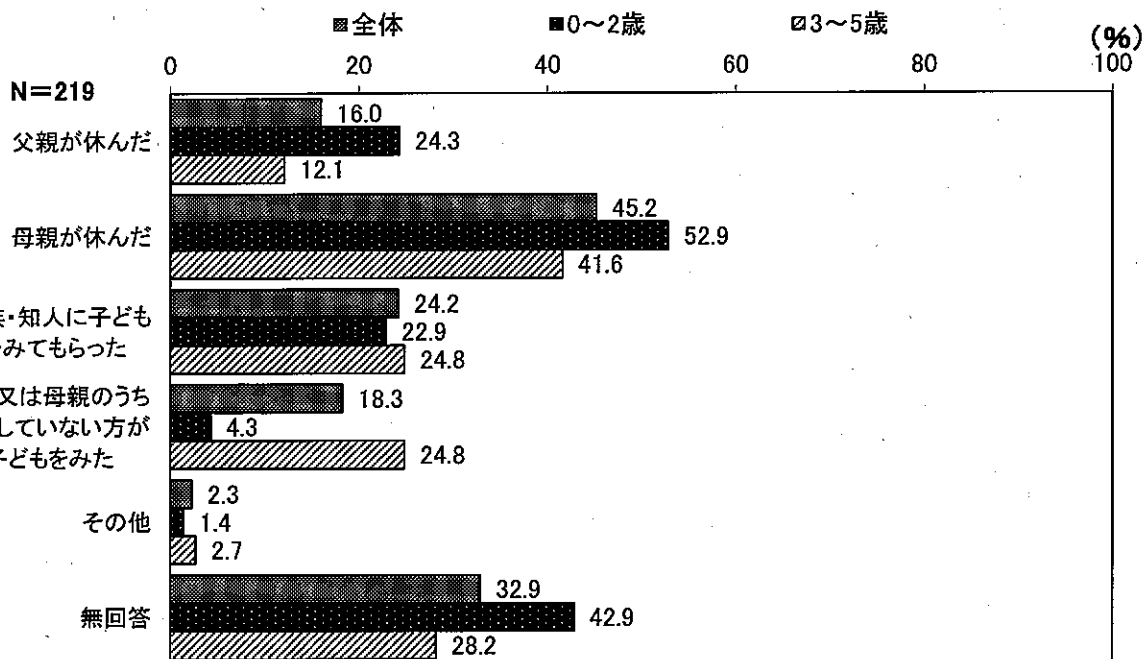


問 22-1 問 22 で病気やケガで、教育・保育事業を利用できなかったことがある方にかがいます。教育・保育事業が利用できなかったときに、どのような対処をされましたか。(複数回答) また、あてはまる対処それぞれについて、おおよその日数をお答えください。

「父親が休んだ」と「母親が休んだ」を合わせると、3～5歳では53.7%ですが、0～2歳では77.2%と23.5%多くなっています。また、「親族・知人に子どもをみてもらった」はほぼ変わりませんが、「父親、母親のうち就労していない方が子どもをみた」は、3～5歳で24.8%と0～2歳に比べ20.5%多くなっています。「病児保育」「ベビーシッター」「子どもだけで留守番させた」はありませんでした。また、ひとり親世帯では、「母親が休んだ」方は10名、「親族・知人に子どもをみてもらった」は7名で、比率で見ると、ふたり親世帯に比べどちらも20%以上多くなっています。

また、対処日数は5日以内が62.1%ですが、年間31日以上が3名で、最長の方は70日(母親が休んだ)です。

利用できないことがあった方/対処法【%・複数回答】



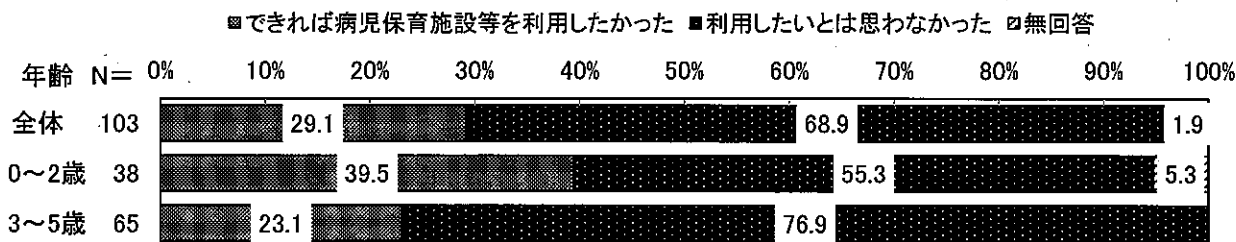
利用できないことがあった方/対処日数【人】

	休んだ日数 (人)				
	~5日	~10日	~20日	~30日	31日~
父親が休んだ	48	6	2	0	0
母親が休んだ	81	41	24	7	1
親族・知人に見てもらった	55	20	6	4	0
就労していない方がみた	21	9	4	1	2
その他	3	4	1	0	0

問 22-2 「病気やケガで、教育・保育事業を利用できなかった」際に「親が休んだ」方にうかがいます。その際、「できれば病児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。また、利用したいと思われた方は、利用したかった日数をお答えください。

病児保育施設の利用意向は、全体では 29.1% ですが、0~2 歳では 39.5% です。日数では 5 日 (11 人) が最も多く、次いで 10 日 (5 人)、最長は 20 日です。ひとり親世帯では、12 名中 4 名の方が利用を希望しています。

父母が休んだ方/病児保育施設等の利用希望【%】

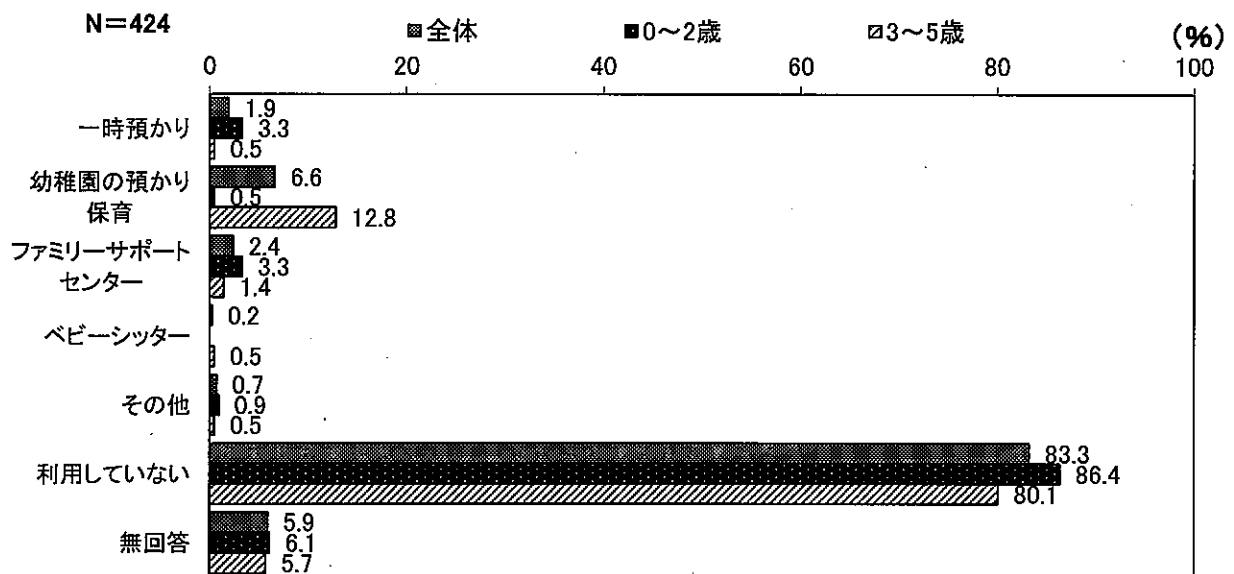


9 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 23 保護者の私用、通院、不特定の就労等の目的で、不定期的に利用している事業はありますか。(複数回答) また、あてはまるものそれぞれについて、1年間のおおよその利用日数をお答えください。

不定期的に利用している事業では、3～5歳の「幼稚園の預かり保育」の12.8%が最も高くなっている一方、「利用していない」は全体で83.3%となっています。ひとり親世帯も同様の傾向です。

不定期的に利用している教育・保育事業〔%・複数回答〕



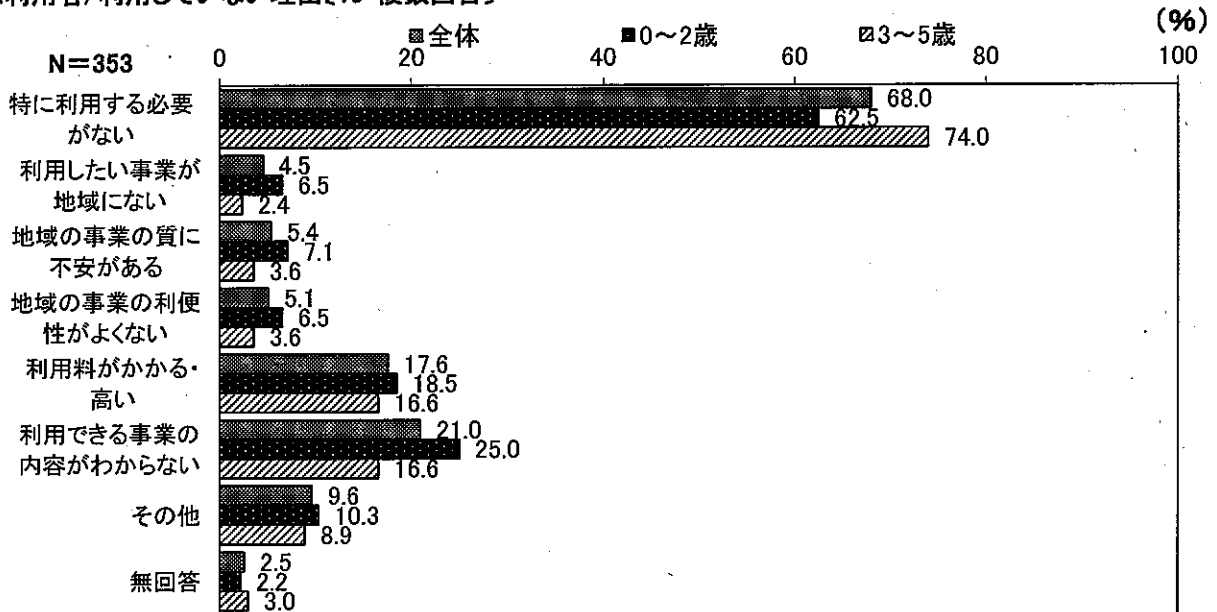
不定期的に利用している教育・保育事業〔年間利用日数〕

	利用日数(人)				平均日数 (日)
	5日以内	6日～10日	10日～20日	21日以上	
一時預かり	7	1		2	17.7
幼稚園の預かり保育	12	6	2	9	39.9
ファミリーサポートセンター	11				3.1
ベビーシッター	1				5.0
その他	2	1			4.7

問 23-1 保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で、それぞれの事業を現在利用していない理由はなんですか。(複数回答)

「特に利用する必要がない」が全体で68.0%、「利用できる事業の内容がわからない」が21.0%、「利用料がかかる・高い」が17.6%となっています。

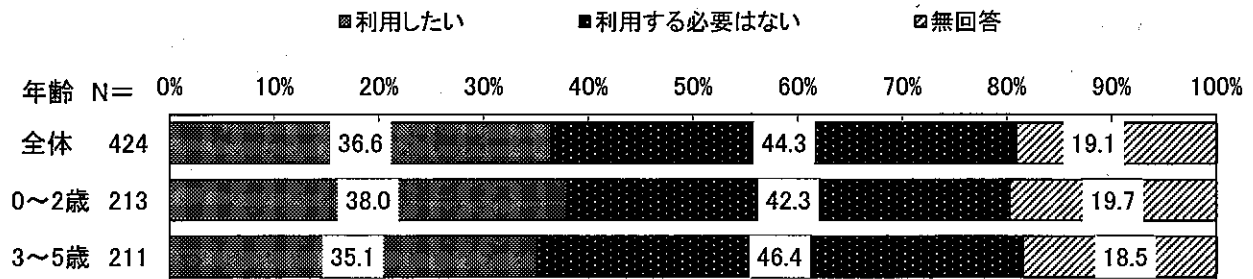
未利用者/利用していない理由[%・複数回答]



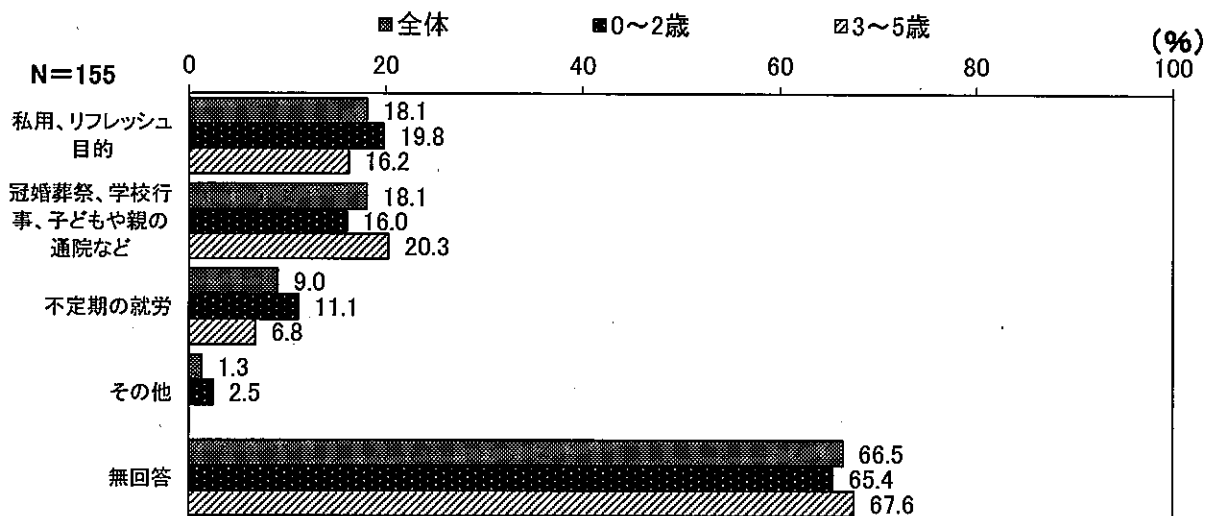
問 24 保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で、あて名のお子さんの不定期に利用する事業が年間何日くらい必要だと思いますか。利用希望の有無についてお答えください。また、利用希望のある場合は、年間合計、目的別の内訳のおおよその日数をお答えください。

不定期での事業の利用希望は「利用したい」が36.6%となっています。

不定期での教育・保育事業の利用希望[%]



利用したい方/利用したい理由〔%・複数回答〕



年間希望日数では、24日以下が72.9%で、最大日数は165日となっています。

利用目的別では、「冠婚葬祭・学校行事など」が12日以下が83.9%となっています。「不定期の就労」では、5名が100日を超えていて、最大150日となっています。

事業の不定期利用希望の目的日数/希望日数

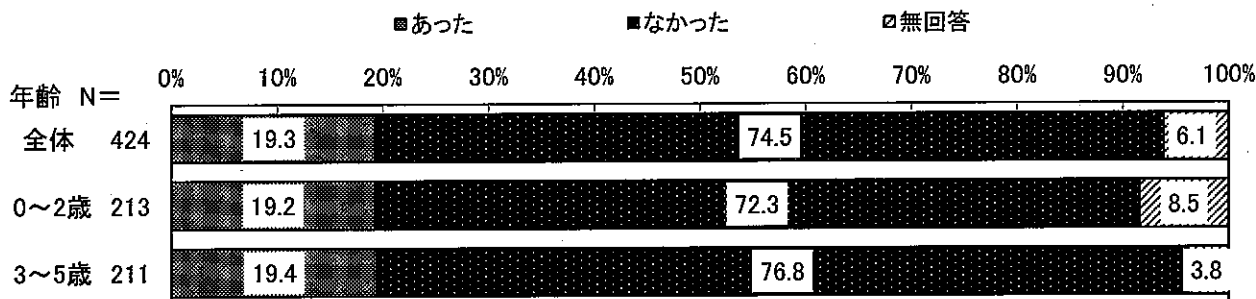
〔人〕

	~6日	~12日	~24日	~36日	~50日	51日~
年間合計	13	33	32	17	6	6
私用	36	43	13	4	2	3
冠婚葬祭・学校行事など	46	48	11	6	1	0
不定期の就労	15	12	3	4	1	5
その他	2	0	3	0	0	0

問 25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あったか、なかったかについてお答えください。また、あった場合の対処方法別の内訳のおおよその泊数をお答えください。

「泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないこと」があったのは、全体で19.3%です。対処方法は、62.2%が「親族・知人にみてもらった」で、「保育事業の利用」は0件でした。

泊りがけで子どもを預けたこと [%]



泊りがけで子どもを預けたときの1年間の対処方法 [%]

		合計 (人)	親族・知人に みてもら った	保 育 事 業 を 利 用 し た	仕 方 な く 子 ど も を 同 行 さ せ た	仕 方 な く 子 ど も だ け で 留 守 番 を さ せ た	そ の 他	無 回 答
全体		82	62.2	0.0	12.2	0.0	1.2	30.5
お子さんの年齢区分	0~2歳	41	61.0	0.0	19.5	0.0	2.4	26.8
	3~5歳	41	63.4	0.0	4.9	0.0	0.0	34.1

※合計列のみ人数、他は%

対処日数は、12日以内が86.4%です。最大日数は96日(1人)です。

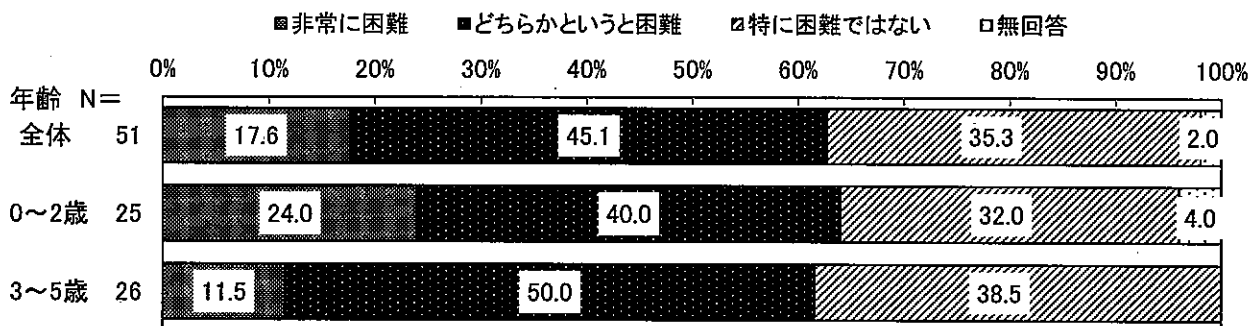
泊りがけで子どもを預けたときの1年間の対処日数 [人]

	~6日	~12日	~24日	~36日	~50日	51日~
親族・知人にみてもらった	43	17	7	1	1	2
同行させた	10	0	0	0	0	0

問 25-1 保護者の用事により、お子さんを泊りがけで(同居者を含む)親族・知人にみてもらった方にうかがいます。その場合の困難度はどの程度でしたか。

「非常に困難」と「どちらかという困難」を合わせると、全体で62.7%です。ひとり親世帯では、「どちらかという困難」「特に困難ではない」がそれぞれ1名です。

親族等に預けた方/預けた時の困難度[%]



10 小学校就学後の放課後の過ごし方について

※あて名のお子さんが来年度、小学校に入学する方（66名）のみ対象

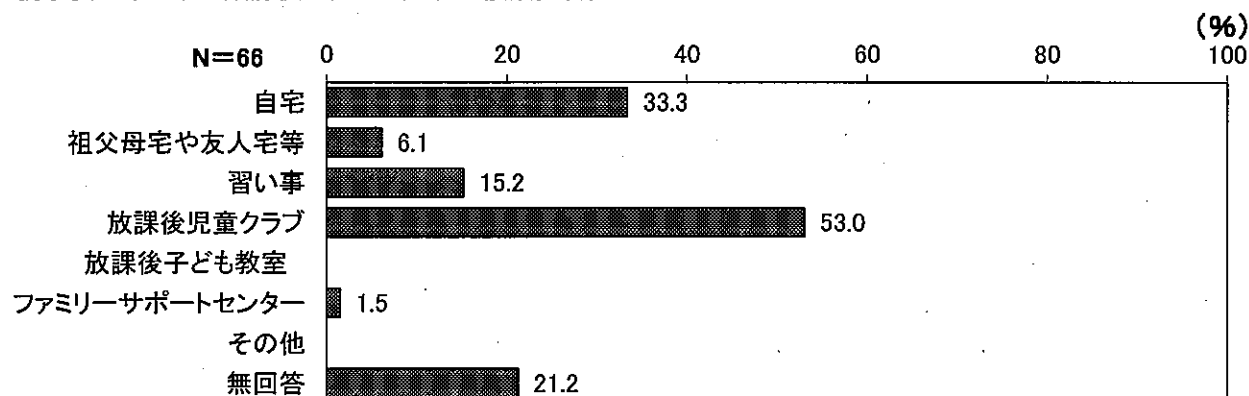
問 26 小学校に入学した後、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。低学年と高学年、それぞれの期間についてお答えください。（複数回答）また、利用を希望する日数（放課後児童クラブの場合は利用希望時間も）をお答えください。

※現在、お持ちのイメージで回答を依頼

過ごさせたい場所では、「放課後児童クラブ」が53.0%でした。利用希望日数では「放課後児童クラブ」の5日間で最も多く、低学年、高学年それぞれ50.0%と30.3%でした。「放課後児童クラブ」以外の希望は、低学年と高学年で大きな変動はありませんでした。

「放課後児童クラブ」の希望終了時刻は、「17時」と「18時」が最も多く、この2つを合わせると、低学年では68.2%、高学年では68.9%となっています。ただし、「19時」も多く、低学年18.2%、高学年20.7%となっています。

就学後に希望する放課後の過ごし方[%・複数回答]



就学後に希望する過ごし方・日数/週 [%]

	低学年(n=66)							
	自宅	祖父母宅等	習い事	放課後児童クラブ	放課後子ども教室	ファミリーサポートセンター	その他	計
1日	1.5	0.0	7.6	0.0	1.5	0.0	1.5	12.1
2日	4.5	1.5	10.6	7.6	0.0	0.0	1.5	25.8
3日	10.6	1.5	3.0	4.5	0.0	1.5	1.5	22.7
4日	1.5	0.0	1.5	4.5	0.0	0.0	0.0	7.6
5日	15.2	1.5	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	66.7
6日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計	33.3	4.5	22.7	66.7	1.5	1.5	4.5	

	高学年(n=66)							
	自宅	祖父母宅等	習い事	放課後児童クラブ	放課後子ども教室	ファミリーサポートセンター	その他	計
1日	4.5	3.0	7.6	0.0	1.5	0.0	1.5	18.2
2日	1.5	3.0	7.6	4.5	0.0	0.0	1.5	18.2
3日	4.5	1.5	3.0	4.5	0.0	0.0	1.5	15.2
4日	1.5	0.0	1.5	4.5	0.0	0.0	0.0	7.6
5日	12.1	1.5	1.5	30.3	0.0	0.0	0.0	45.5
6日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計	24.2	9.1	21.2	43.9	1.5	0.0	4.5	

放課後児童クラブの希望終了時間 [%]

	低学年 (n=44)	高学年 (n=29)
～15時	2.3	3.4
～16時	11.4	6.9
～17時	34.1	37.9
～18時	34.1	31.0
～19時	18.2	20.7

11 家庭の子育て、地域の子育て環境について

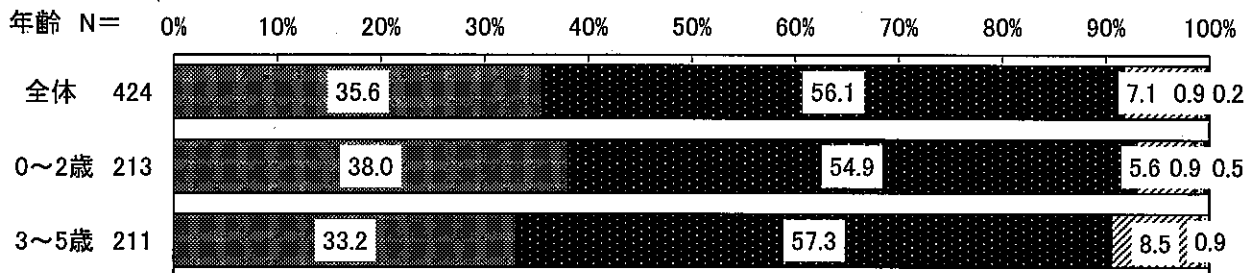
●家庭の子育てについて

問 27 子育てをどのように感じていますか。

「喜びや楽しみが大きい」と「どちらかという喜びや楽しみが大きい」を合わせると、全体で91.7%となっています。ひとり親世帯では「喜びや楽しみが大きい」が46.7%で、ふたり親世帯に比べ11.1%多いですが、「どちらかという、不安や負担の方が大きい」「とても不安や負担を感じている」も多く、合わせると20.0%になっています。「とても不安や負担を感じている」は、ひとり親世帯、ふたり親世帯ともに2人です。

子育て感[%]

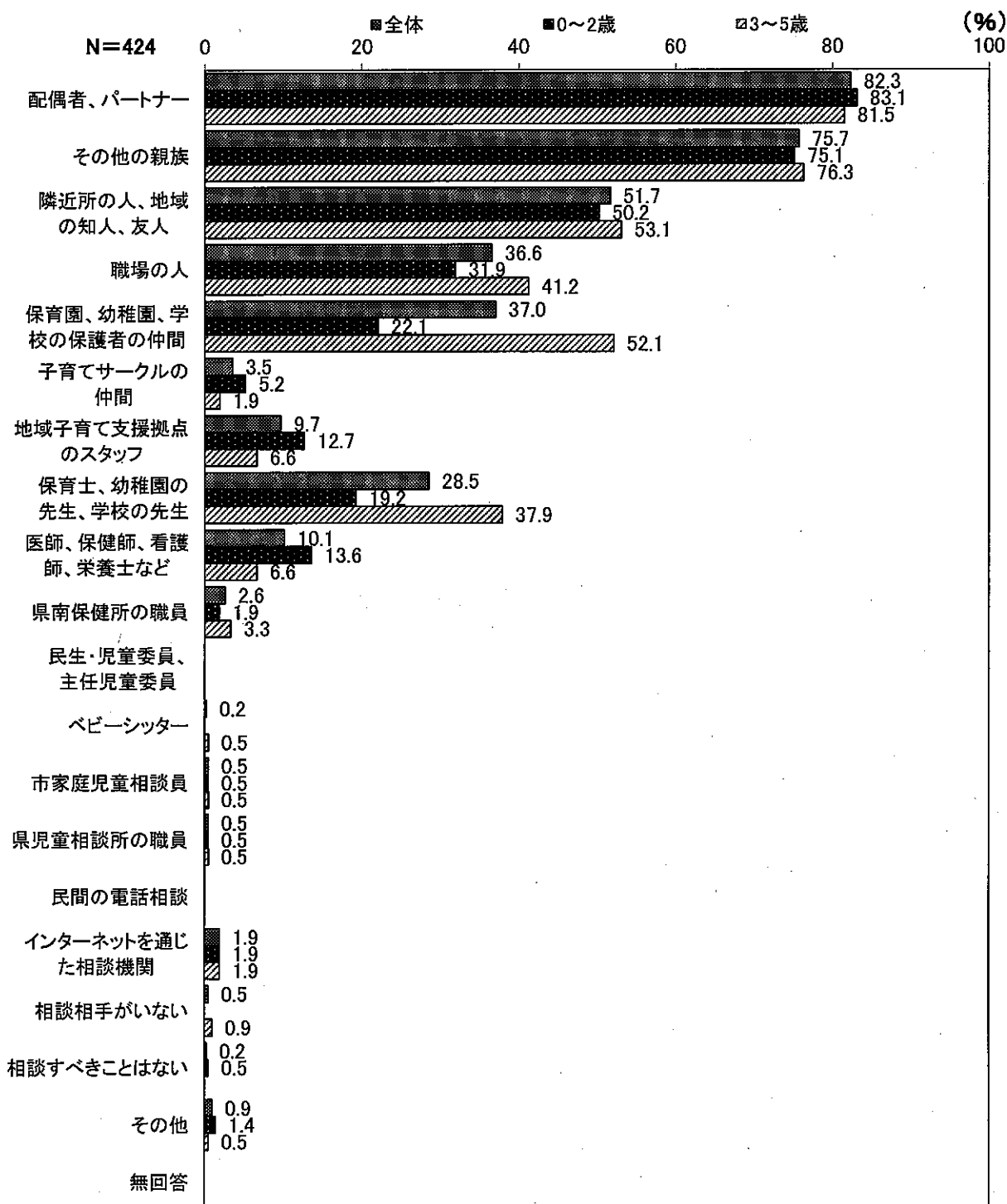
- 喜びや楽しみが大きい
- どちらかという、喜びや楽しみの方が大きい
- どちらかという、不安や負担の方が大きい
- とても不安や負担を感じている
- 無回答



問 28 子育て（教育含む）をする上で、気軽に相談できる相手はいますか。（複数回答）

「配偶者・パートナー」「その他親族」「知人・友人等」の比率が年代にかかわらず高く、全体で82.3%、75.7%、51.7%の順となっています。「保育園・幼稚園の保護者仲間など」「保育士・幼稚園の先生など」「職場の人」の比率は、0～2歳に比べ3～5歳で高く、特に「保育園・幼稚園の仲間など」では、52.1%と30.0%高くなっています。ひとり親世帯では、「職場の人」の比率が50.0%とふたり親世帯の方に比べ、14.4%高くなっています。逆に「知人・友人等」「保育園、幼稚園の保護者の仲間など」が36.7%、20.0%とふたり親世帯の方に比べそれぞれ15%以上低くなっています。

子育てで気軽に相談できる相手[%・複数回答]

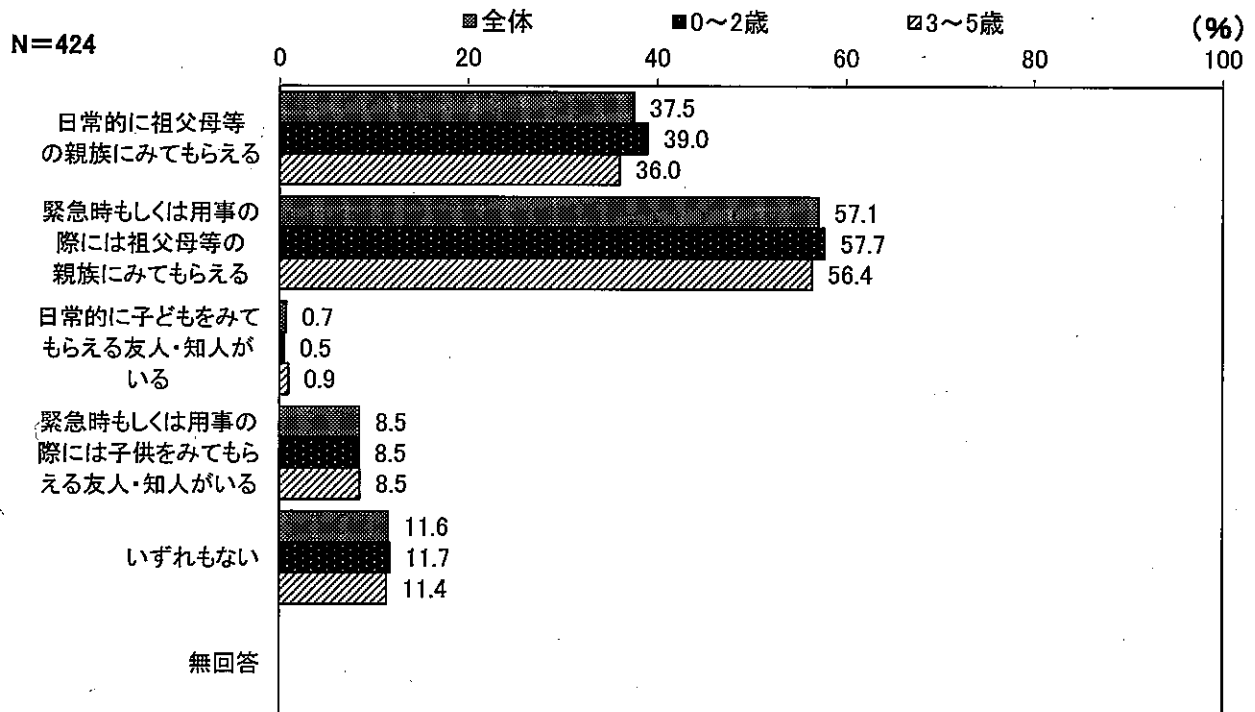


問 29 日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。(複数回答)

「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」は全体で37.5%、「緊急時などに親族にみてもらえる」は全体で57.1%となっています。「いずれもない」は全体で11.6%です。

ひとり親世帯では、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」は全体で43.3%、「緊急時などに親族にみてもらえる」は全体で60.0%となっています。「いずれもない」は全体で6.7%と、ふたり親世帯の方よりも少なくなっています。

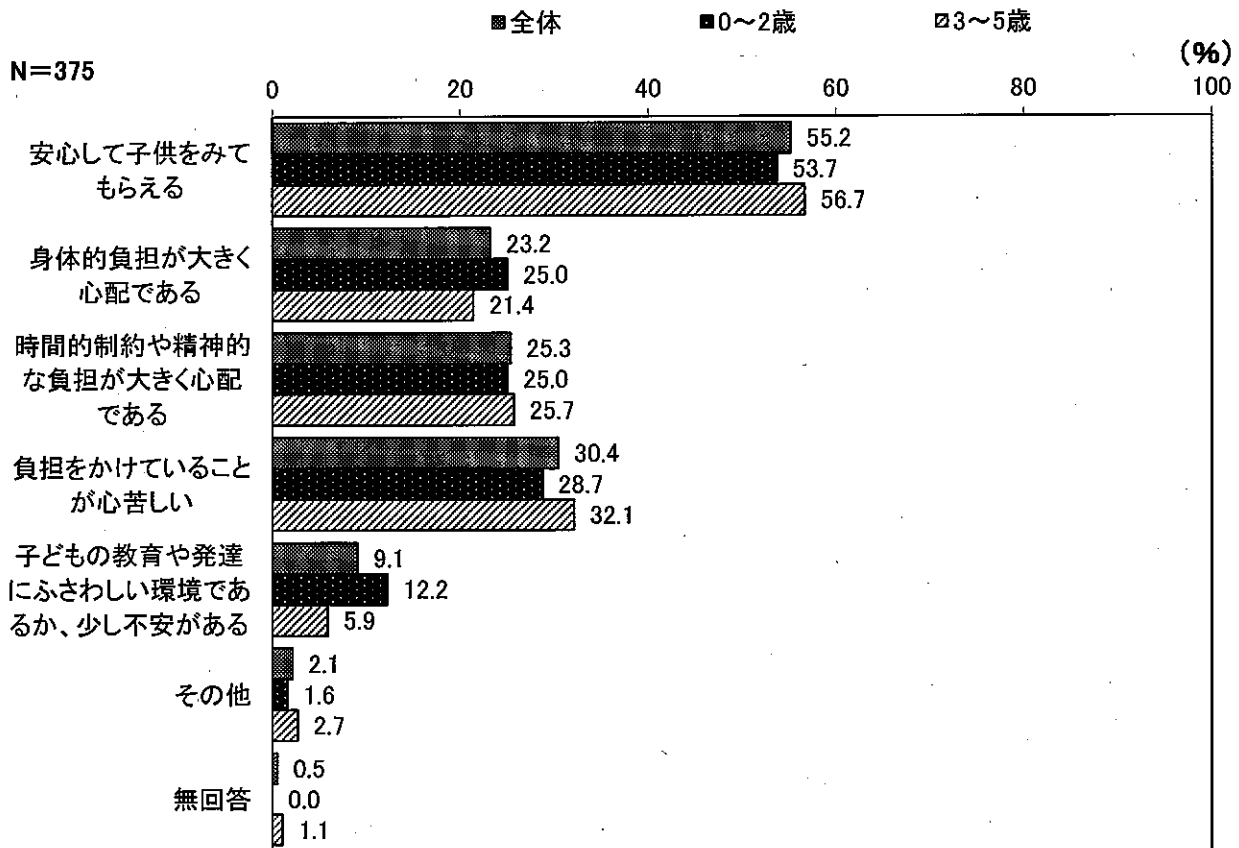
日頃子どもを見てもらえる親族・知人[%・複数回答]



問 29-1 問 29 で「お子さんをみてもらえる」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。お子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(複数回答)

「安心して子どもをみてもらえる」は全体で55.2%ですが、一方で「身体的な負担」「時間や精神的な負担」をかけていると感じるとの回答がそれぞれ25%程度となっています。

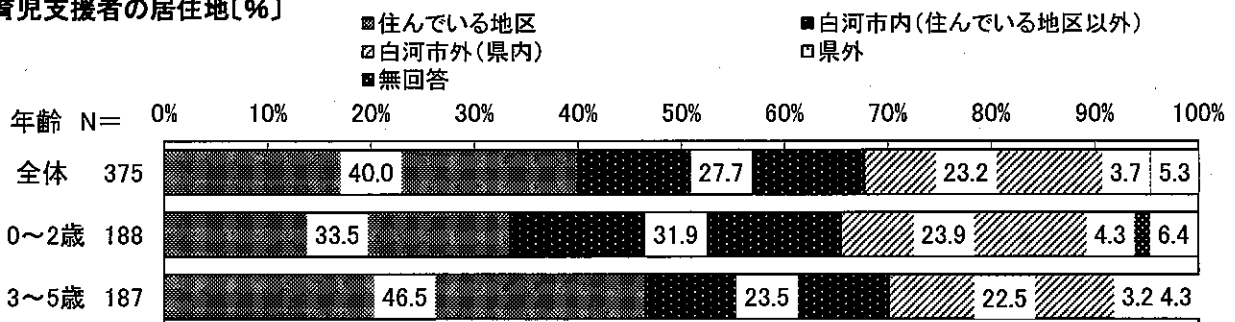
育児支援者がいる方/状況[%・複数回答]



問 29-2 問 29 で「お子さんをみてもらえる」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。お子さんをみてもらっている親族・知人は、どちらにお住まいですか。

「住んでいる地区」は、0~2歳では33.5%、3~5歳では46.5%となっています。

育児支援者の居住地[%]



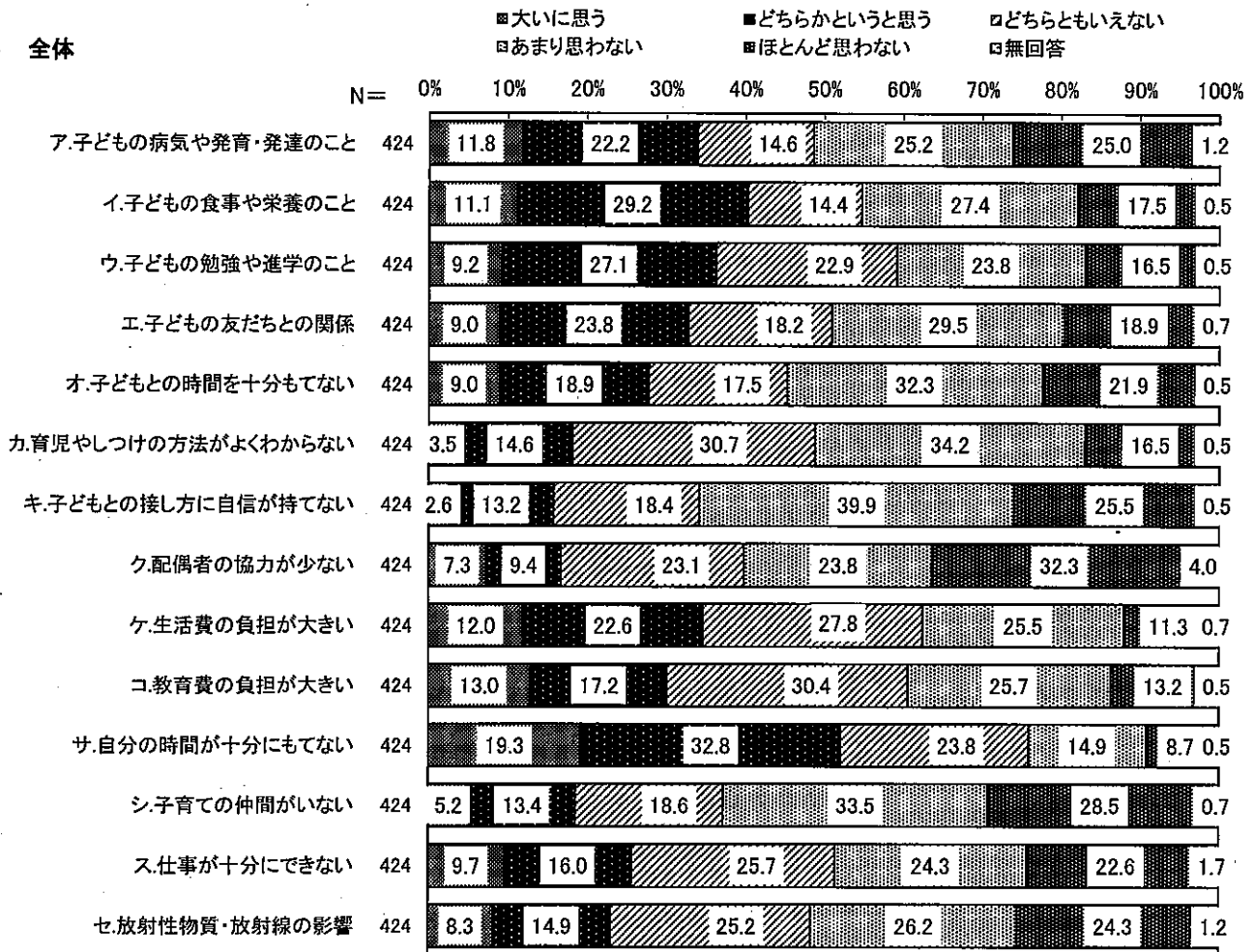
問 30 子育てに関して、悩みや気にかかることはありますか。(項目毎にあてはまる番号 1つに○)

全体では、悩みや気にかかることについて「大いに思う」が最も多いのは「自分の時間が十分にもてない」の19.3%で、「どちらかという思う」まで含めると52.1%となっています。次いで多いのは「教育費の負担」「生活費の負担」「子どもの病気や発育・発達のこと」でそれぞれ13.0%、12.0%、11.8%となっています。「どちらかという思う」まで含めると「子どもの食事や栄養のこと」「子どもの勉強や進学のこと」が増え、それぞれ40.3%、36.3%となります。

また、0～2歳と3～5歳の比較では、「子どもの勉強や進学のこと」「子どもの友だちとの関係」「子どもとの時間を十分もてない」が、3～5歳の方が10%以上多く、「子育ての仲間がいない」「仕事が多分にできない」は0～2歳の方が5%以上多くなっています。

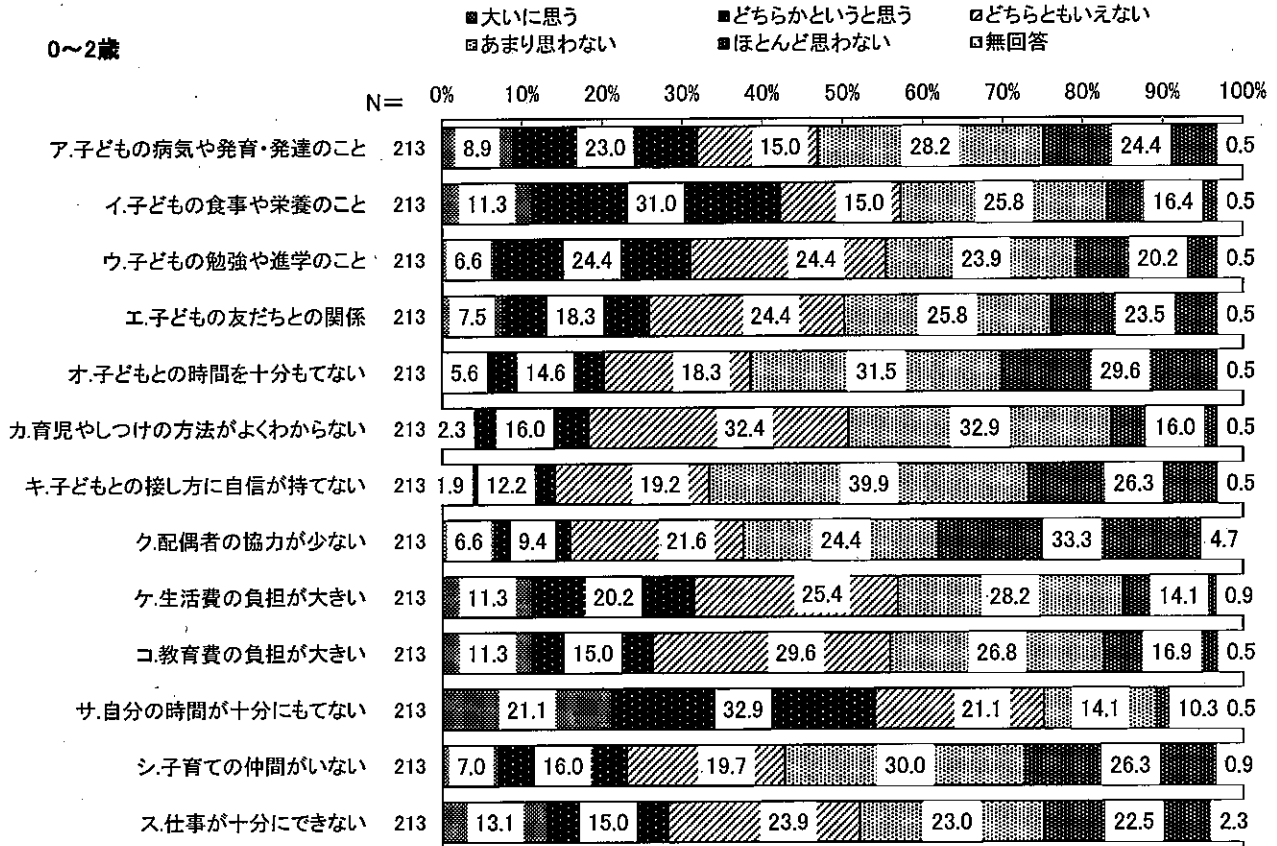
ひとり親世帯で「大いに思う」方が最も多いのは「生活費の負担」で33.3%、次いで多いのは「自分の時間が十分にもてない」「教育費の負担」「配偶者の協力が少ない(得られない)」でそれぞれ23.3%、20.0%、20.0%となっています。「どちらかという思う」まで含めると「自分の時間が十分にもてない」が53.3%と多くなりますが、「生活費の負担」「放射性物質・放射線の影響が心配」「仕事が多分にできない」「子どもとの時間を十分もてない」「教育費の負担」がふたり親世帯にくらべ、10%以上多い項目になっています。

子育ての悩み等[%]



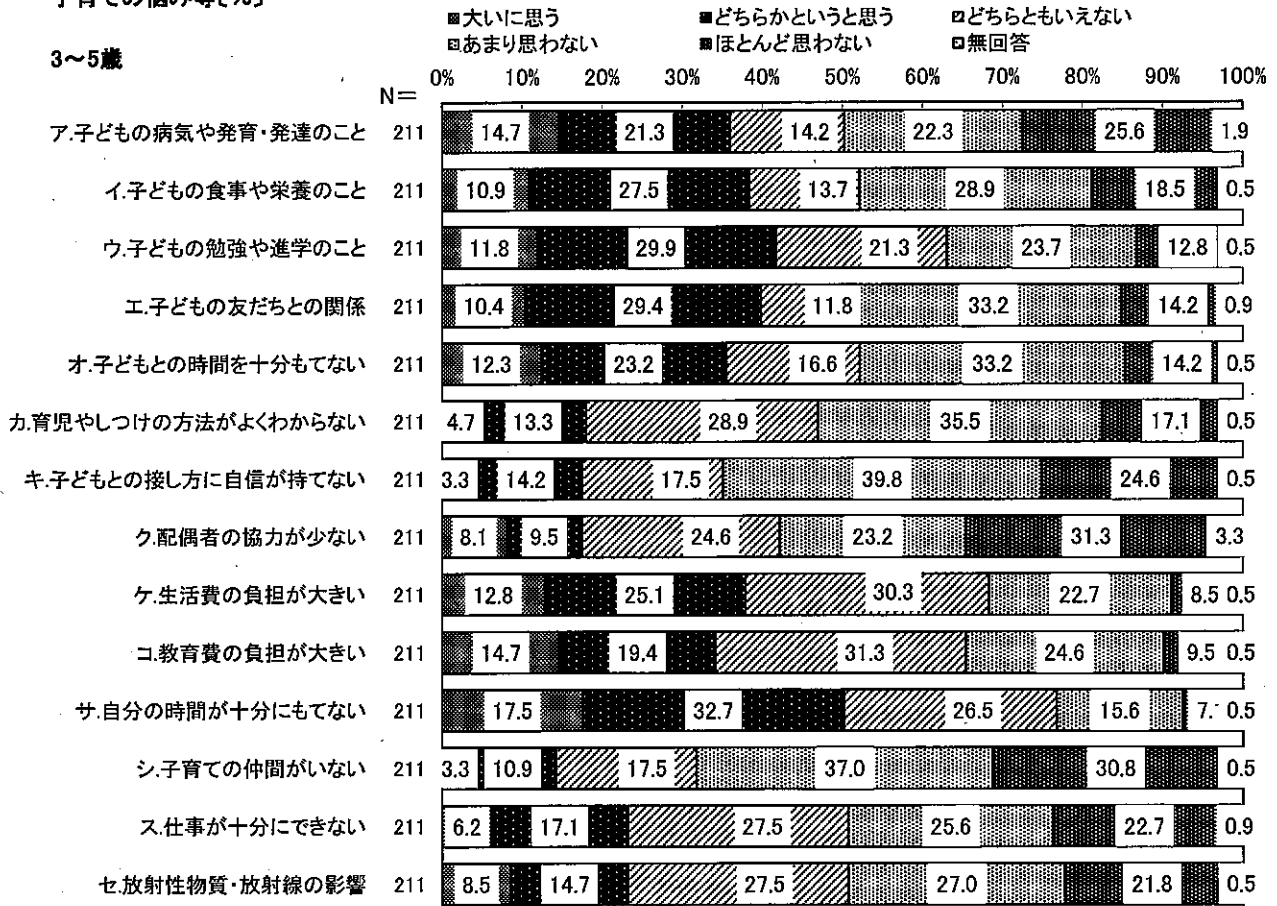
子育ての悩み等[%]

0~2歳



子育ての悩み等[%]

3~5歳

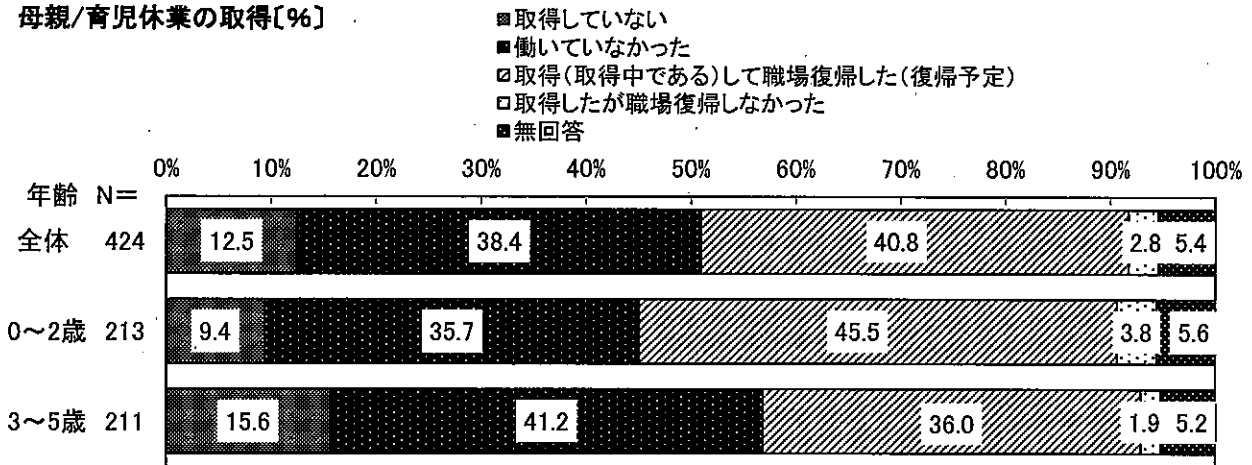


●仕事と子育ての両立について

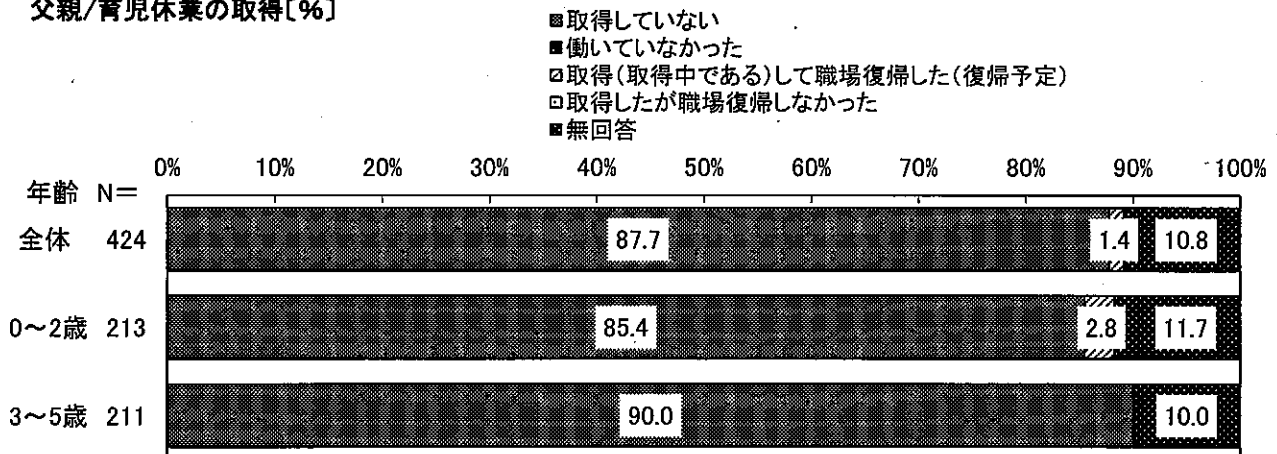
問 31 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(母親、父親それぞれについて1つに〇)

母親の育児休業は、0～2歳で取得率が高く、49.3%と3～5歳に比べ11.4%高くなっています。父親の取得率は全般的に低く、0～2歳で2.8%、3～5歳では0件です。また母親では、全体で2.8%の方が、育休後職場復帰していません。

母親/育児休業の取得[%]



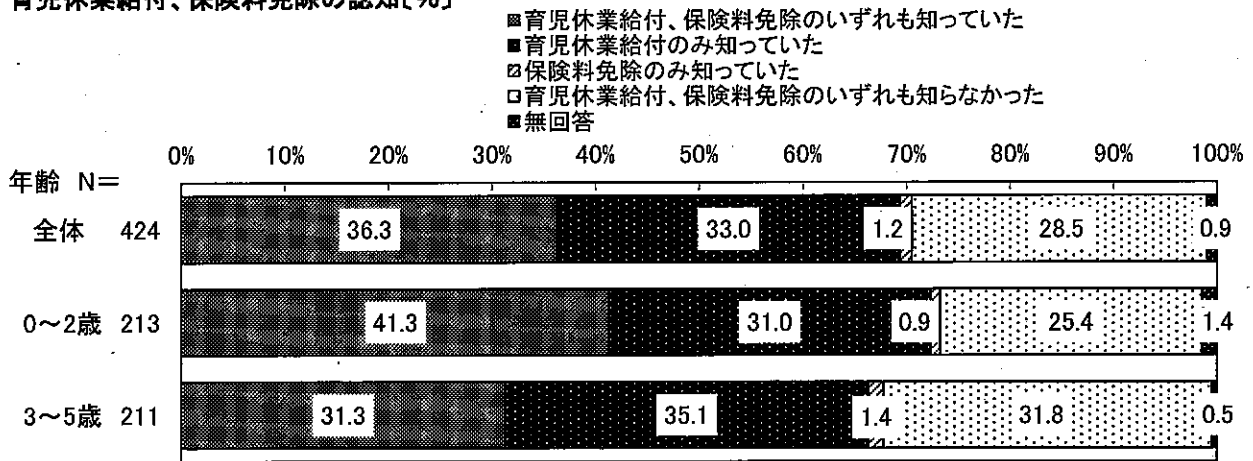
父親/育児休業の取得[%]



問 31-1 子どもが原則 1 歳（保育園における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は再延長で最大 2 歳まで）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満 3 歳になるまでの育児休業等※（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」は全体で 36.3%ですが、「いずれも知らなかった」も 28.5%となっています。0～2 歳で 56.4%「保険料免除」を知らませんでした。

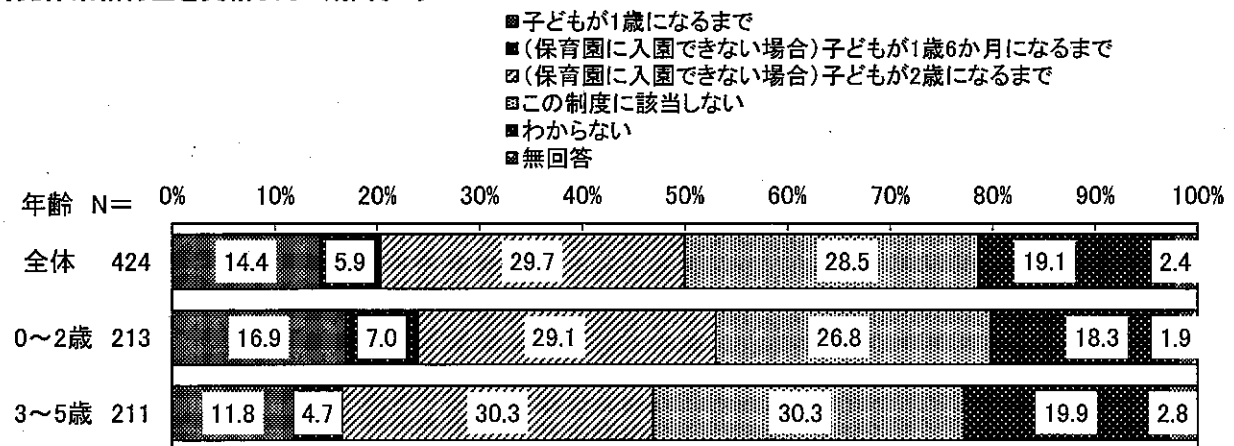
育児休業給付、保険料免除の認知[%]



問 31-2 平成 29 年 10 月より育児休業給付金の支給期間が、最長で子どもが 2 歳になるまでに延長されています。この制度改正を踏まえ、子どもが何歳になるまで、育児休業給付金を受給したいと思いますか（または受給しましたか）。（1つに○）

「1 歳 6 か月以降 2 歳まで」は、全体で 29.7%となっています。「わからない」は 19.1%です。

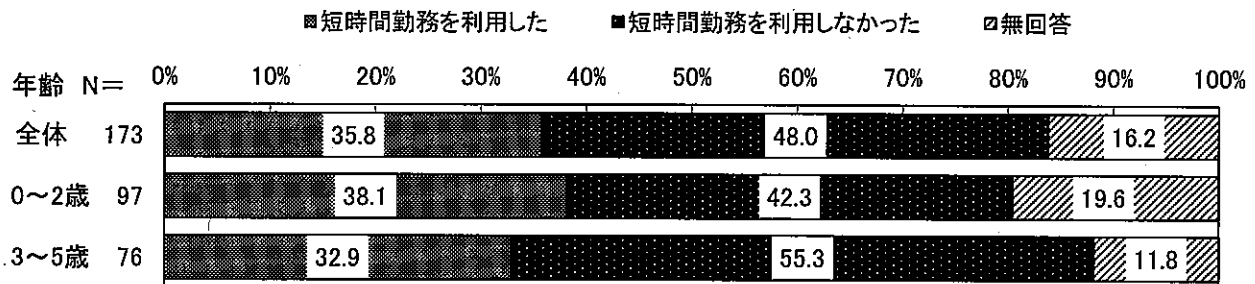
育児休業給付金を受給したい期間[%]



問 31-3 育児休業を取得して職場復帰した方にうかがいます。育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(1つに〇)

「短時間勤務を利用した」は、0～2歳で38.1%と3～5歳に比べ5.2%多くなっています。

職場復帰した母親/短時間勤務制度の利用状況[%]



※ 職場復帰した父親/短時間勤務制度の利用状況

父親の当設問の該当者（育児休業取得）は0～2歳の方6人で、全員短時間勤務は利用しませんでした。

問 31-4 短時間勤務を利用しなかった方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。(複数回答)

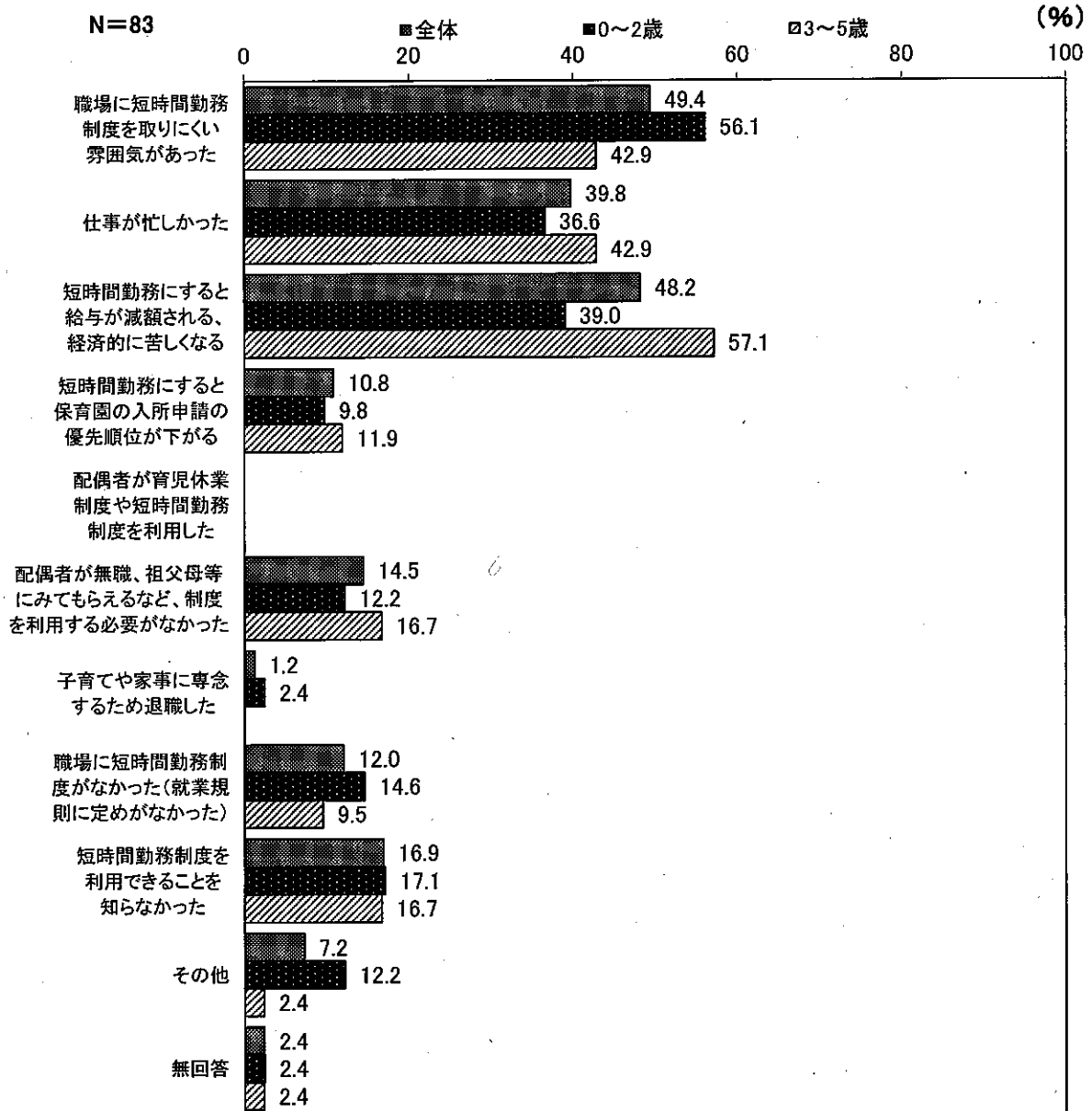
全体では、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」「短時間勤務にすると給与が減額される、経済的に苦しくなる」がそれぞれ40%～50%で多くなっています。0～2歳では、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が56.1%で最も多く（3～5歳との差は13.2%）、3～5歳では、「短時間勤務にすると給与が減額される、経済的に苦しくなる」が57.1%で最も多く（0～2歳との差は18.1%）なっています。

また、0～2歳では、「制度がなかった」「制度を利用できることを知らなかった」と答えられた方が、それぞれ14.6%、17.1%です。

※ 職場復帰した父親/短時間勤務制度の利用しなかった理由

父親の当設問の回答者は4名で、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」「短時間勤務にすると給与が減額される、経済的に苦しくなる」がそれぞれ3名、「仕事が忙しかった」「制度を利用できることを知らなかった」がそれぞれ1名です。

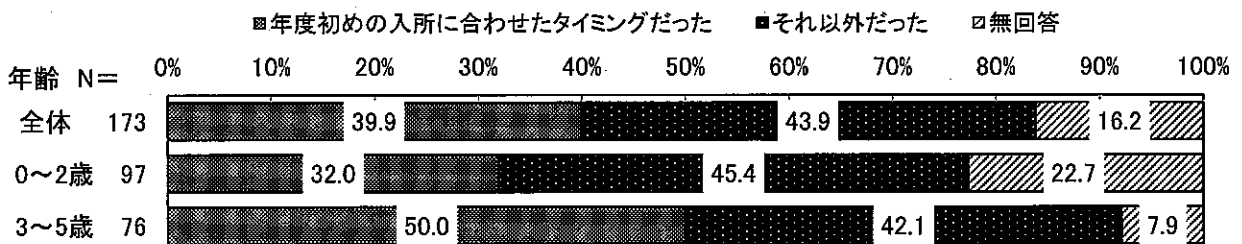
短時間勤務制度未利用の母親/利用しなかった理由〔%・複数回答〕



問 31-5 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

「年度初めの入所に合わせたタイミング」は、0~2歳で32.0%、3~5歳で50.0%となっています。

職場復帰した母親/職場に復帰したタイミング〔%〕



※ 職場復帰した父親/職場に復帰したタイミング

父親の当設問の回答者は6名で、「年度初めの入所に合わせたタイミング」が1名、「それ以外」が4名、無回答1名です。

問 31-6 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

母親は、「7～12ヶ月間取得」、「7～12ヶ月間取得希望」がともに55%前後で最も多くなっています。取得期間が「12ヶ月以下」では、実際に取得した期間よりも長い期間の取得希望が、63.6%となっています。父親の回答は2名で、取得期間は「14ヶ月」と「15ヶ月」です。

職場復帰した母親/育児休暇取得期間・希望期間 (人)

	～6ヶ月	～12ヶ月	～18ヶ月	～24ヶ月	25ヶ月～	計
実際の取得期間	19	82	25	12	7	145
希望取得期間	8	70	26	15	12	131

職場復帰した父親/育児休暇取得期間・希望期間 (人)

	～6ヶ月	～12ヶ月	～18ヶ月	～24ヶ月	25ヶ月～	計
実際の取得期間			2			2
希望取得期間		1	1			2

職場復帰した母親/育児休暇取得期間と希望期間の差 (人)

	実際の取得期間					
	～6ヶ月	～12ヶ月	～18ヶ月	～24ヶ月	25ヶ月～	計
取得期間より短期間		4	10	3		17
取得期間と同期間	6	22	8	6	4	46
取得期間より長期間	11	45	6	3	3	68

問 31-7 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

父親は「12ヶ月以下」が46.7%です。母親は「19ヶ月以上」が63.7%、そのうち「31～36ヶ月」のが42.7%です。

育児休暇制度が3歳までであった場合の希望取得期間 (人)

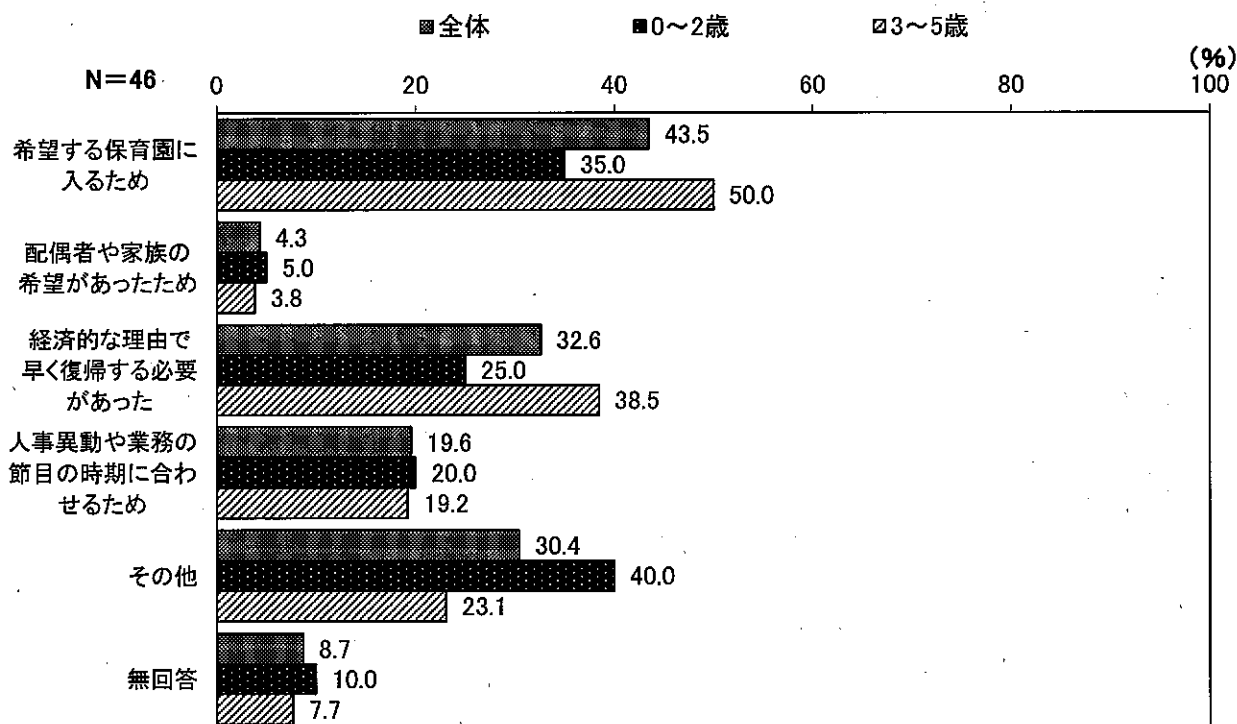
	～6ヶ月	～12ヶ月	～18ヶ月	～24ヶ月	～30ヶ月	～36ヶ月	計
母親	1	35	26	31	5	73	171
父親	9	12	7	3	0	14	45

問 31-8 問 31-6 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。(複数回答)

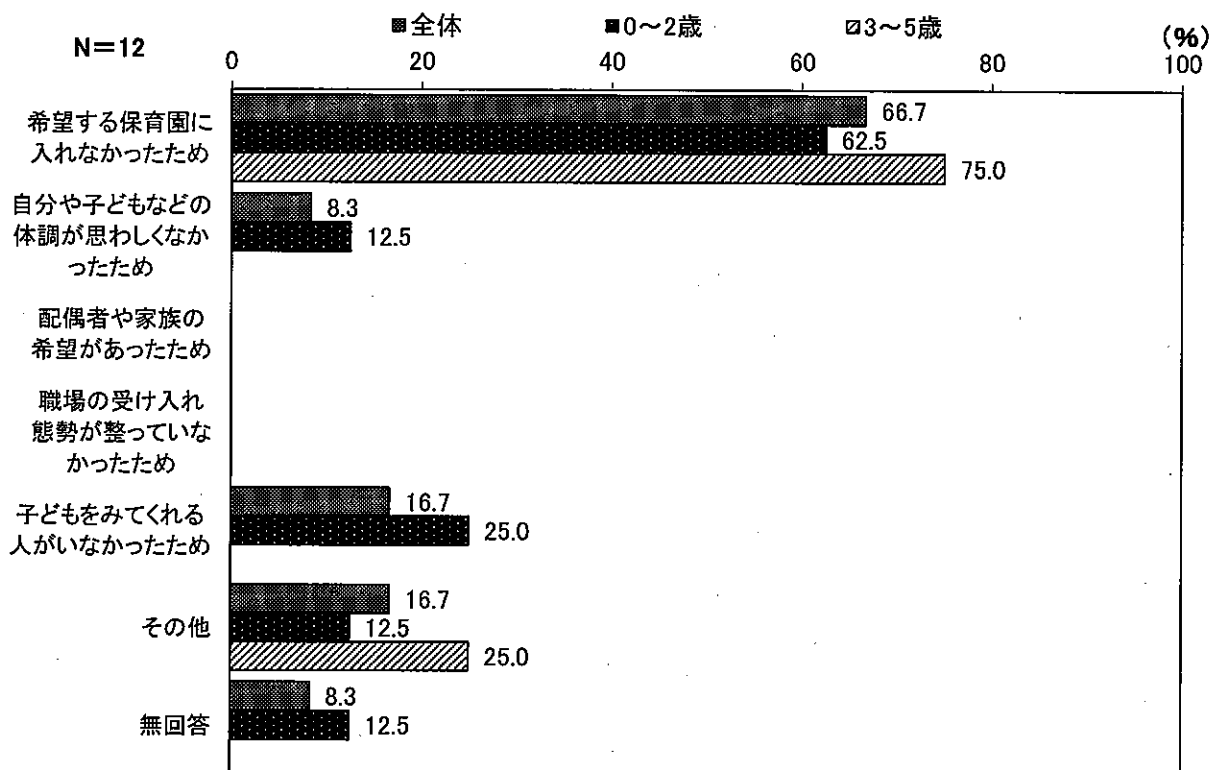
職場復帰が希望と違った場合、早くなった場合、遅くなった場合とも「保育園」の要因が大きくなっています。早く復帰した場合には、「希望する保育園に入るため」が全体で43.5%、続いて「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が32.6%です。遅く復帰した場合には、「希望する保育園に入れなかったため」が全体で66.7%となっています。

父親は、「早く復帰した」が1名で、「配偶者や家族の希望があったため」が理由です。「遅く復帰した」も1人で、「希望する保育園に入れなかったため」「子どもをみてくれる人がいなかったため」が理由です。

職場復帰した母親/希望より早く復帰した理由[%・複数回答]



職場復帰した母親/希望より遅く復帰した理由〔%・複数回答〕



「その他」の内容は、希望よりも早く復帰した場合には、「職場の雰囲気」や「忙しさ」が16名、「自身の都合」が4名、「保育園の入園都合」が2名、「自営業のため」が1名です。遅く復帰した場合には、「保育園の入園都合」が2名です。

●今後の市の取組について

問 32 市の子育て支援の取組についてどのように感じていますか。(項目毎にあてはまる番号1つに○)

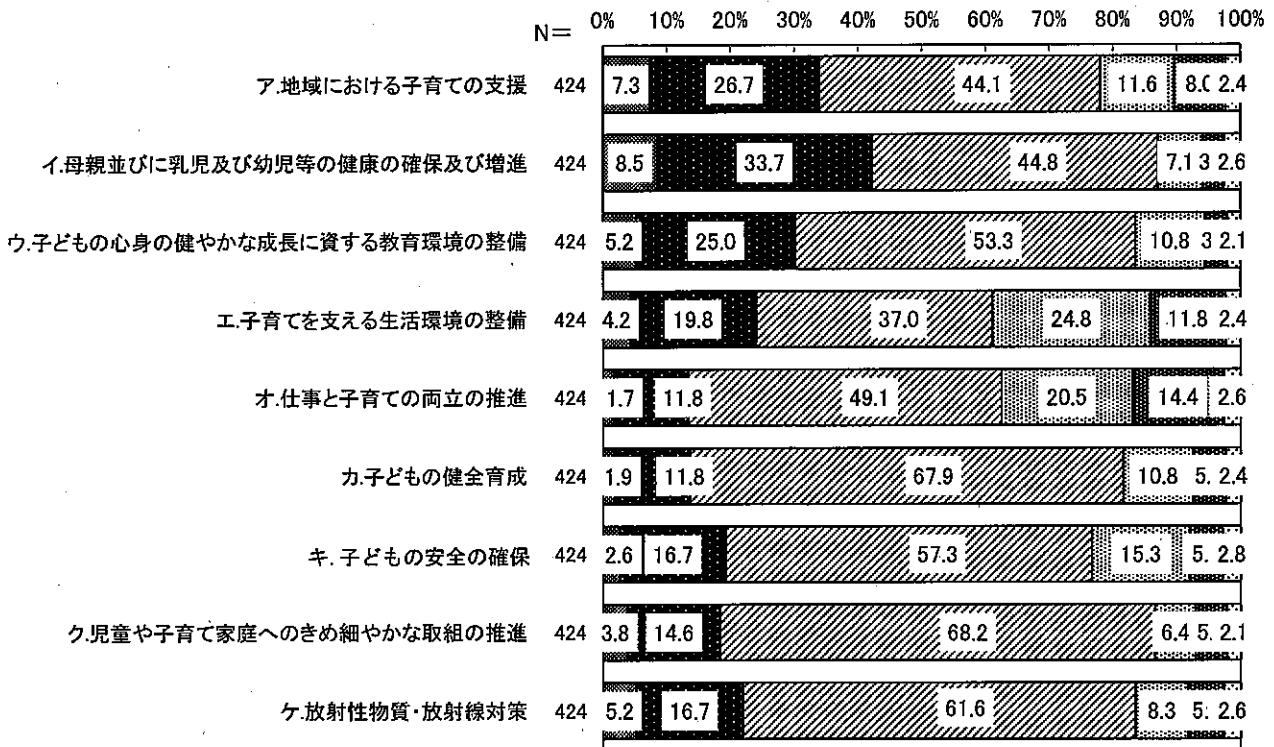
満足度が高いのは、「母親並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進」、「地域における子育ての支援」、「子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備」で、「満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせると、それぞれ42.2%、34.0%、30.2%となっています。逆に「どちらかといえば不満である」「不満である」を合わせた満足度が低いものは、「子育てを支える生活環境の整備」、「仕事と子育ての両立の推進」でそれぞれ36.6%、34.9%となっています。

市の取組の重要度が高いとする施策は、「子どもの安全の確保」「子どもの健全育成」「子育てを支える生活環境の整備」でそれぞれ「重要である」との回答が、全体で67.9%、65.6%、53.1%となっています。

市の取組の満足度[%]

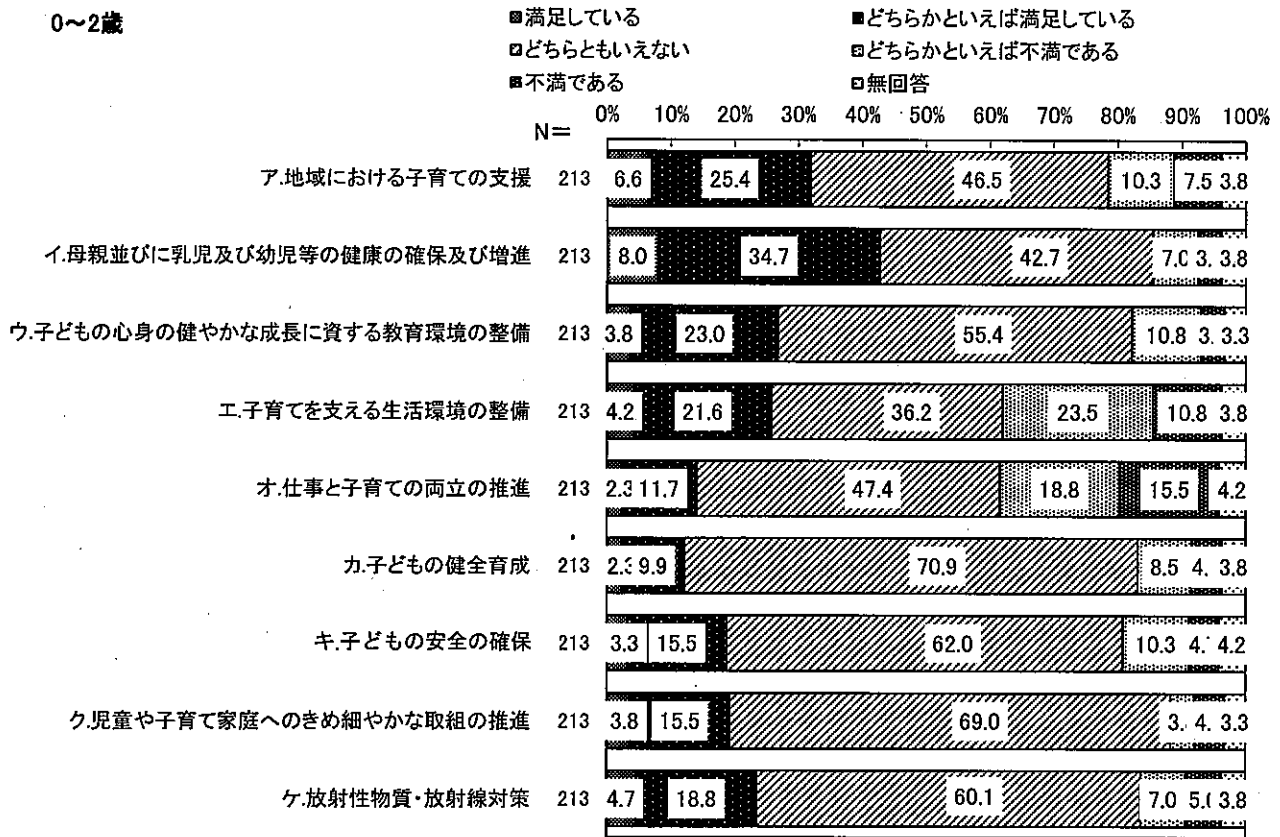
全体

- 満足している
- どちらともいえない
- 不満である
- どちらかといえば満足している
- どちらかといえば不満である
- 無回答



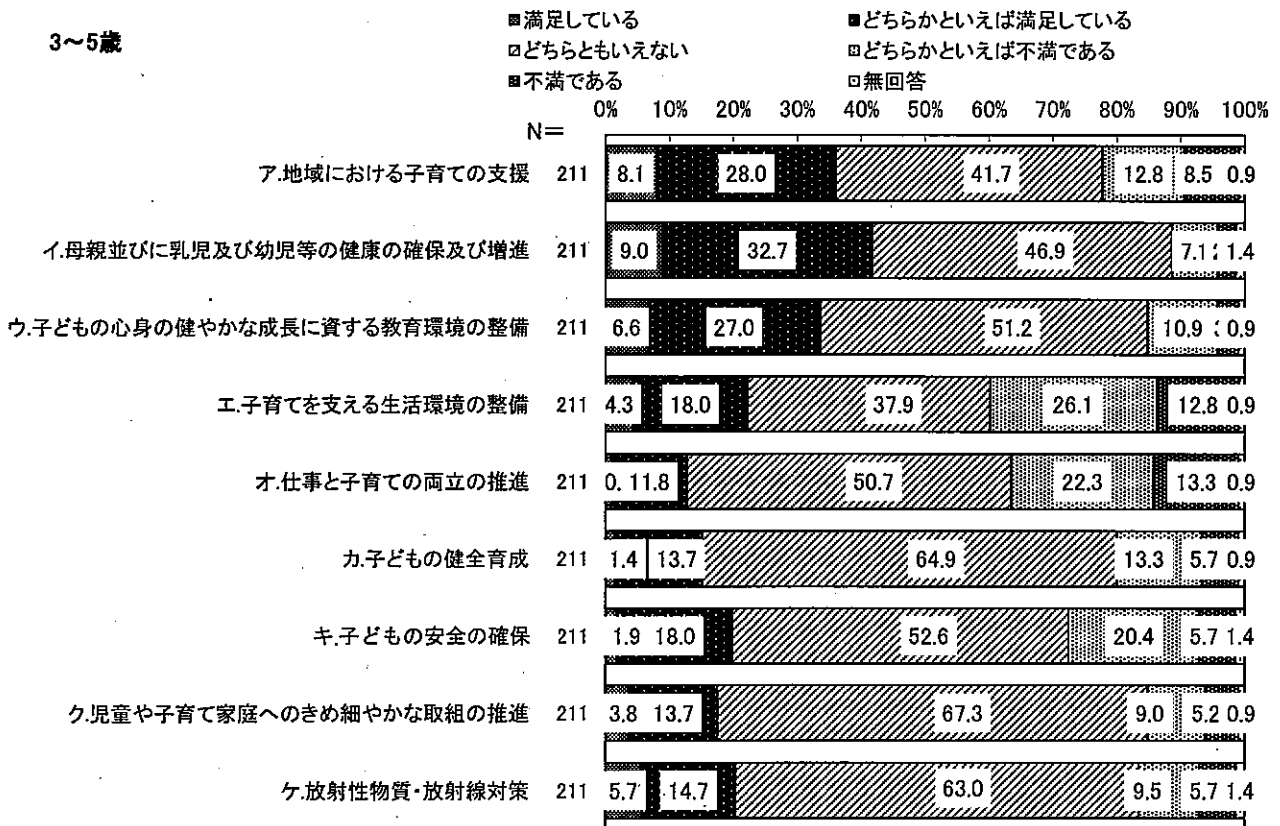
市の取組の満足度[%]

0～2歳



市の取組の満足度[%]

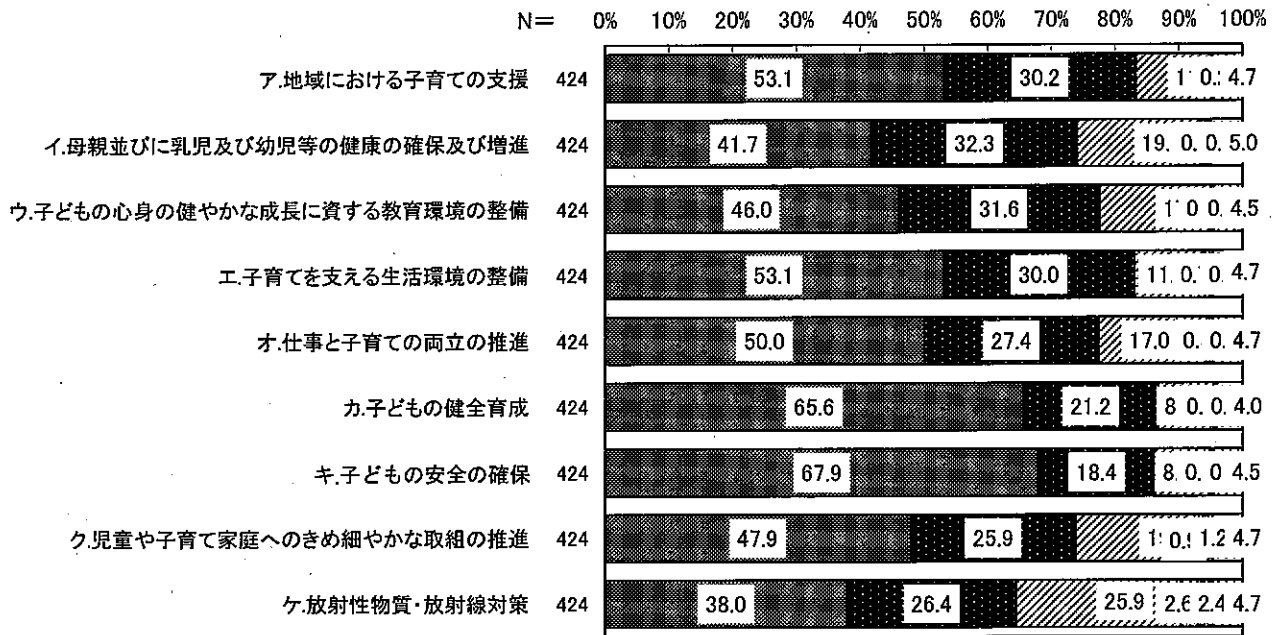
3～5歳



市の取組の重要度[%]

全体

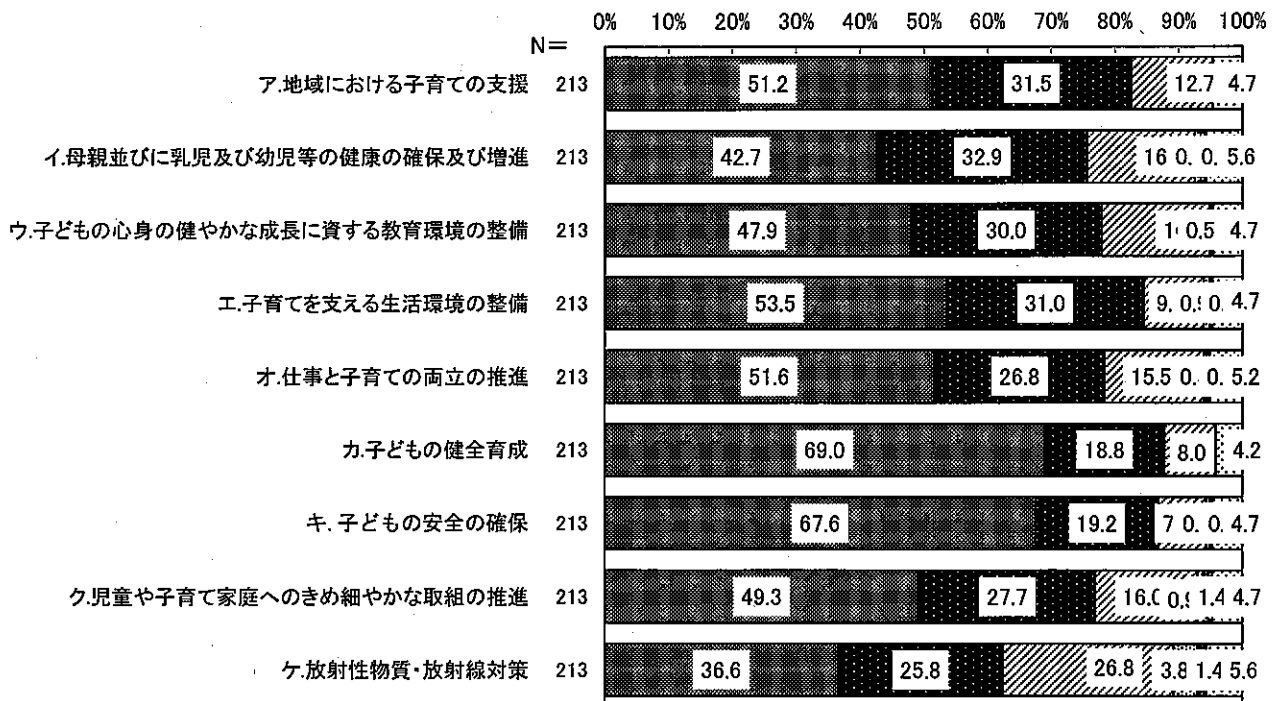
- 重要である
- どちらともいえない
- 重要ではない
- どちらかといえば重要である
- どちらかといえば重要ではない
- 無回答



市の取組の重要度[%]

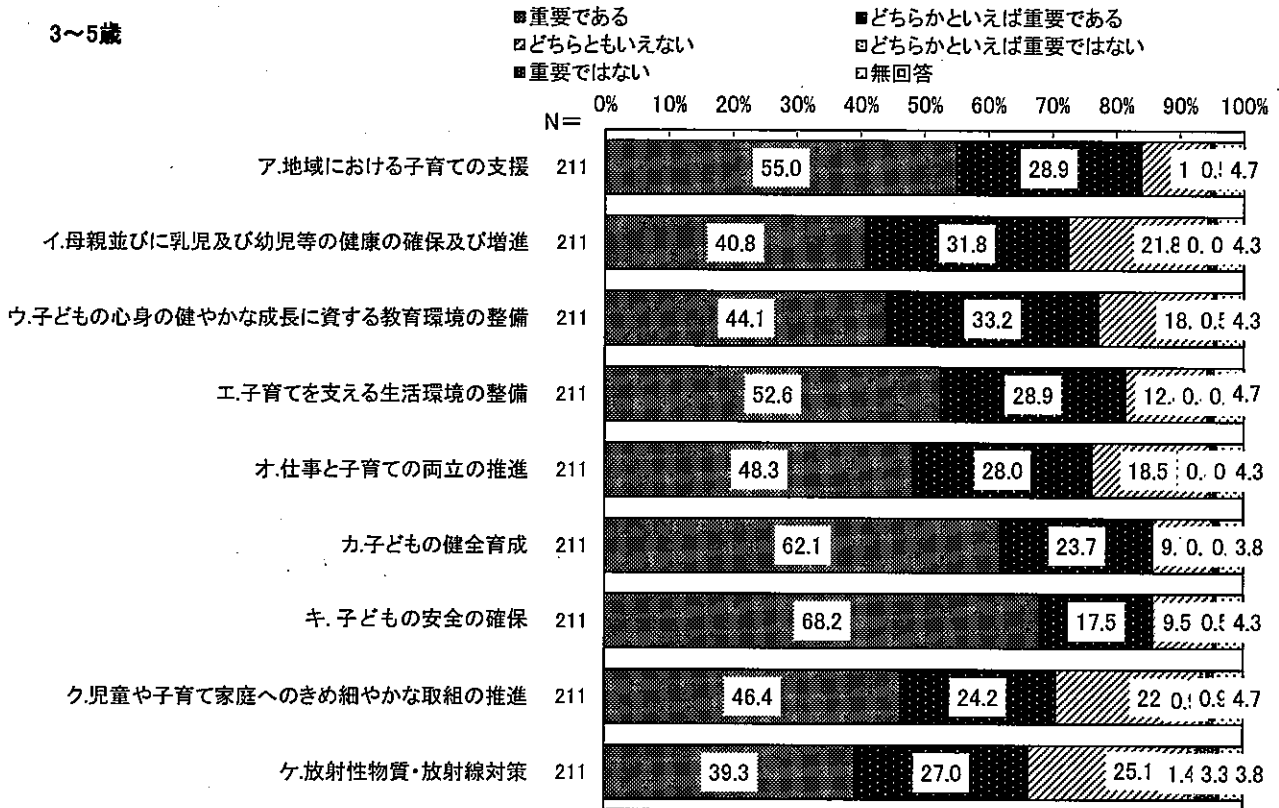
0~2歳

- 重要である
- どちらともいえない
- 重要ではない
- どちらかといえば重要である
- どちらかといえば重要ではない
- 無回答



市の取組の重要度[%]

3～5歳

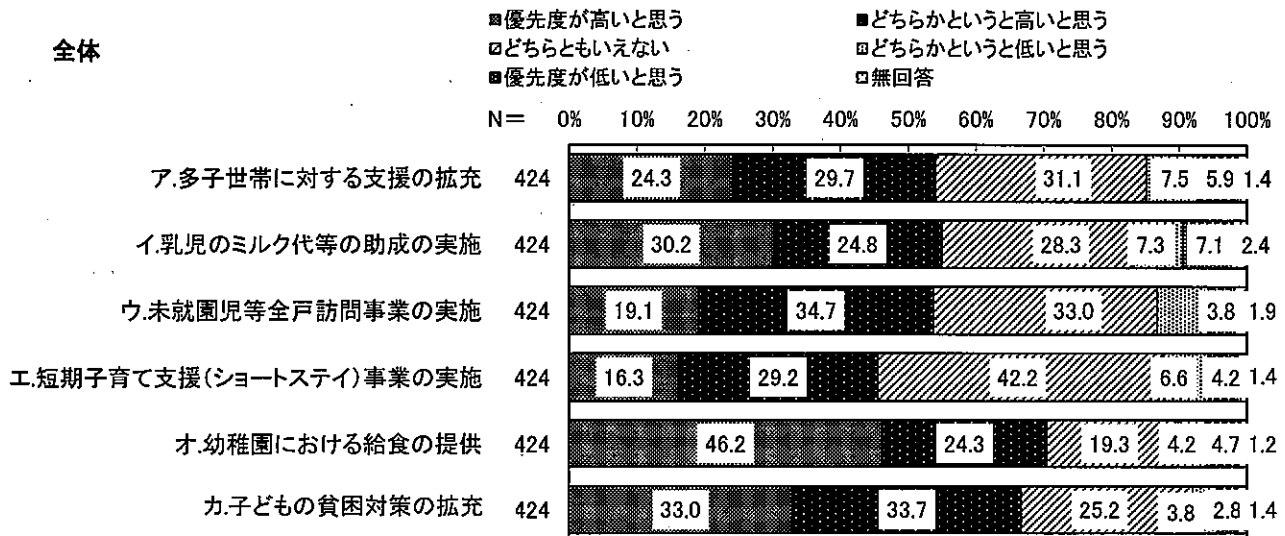


問 33 今後、市に優先的に取り組んで欲しい施策についてお答えください。(項目毎にあてはまる番号1つに○)

市で優先的に取り組んでほしい施策は、全体では「幼稚園における給食の提供」「子どもの貧困対策の拡充」の順で多く、それぞれ「優先度が高いと思う」は、46.2%、33.0%となっています。また、0～2歳では「幼稚園における給食の提供」「乳児のミルク代等の助成の実施」「多子世帯に対する支援の拡充」は、「優先度が高いと思う」が3～5歳より、それぞれ9.0%、10.1%、5.0%高くなっています。

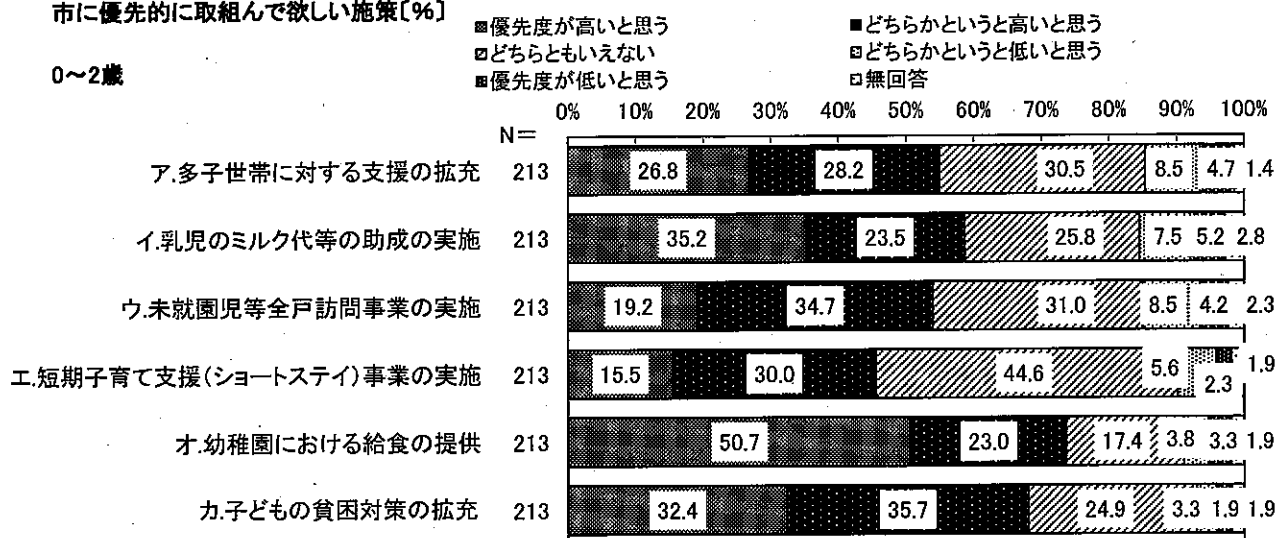
市に優先的に取組んで欲しい施策[%]

全体



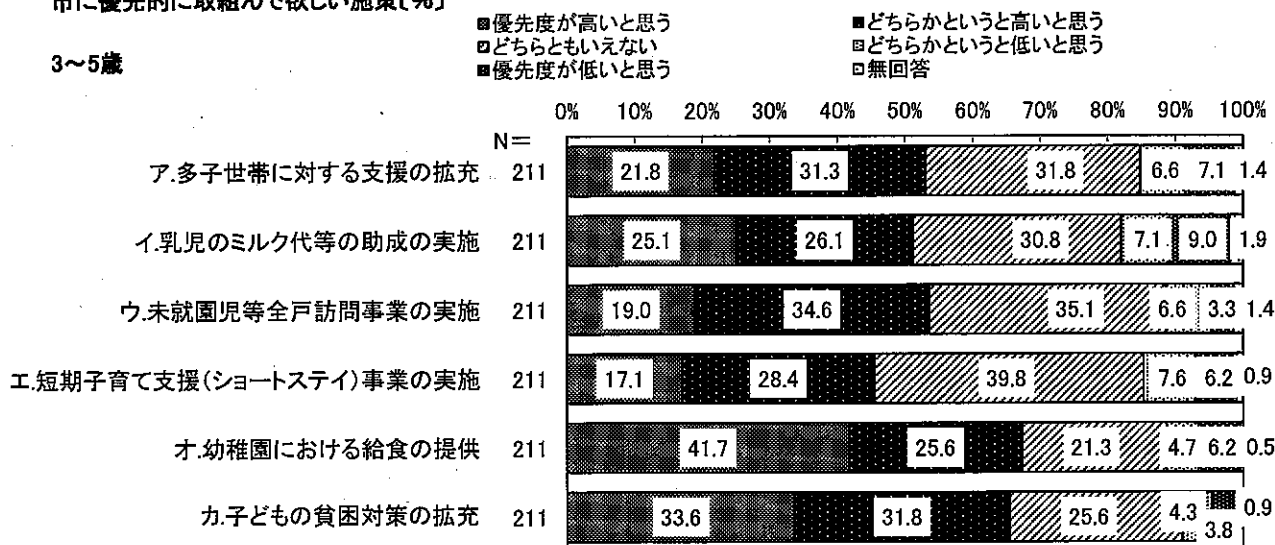
市に優先的に取組んで欲しい施策【%】

0～2歳



市に優先的に取組んで欲しい施策【%】

3～5歳



【市に優先的に取り組んで欲しい施策についての自由記載意見】

198 件の意見が寄せられました。

主な意見としては、「幼稚園での給食」「子育て世帯への助成・支援」「保育サービス」等です。

問 34 市の子育て支援や環境づくりについてのご意見、ご要望をご自由にお書きください。

【市の子育て支援や環境づくりについての自由記載意見】

223 件の意見が寄せられました。

主な意見としては、「子育て環境整備」「保育園・幼稚園（待機児童）」「公共施設」等です。

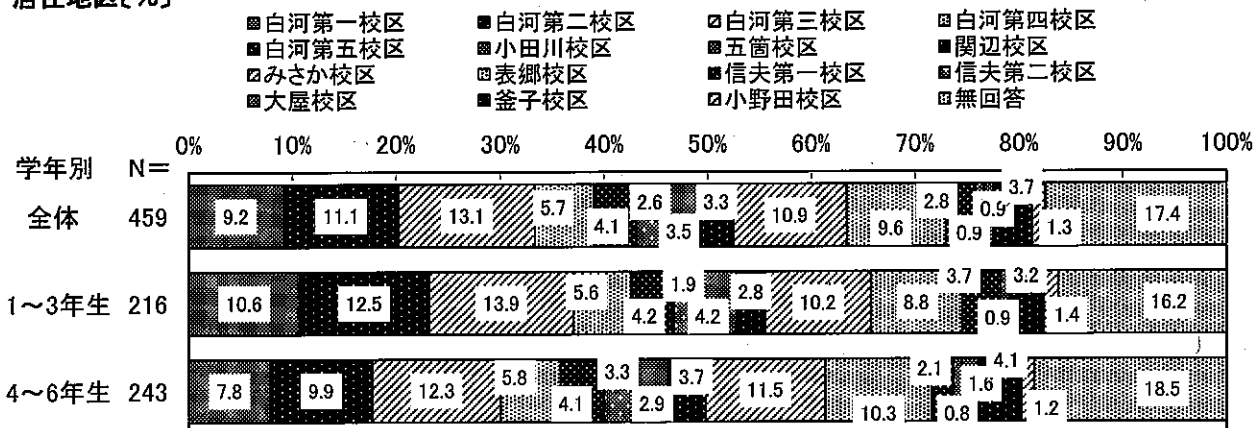
Ⅱ. 小学生

1 お住まいの地域について

問1 お住まいの地区はどちらですか。

最も多い「白河第三小学校区（13.1%）」に対し、最も少ないのは「信夫第二小学校区（0.9%）」「大屋小学校区（0.9%）」となっています。「大屋小学校区」では1年生～3年生の区分で、回答者が0名となりました。

居住地区[%]



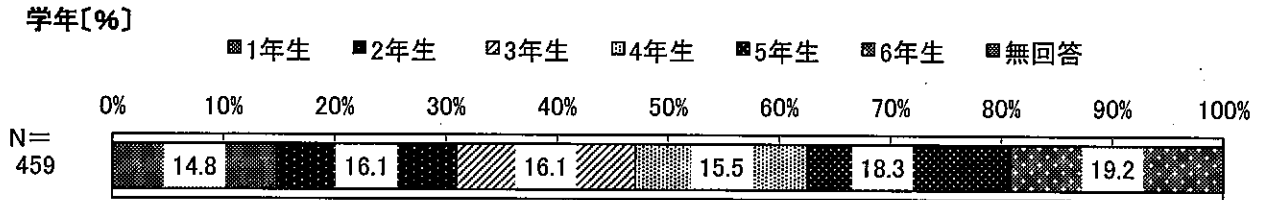
アンケート回答者の児童の学年は問2の集計により、以下のとおりとなっています。(人)

	合計	問2.あて名のお子さんの平成30年度の学年をお答えください。							
		小学1年生	小学2年生	小学3年生	小学4年生	小学5年生	小学6年生	無回答	
全体	459	68	74	74	71	84	88	0	
問1.お住まいの地区はどちらですか。	白河第一小学校区	42	8	9	6	4	8	7	0
	白河第二小学校区	51	10	9	8	5	11	8	0
	白河第三小学校区	60	11	9	10	5	14	11	0
	白河第四小学校区	26	1	5	6	6	3	5	0
	白河第五小学校区	19	1	2	6	4	3	3	0
	小田川小学校区	12	0	2	2	3	2	3	0
	五箇小学校区	16	3	4	2	3	1	3	0
	関辺小学校区	15	1	2	3	4	3	2	0
	みさか小学校区	50	7	7	8	4	6	18	0
	表郷小学校区	44	5	4	10	8	9	8	0
	信夫第一小学校区	13	4	4	0	1	3	1	0
	信夫第二小学校区	4	0	1	1	1	0	1	0
	大屋小学校区	4	0	0	0	3	0	1	0
	釜子小学校区	17	1	4	2	5	4	1	0
小野田小学校区	6	2	0	1	0	2	1	0	

2 お子さんご家族の状況について

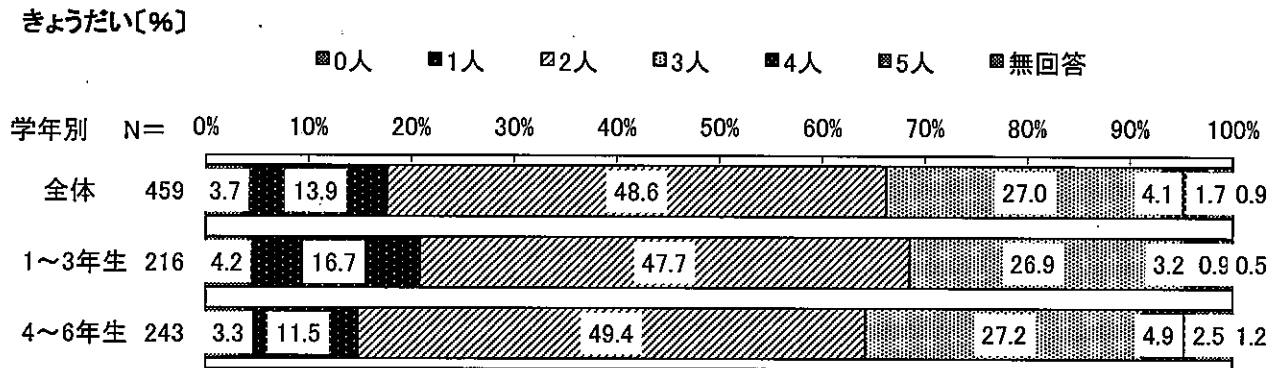
問2 お子さんの平成30年度の学年をお答えください。

調査対象のお子さんの学年割合は以下の通りとなっています。高学年が少し高い傾向です。



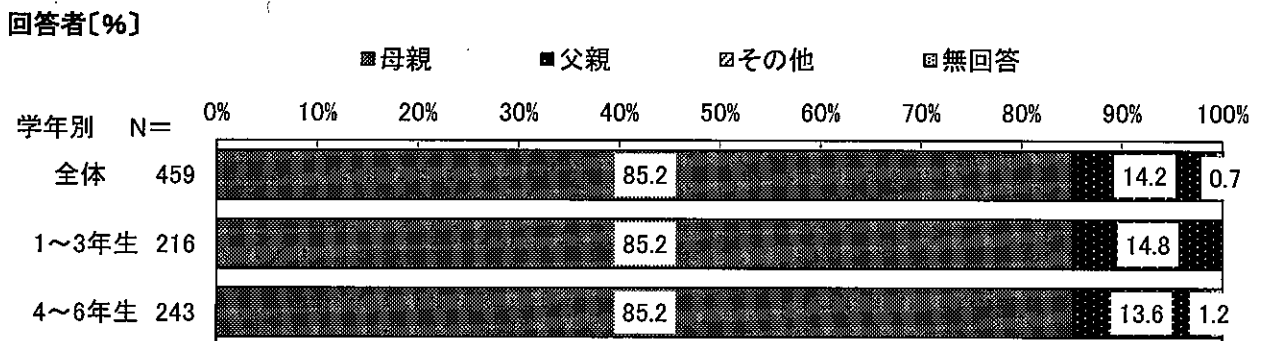
問3 きょうだいの人数と末子の方の年齢(末子の方の実際の記入は生年月)を教えてください。(きょうだいの人数は、調査対象の子を含めた人数)

きょうだいの人数は「2人」が最も多く、全体で48.6%となっています。「3人」が27.0%で、「2人以上」が81.4%です。「調査対象のお子さんが末子」は145名、「調査対象のお子さん以外が末子」は189名、不明は25名となっています。



問4 ご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。

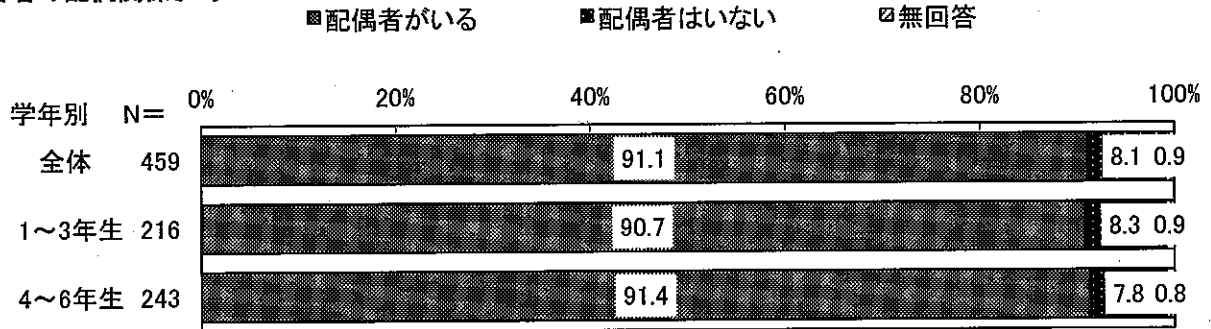
母親が85.2%と就学前児童(92.9%)に比べ、母親の割合が少なくなっています。



問5 ご回答いただいている方の配偶関係をお答えください。

ひとり親世帯は、全体で8.1%、1～3年生で8.3%、4～6年生で7.8%です。全体では、就学前児童（7.1%）と比較すると1.0%高くなっています。

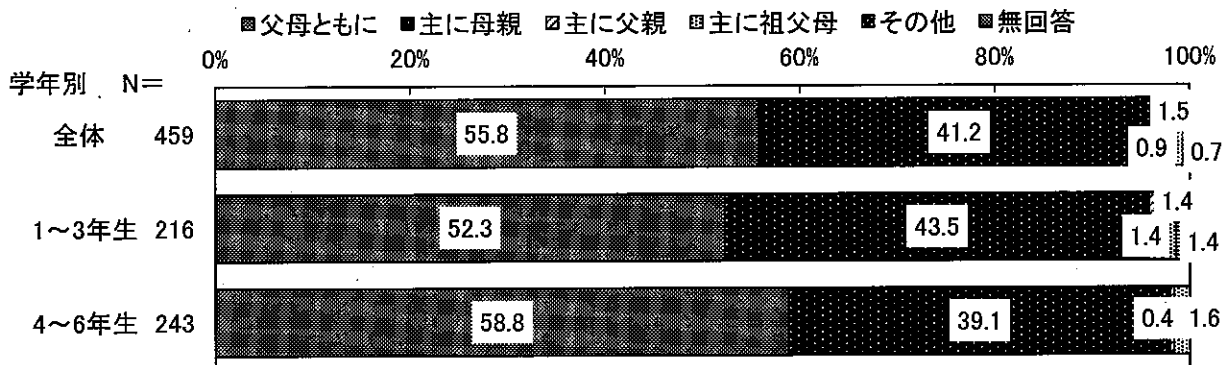
回答者の配偶関係[%]



問6 お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。

学年が上がると「父母ともに」が高く（1～3年生：52.3%、4～6年生：58.8%）、就学前児童（51.7%）に比べても小学生（55.8%）の方が高くなっています。「主に祖父母」は、就学前児童（1.2%）とほぼ同様の1.5%で、ひとり親世帯では、2.7%です。

主に子育てをしている人[%]



		合計 (人)	問6.あて名のお子さんの子育て(教育含む)を主に行っているのはどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(%)					
(人)			父母ともに	主に母親	主に父親	主に祖父母	その他	無回答
全体 459		459	55.8	41.2	0.9	1.5	0.0	0.7
学年区分	1～3年生 216	216	52.3	43.5	1.4	1.4	0.0	1.4
	4～6年生 243	243	58.8	39.1	0.4	1.6	0.0	0.0

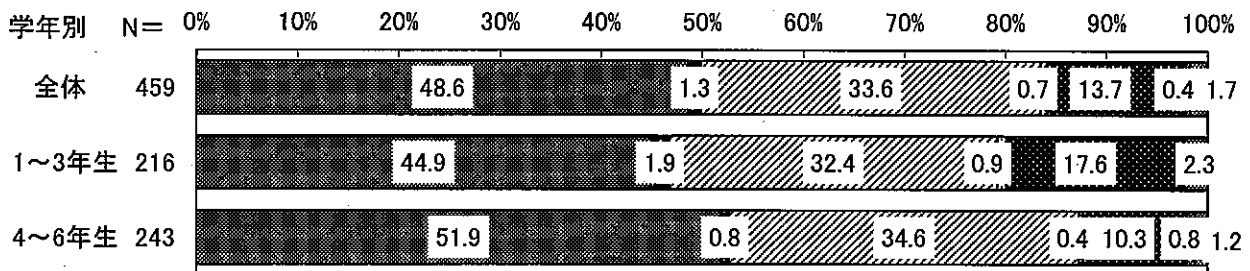
3 保護者の方の就労状況について

問7 保護者の方の就労状況（自営業・家族従事者含む）についてお答えください。

母親の就労状況は、高学年が高く、育休中も含めた「フルタイム就労」は52.7%で、低学年よりも5.9%高く、また、「パート・アルバイト等での就労」も含めると87.7%と低学年に比べ7.6%高くなっています。ひとり親世帯では、24名が「フルタイムで就労」、6名が「パート・アルバイト等で就労（内、1人は育休中等の方）」ですが、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が1名です。

母親の就労状況〔%〕

- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答



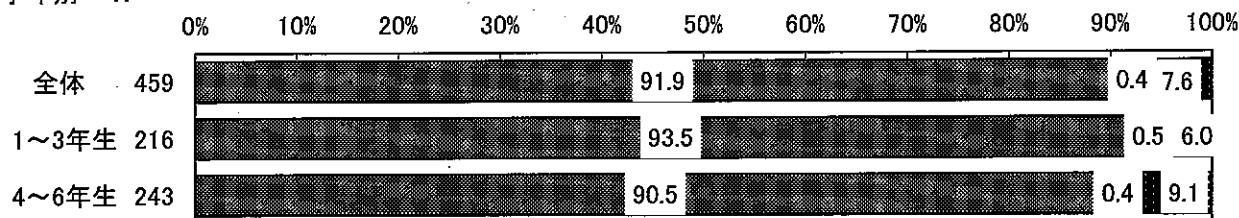
		問7.あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。(1)母親 (%)							
		合計	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
学年区分	(人)	(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体	459	459	48.6	1.3	33.6	0.7	13.7	0.4	1.7
1~3年生	216	216	44.9	1.9	32.4	0.9	17.6	0.0	2.3
4~6年生	243	243	51.9	0.8	34.6	0.4	10.3	0.8	1.2

父親は、91.9%が「フルタイムで就労」ですが、育休等の取得は、0名です。また、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が2名です。ひとり親世帯では、「フルタイムで就労」が5名で、無回答が1名です。

父親の就労状況〔%〕

- フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

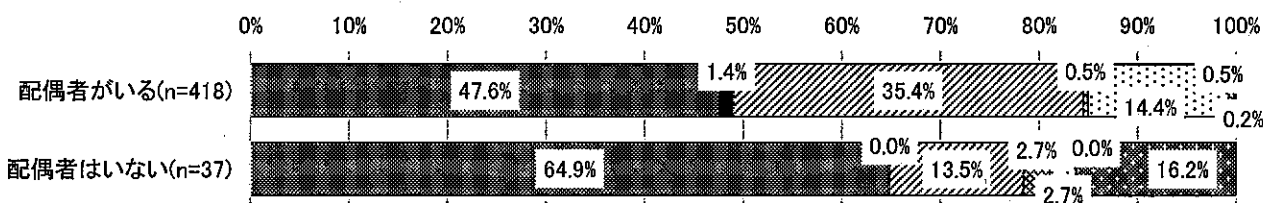
学年別 N=



		合計 (人)	問7.あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。(2)父親 (%)						
学年区分	(人)		フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である	フルタイムで就労している	パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
全体	459	459	91.9	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	7.6
1~3年生	216	216	93.5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	6.0
4~6年生	243	243	90.5	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	9.1

母親の就労状況 (配偶者有無別)〔%〕

- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答



※ 父親の就労状況（配偶者有無別）〔%〕

父親のひとり親世帯では、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が5名、未回答が1名です。

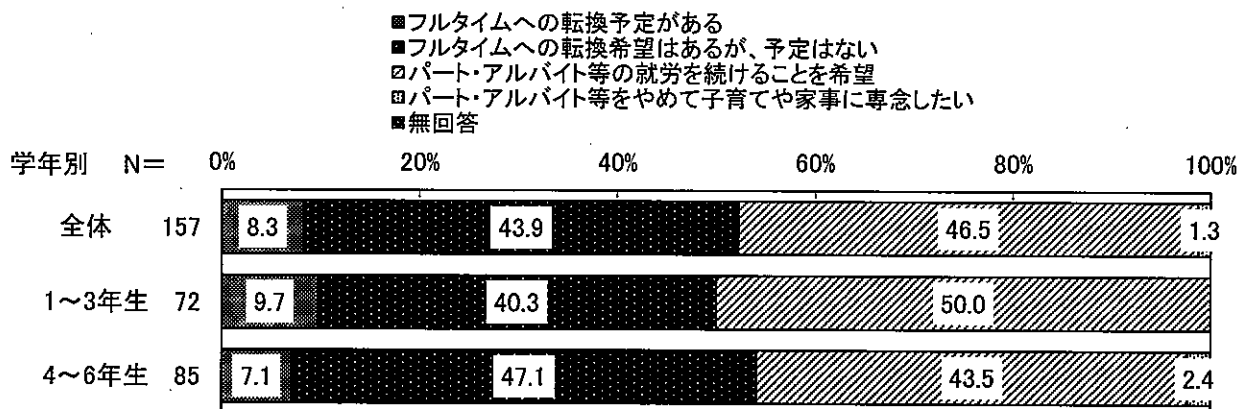
問8 問7で「パート・アルバイト等で就労している」とお答えの方のうち、フルタイムへの転換希望はありますか。

母親の「パート・アルバイト等からのフルタイムへの転換希望」は全体で、52.2%です。「予定がある」は、8.3%と低いです。就学前児童（4.9%）よりは高くなっています。「フルタイムへの転換希望」は、4～6年生で54.2%と1～3年生の50.0%に比べ高くなっていますが、「予定がある」は7.1%で1～3年生の9.7%に比べ低くなっています。また、「子育てや家事に専念したい」も2.4%（1～3年生では0名）います。

「アルバイト・パート等の就労を希望」は、1～3年生で50%、4～6年生で43.5%と低学年の比率が高くなっています。

ひとり親世帯の母親では、「フルタイムへの転換希望はあるが、予定はない」が4名、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が2名です。

パート等の母親/フルタイムへの転換希望〔%〕



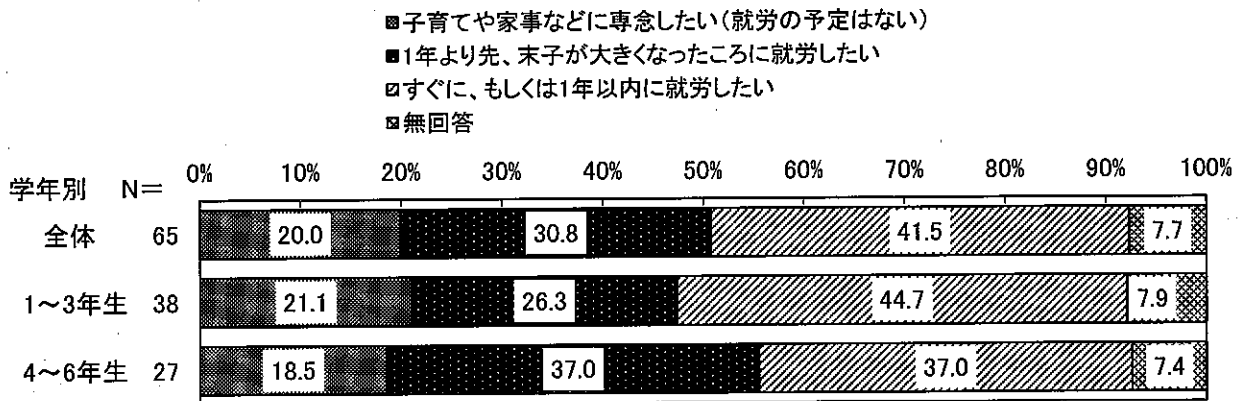
※ パート等の父親/フルタイムへの転換希望〔%〕

父親のフルタイムへの転換希望は0名です。

問9 問7で「就労していない・就労したことがない」とお答えの方のうち、就労希望はありますか

全体で、72.3%が就労を希望しています。「子育てや家事などに専念したい」が、全体で20.0%です。また、「すぐに、もしくは1年以内に就労したい」は、1～3年生で44.7%あるのに対し、4～6年生では37.0%と低くなっています。「1年より先、一番下のお子さんが希望年齢になったときに就労したい」では逆に、4～6年生が、37.0%と1～3年生よりも10.7%多くなっています。ひとり親世帯の母親では、「すぐに、もしくは1年以内に就労したい」が1名です。

未就労の母親/就労希望[%]



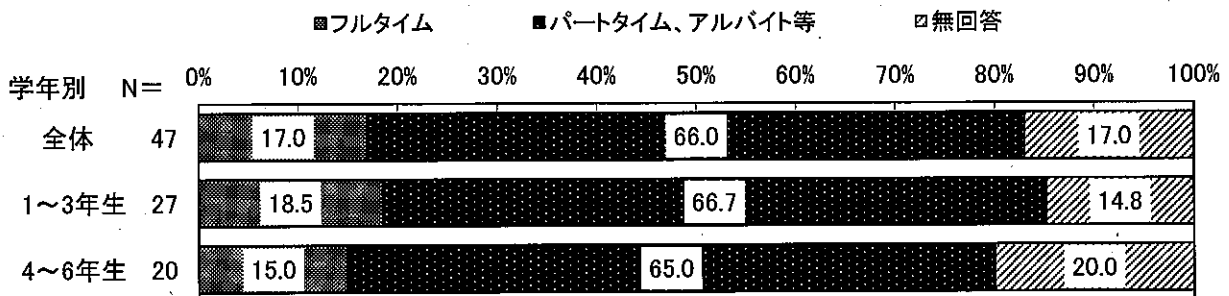
未就労の父親/就労希望 [%]

「すぐに、もしくは1年以内に就労したい」「無回答」がそれぞれ1人で、ひとり親世帯の父親は、該当者は0名です。

問9-1 問9で「就労したい」とお答えの方のうち、希望する就労形態をお答えください。

希望する就労形態は、「フルタイム」が、全体で17.0%です。ひとり親世帯の母親では、「パートタイム、アルバイト等」が1名です。父親は、「フルタイム」が1名です。母親の希望日数(週あたり)と時間(1日あたり)で多いのは、日数が3日～5日で70.2%、時間は4時間～5時間で55.3%です。

就労したい母親/希望する就労形態[%]



4 放課後の過ごし方について

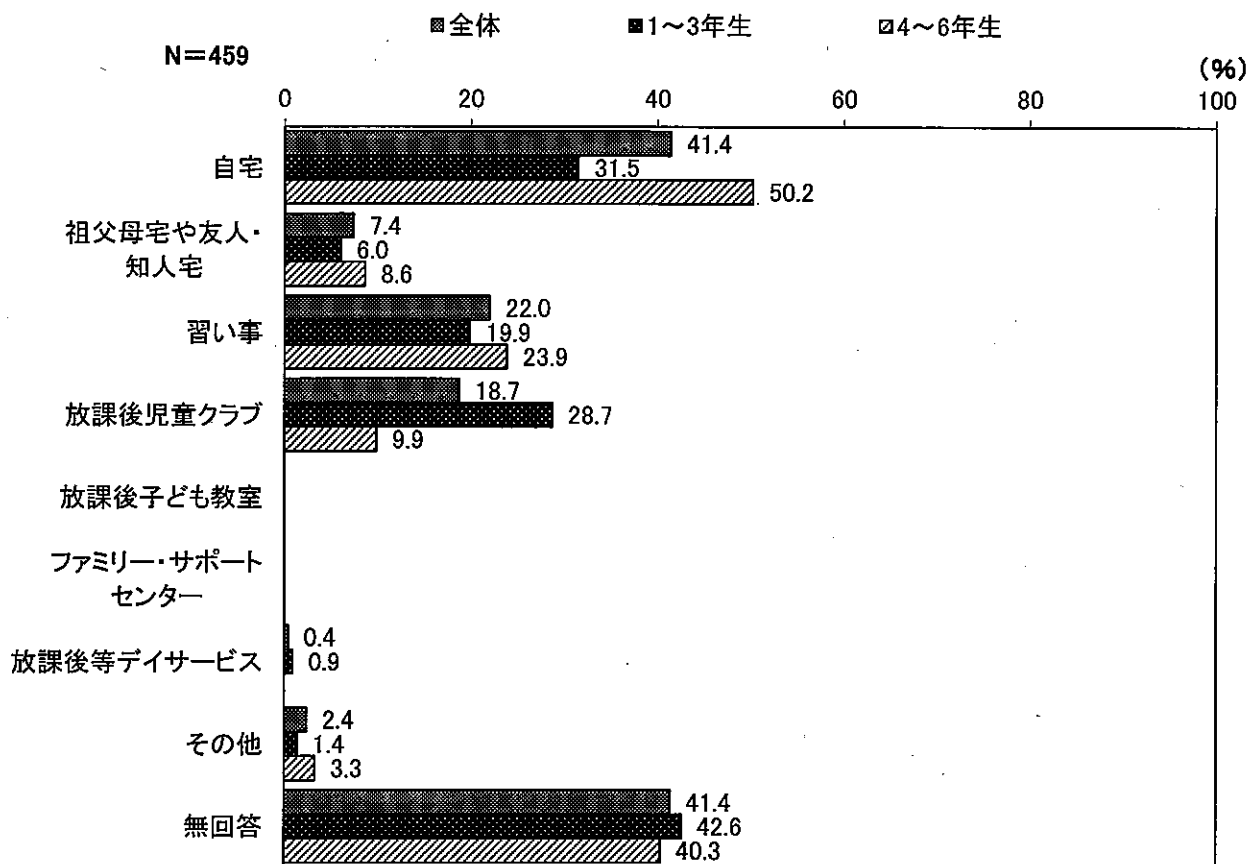
問 10 放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。低学年と高学年、それぞれの期間についてお答えください。（複数回答）また、利用している日数（放課後児童クラブの場合は利用時間も）をお答えください。

4～6年生では、「自宅」が50.2%と最も多く、1～3年生では「自宅」「放課後児童クラブ」がそれぞれ31.5%、28.7%と多くなっています。また、「習い事」もそれぞれ20%前後です。無回答の方は全体で41.4%です。

利用日数については、「放課後児童クラブ」を5日利用している方が低学年、高学年それぞれ、30.7%、9.5%となっています。また、「習い事」の利用日数は1日～3日が大半を占めています。

「放課後児童クラブ」の利用時間は、4～6年生では「17時まで」が22人と1番多いですが、1～3年生では、「18時まで」が57人と最も多くなっています。

放課後の過ごし方[%・複数回答]



放課後の過ごし方・日数/週〔%〕

	低学年(n=270)								計
	自宅	祖父母宅等	習い事	放課後児童クラブ	放課後子ども教室	ファミリーサポートセンター	放課後等デイサービス	その他	
1日	4.1	2.2	13.3	0.4	0.0	0.0	0.7	1.5	22.2
2日	6.7	2.2	13.7	1.9	0.4	0.0	0.0	1.1	25.9
3日	7.4	0.4	6.7	6.3	0.0	0.0	0.4	0.0	21.1
4日	3.7	0.7	3.7	8.9	0.4	0.0	0.4	0.0	17.8
5日	24.4	3.3	0.7	30.7	0.7	0.0	0.0	0.4	60.4
6日	1.1	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.4	0.0	1.9
7日	4.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8
計	51.9	9.3	38.1	48.5	1.5	0.0	1.9	3.0	

	高学年(n=241)								計
	自宅	祖父母宅等	習い事	放課後児童クラブ	放課後子ども教室	ファミリーサポートセンター	放課後等デイサービス	その他	
1日	6.2	1.7	11.6	1.2	0.0	0.0	0.0	1.2	22.0
2日	9.1	3.7	12.4	4.1	0.0	0.0	0.0	1.7	31.1
3日	11.2	2.9	12.4	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	29.0
4日	7.9	1.2	5.0	2.9	0.0	0.0	0.4	0.4	17.8
5日	34.4	4.6	3.7	9.5	0.0	0.0	0.4	0.4	53.1
6日	0.4	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.4	1.2
7日	4.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.6
計	73.9	14.1	45.2	20.7	0.0	0.0	0.8	4.1	

放課後児童クラブの利用時間〔%〕

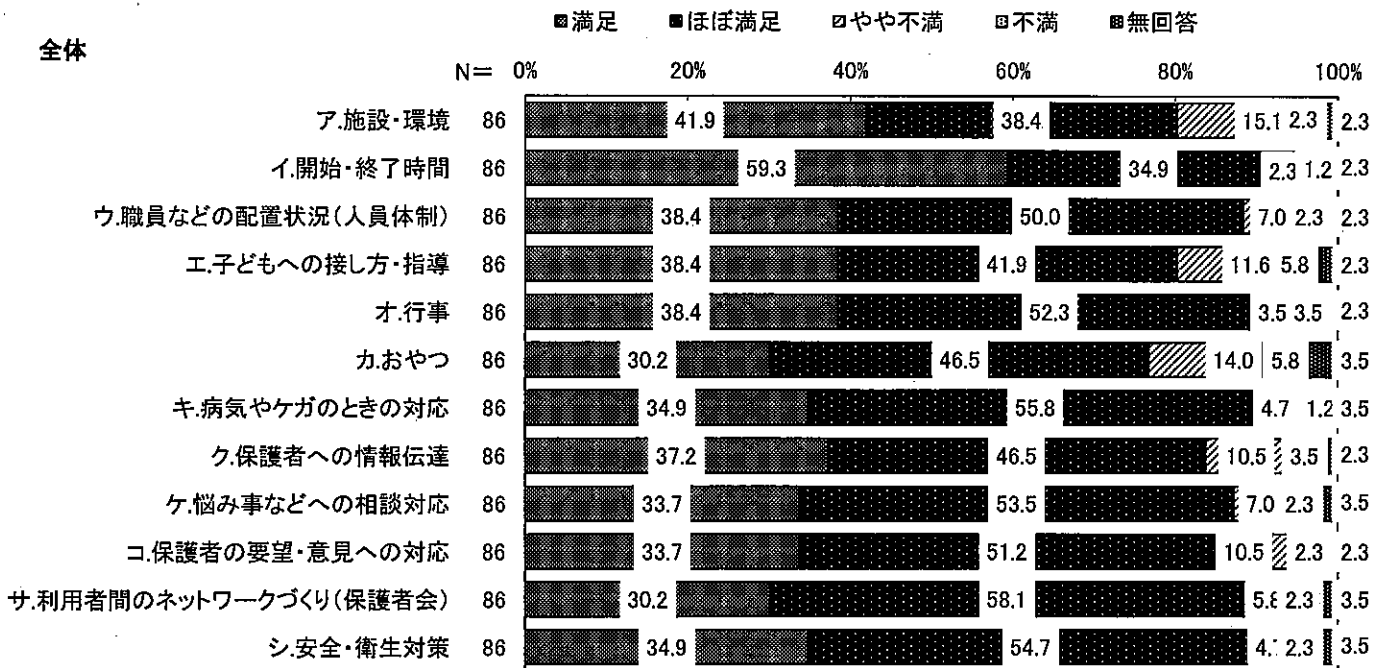
	低学年 (n=131)	高学年 (n=50)
～16時	16.0	18.0
～17時	35.1	44.0
～18時	43.5	24.0
～19時	5.3	14.0

問 10-1 問 10 で「4」（放課後児童クラブ（学童保育））に○をつけた方にうかがいます。
放課後児童クラブにおける次の項目に対して、どのように感じていますか。（項目
毎にあてはまる番号 1 つに○）

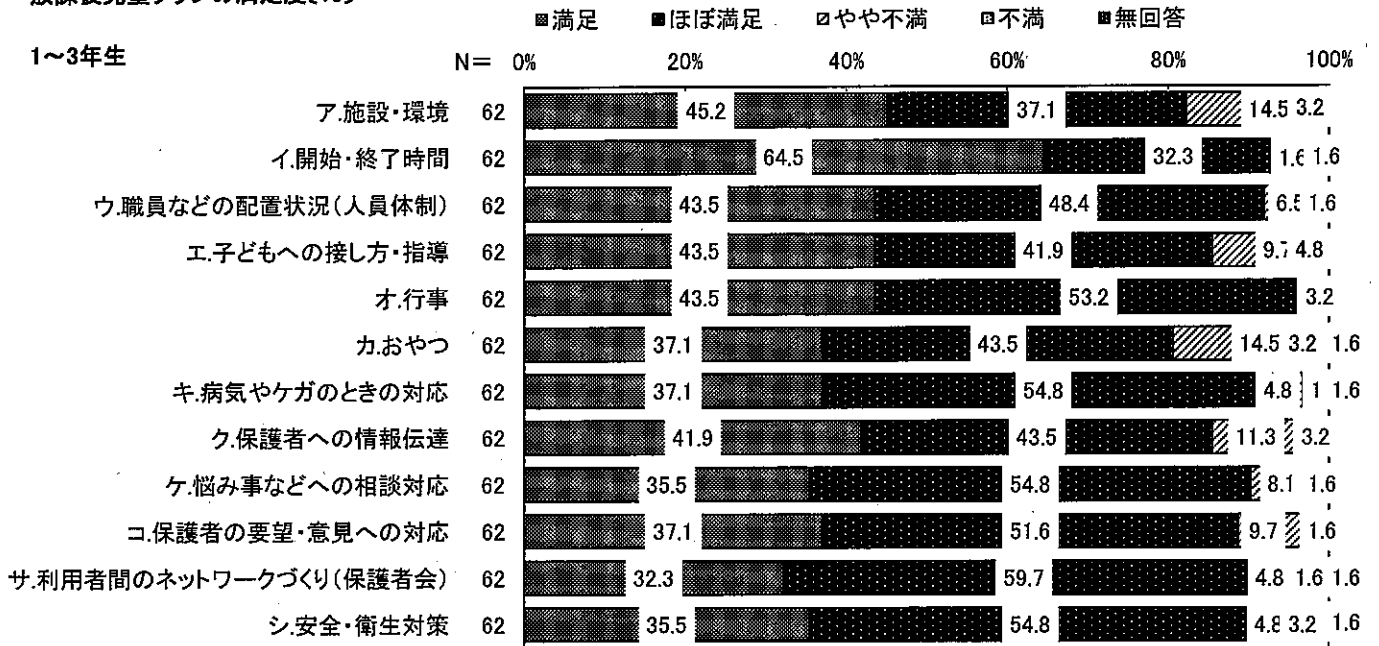
「満足」「ほぼ満足」を合わせた満足度が最も高いのが「開始・終了時間」で、94.2%です。全体的に満足度は高く、最も低い「おやつ」でも 76.7%です。学年区分別では、1～3 年生は満足度が高い傾向にあり、「開始・終了時間」「行事」はそれぞれ 96.8%、96.7%となっています。4～6 年生では「行事」の満足度が 75.0%と 1～3 年生に比べ 21.7%低くなっており、「子どもへの接し方・指導」の満足度も 18.7%低くなっています。

ひとり親世帯では満足度は高く、「やや不満」が「おやつ」で 2 名のみです。

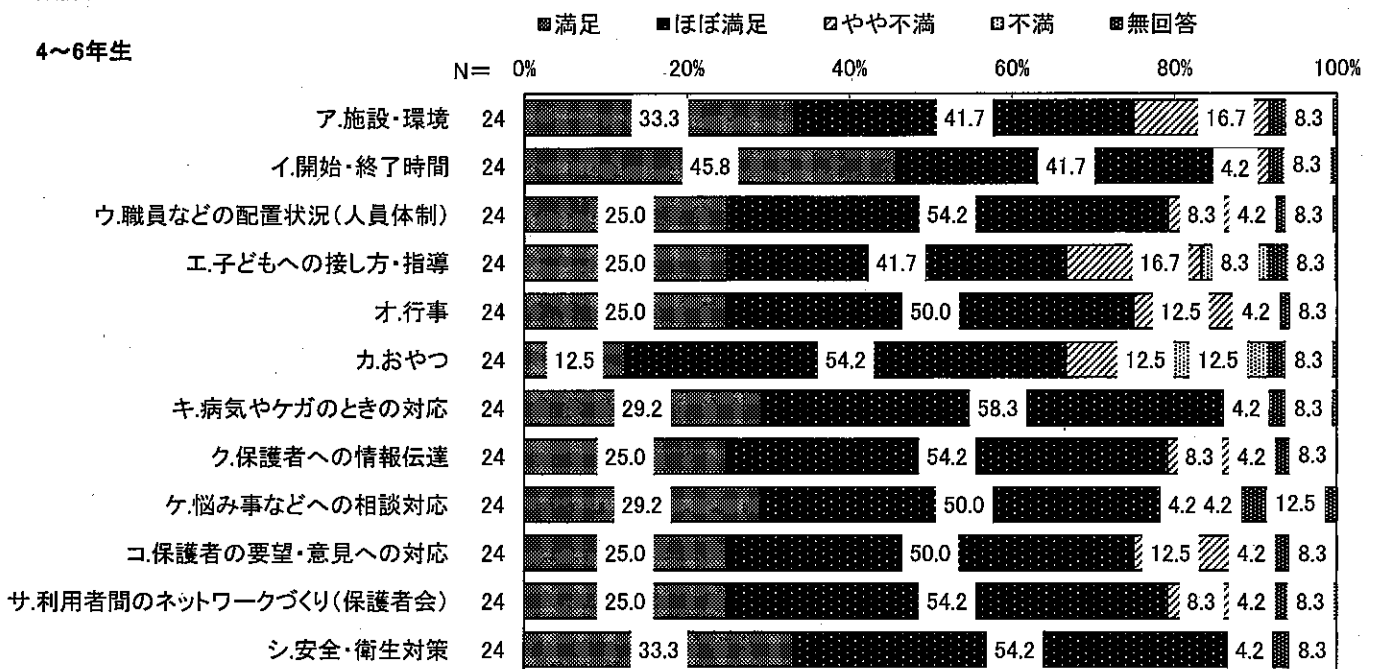
放課後児童クラブの満足度[%]



放課後児童クラブの満足度【%】



放課後児童クラブの満足度【%】

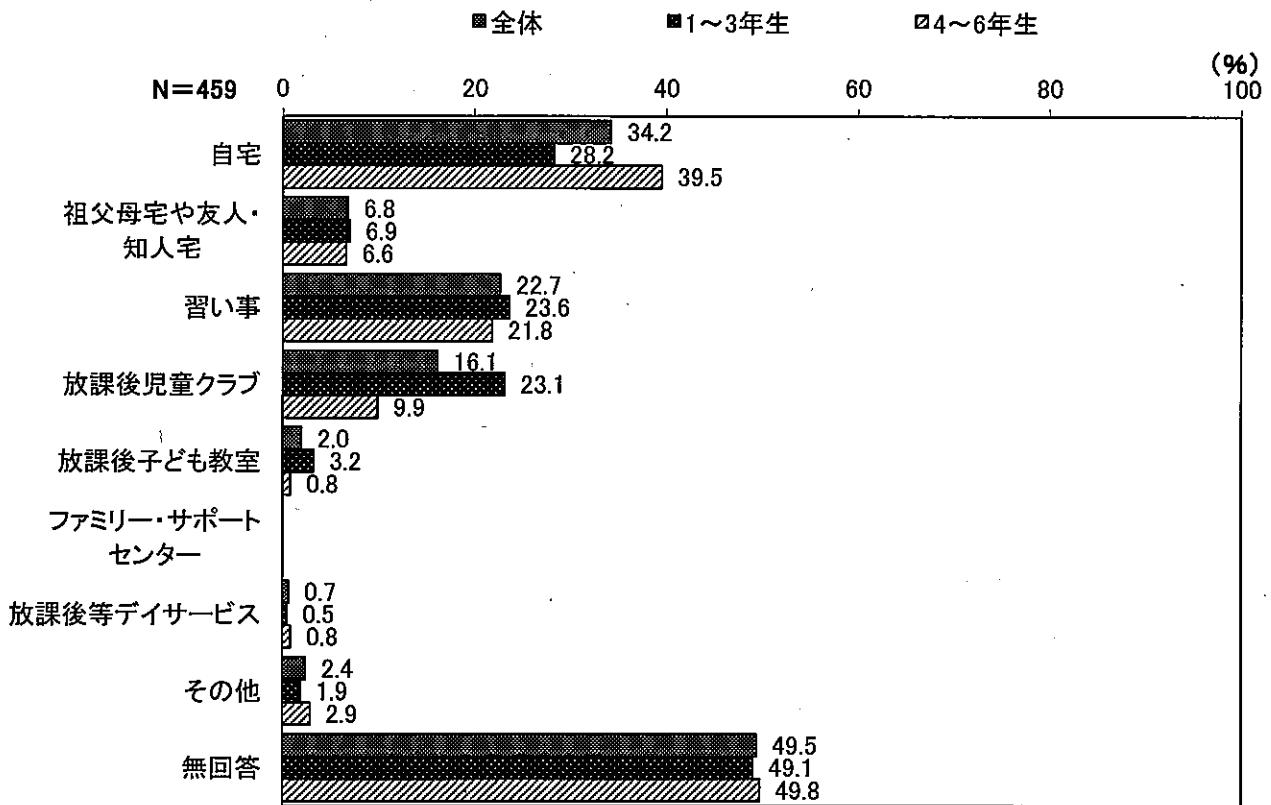


問 11 放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。低学年と高学年、それぞれの期間についてお答えください。（複数回答）また利用を希望する日数（放課後児童クラブの場合は利用時間も）をお答えください。

4～6年生では、「自宅」が39.5%と最も多く、1～3年生では「自宅」「習い事」「放課後児童クラブ」がそれぞれ20%台となっていて、実際の利用とほぼ同様の傾向です。希望利用日数も実際の利用と同様の傾向です。「放課後児童クラブ」の終了時間も1～3年生では実際の利用と同様の傾向ですが、4～6年生では「18時まで」が27名と実際の利用より多くなっています。

ひとり親世帯では、「自宅（21.9%）」が少なく、「放課後児童クラブ（29.7%）」がふたり親世帯に比べ多くなっています。「習い事（16.2%）」はふたり親世帯に比べ少ないですが、実際の利用より多くなっています。

希望する放課後の過ごし方[%・複数回答]



放課後の希望する過ごし方・日数/週〔%〕

	低学年(n=258)								
	自宅	祖父母宅等	習い事	放課後児童クラブ	放課後子ども教室	ファミリーサポートセンター	放課後等デイサービス	その他	計
1日	3.5	3.9	15.5	0.8	1.6	0.0	0.8	1.2	27.1
2日	10.9	2.7	16.3	4.7	1.6	0.0	0.8	1.6	38.4
3日	8.9	0.8	7.4	7.4	1.2	0.0	0.4	0.0	26.0
4日	3.1	0.0	1.6	6.6	0.4	0.0	0.4	0.8	12.8
5日	20.9	3.1	0.4	26.7	0.4	0.0	0.0	0.0	51.6
6日	1.2	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.4	0.0	2.3
7日	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.9
計	52.3	10.5	41.1	46.9	5.0	0.0	2.7	3.5	

	高学年(n=256)								
	自宅	祖父母宅等	習い事	放課後児童クラブ	放課後子ども教室	ファミリーサポートセンター	放課後等デイサービス	その他	計
1日	5.5	3.1	14.1	0.4	2.0	0.4	0.4	3.5	29.3
2日	12.1	4.3	16.0	3.1	1.2	0.0	0.8	2.0	39.5
3日	10.2	1.2	13.3	5.9	1.2	0.0	0.4	0.0	32.0
4日	6.3	0.0	3.1	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
5日	31.3	3.5	2.0	14.5	0.0	0.0	0.4	0.4	52.0
6日	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
7日	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5
計	69.1	12.1	48.4	27.0	4.3	0.4	2.0	5.9	

放課後児童クラブの希望終了時間〔%〕

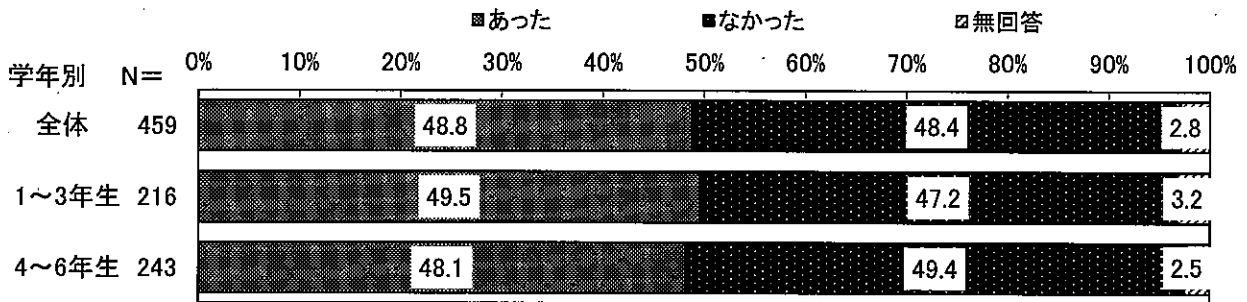
	低学年 (n=120)	高学年 (n=69)
～16時	10.0	11.6
～17時	33.3	31.9
～18時	46.7	40.6
～19時	10.0	15.9

5 お子さんの病気の際の対応について

問 12 この1年間に、病気やケガで、学校を休んだことはありますか。

「あった」は全体で48.8%、「なかった」は48.4%で、ほぼ同数です。学年区分による差もありません。

病気等で学校を休んだこと[%]

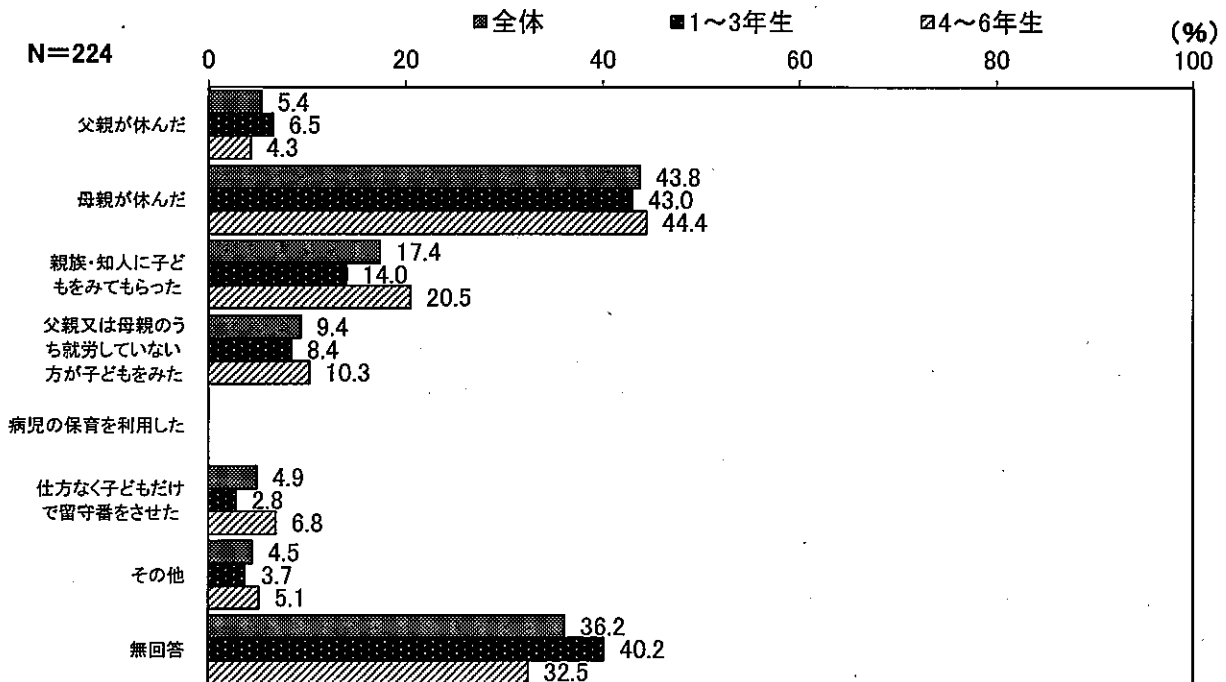


問 12-1 問 12 で病気やケガで、学校を休んだことがある方にうかがいます。病気やケガで、学校を休んだ場合に、この1年間、どのような対処をしましたか。(複数回答) また、あてはまる対処それぞれについて、おおよその日数をお答えください。

「父親が休んだ」と「母親が休んだ」を合わせると、全体で49.2%です。学年区分による差もありません。「親族・知人に子どもをみてもらった」比率は、4~6年生では20.5%ですが、1~3年生では14.0%です。

また、対処日数は月2日以内が59.2%ですが、年間15日以上対処の方が3名で、最長の方は30日です。

利用できないことがあった方/対処法[%・複数回答]

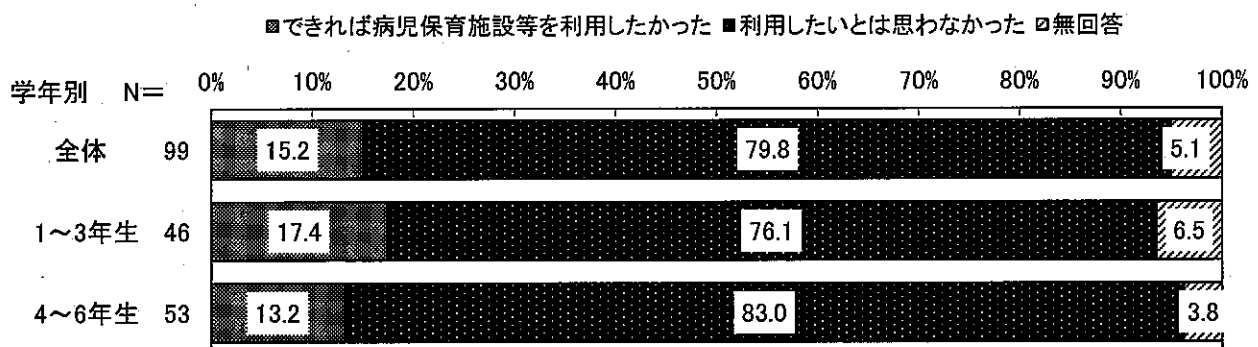


	休んだ日数 (人)						
	~2日	~4日	~6日	~8日	~10日	~15日	~30日
父親が休んだ	18	2	2	0	0	0	0
母親が休んだ	83	26	18	6	9	2	0
親族・知人にみてもらった	45	11	7	0	4	1	0
就労していない方がみた	10	11	4	3	1	0	2
病児の保育を利用	0	0	0	0	0	0	0
子どもだけで留守番	13	3	0	0	0	0	0
その他	4	4	1	2	0	0	0

問 12-2 「病気やケガで、学校を休んだ」際に「親が休んだ」方にうかがいます。その際、「できれば病児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。あてはまる番号それぞれについて、おおよその日数をお答えください。

病児保育施設の利用意向は、全体では 15.2%で、高学年の利用希望は少ない傾向です。希望利用日数では 2 日以内が 16 名 (64.0%)、最長は 26 日です。ひとり親世帯では、7 名中 3 名が利用を希望しています。

父母が休んだ方/病児・病後児保育施設等の利用希望〔%〕



	合計 (人)	利用したいと思った保育施設等の日数 (人)					
		1日	2日	3日	4日	5日	10日~
全体	25	8	8	4	2	1	2
学年	小学1~3年生	14	5	4	1	1	2
区分	小学4~6年生	11	3	4	3	1	0

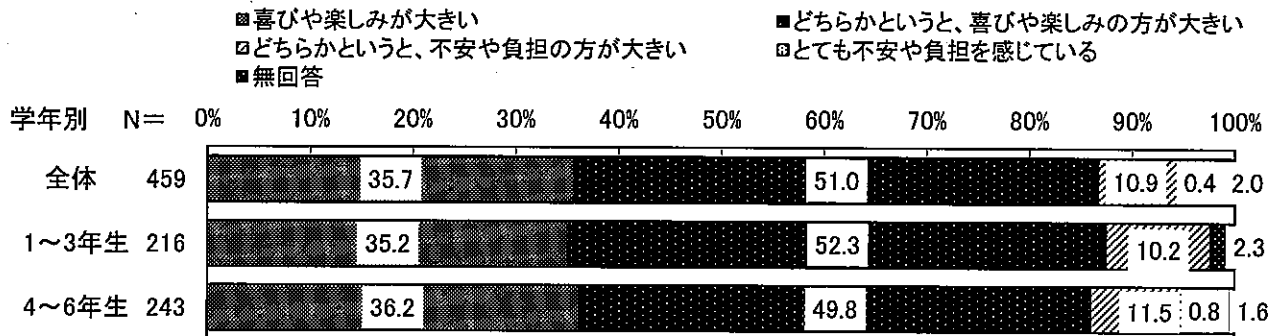
6 家庭の子育て、地域の子育て環境について

●家庭の子育てについて

問 13 子育てをどのように感じていますか。

「喜びや楽しみが大きい」「どちらかというと喜びや楽しみが大きい」は合わせると全体で 86.7% となっています。年代による大きな差はありません。ひとり親世帯でも同様です。

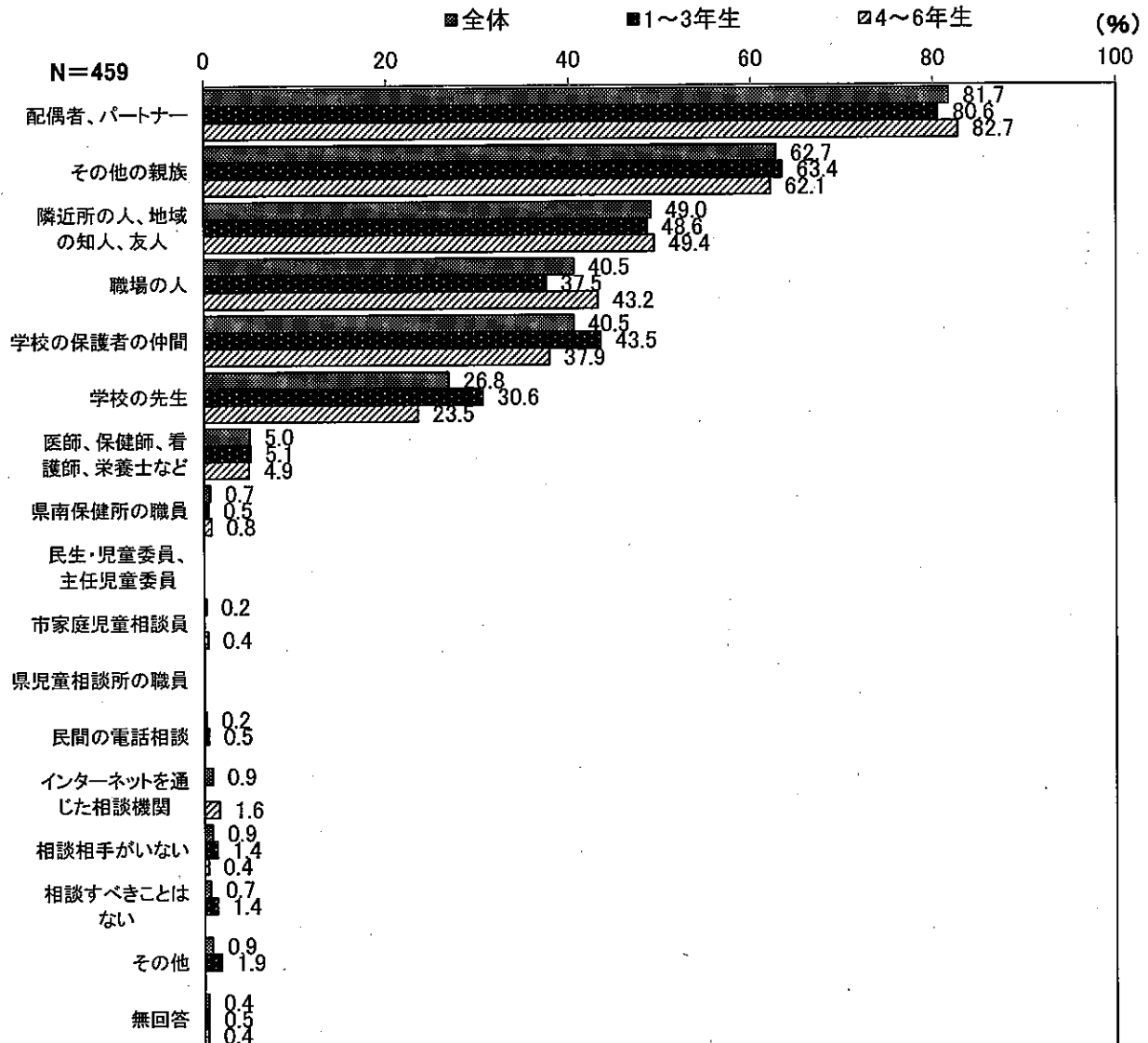
子育て感[%]



問 14 子育て（教育含む）をする上で、気軽に相談できる相手はいますか。（複数回答）

「配偶者・パートナー」「その他親族」「知人・友人等」の比率が年代にかかわらず高く、全体で81.7%、62.7%、49.0%の順となっています。学年区分による差はあまりみられません。学校保護者仲間「学校の先生」は1～3年生は、4～6年生に比べ、6%ほど高くなっています。「職場の人」は逆に5.7%低くなっています。ひとり親世帯では、「その他親族」「職場の人」「学校の先生」の比率がふたり親世帯に比べ6%程度高くなっていますが、逆に「学校の保護者の仲間」は8.7%低くなっています。

子育てで気軽に相談できる相手【%・複数回答】

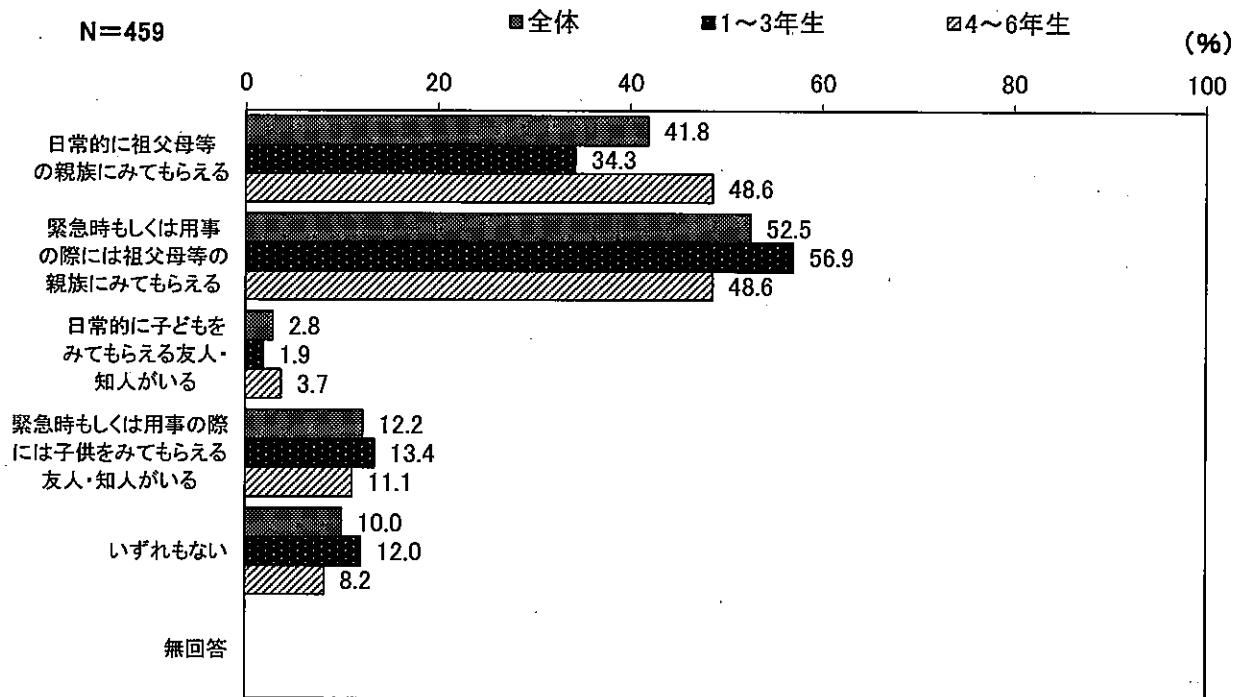


問 15 日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。(複数回答)

「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」は全体で 41.8%ですが、「緊急時にみてもらえる親族や友人・知人等」は、全体で 52.5%です。「いずれの場合もみてもらえない」は全体で 10.0%です。

ひとり親世帯では、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」は全体で 51.4%、「緊急時などに親族にみてもらえる」は全体で 40.5%となっています。「いずれもない」は 5 名で、ふたり親世帯よりも比率が高くなっています。

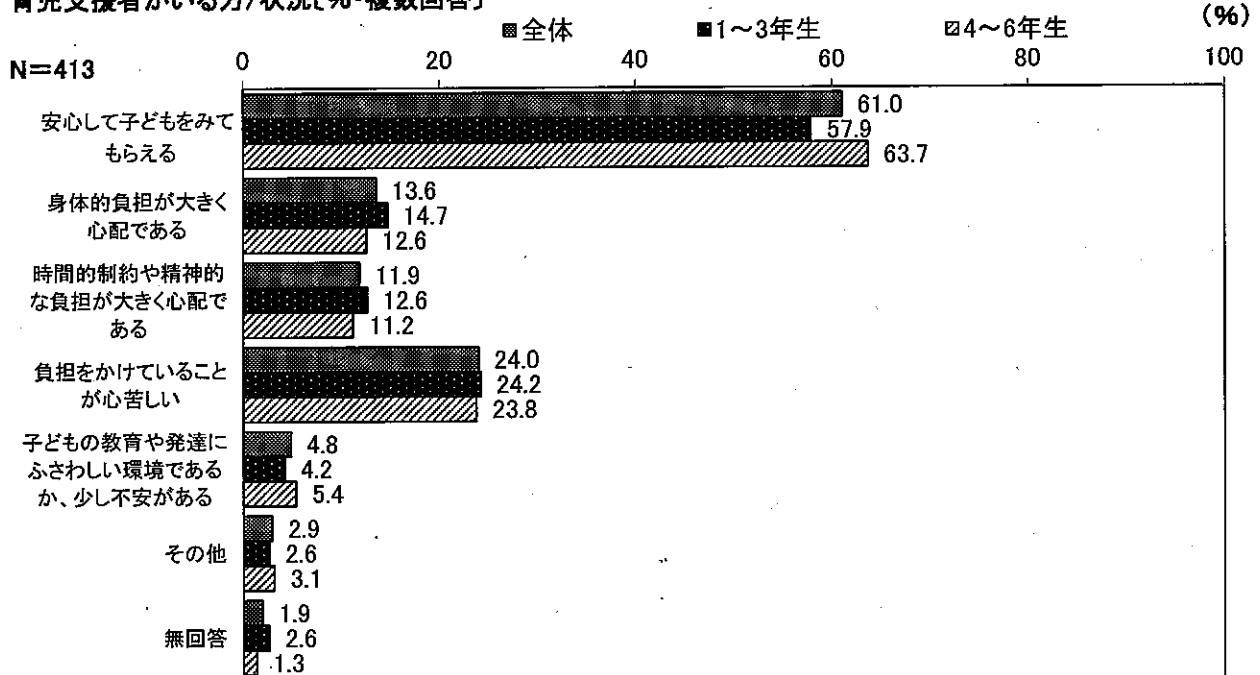
日頃子どもを見てもらえる親族・知人〔%・複数回答〕



問 15-1 問 15 で「お子さんをみてもらえる」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。お子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(複数回答)

「安心して子どもをみてもらえる」は全体で61.0%ですが、一方で「身体的な負担」「時間や精神的な負担」をかけていると感じるとの回答がそれぞれ13%程度となっています。

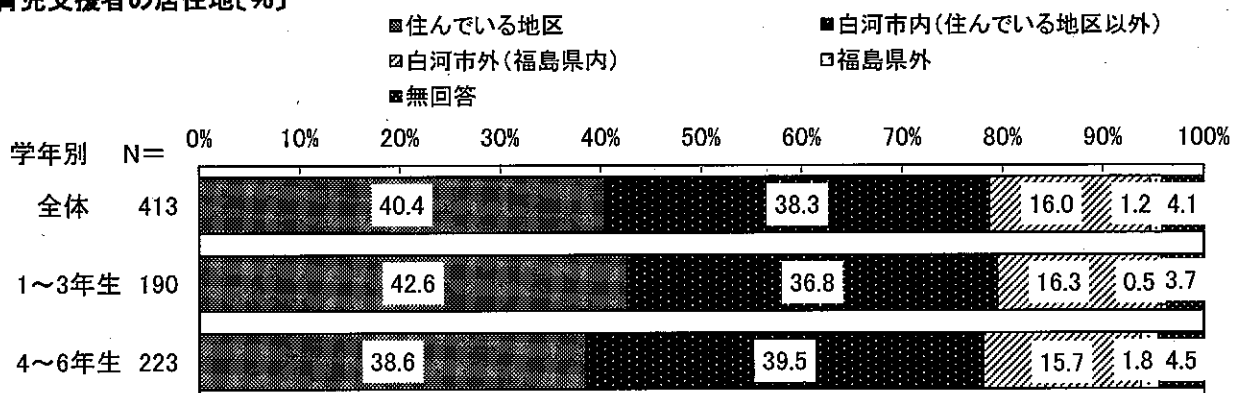
育児支援者がいる方/状況[%・複数回答]



問 15-2 問 15 で「お子さんをみてもらえる」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。お子さんをみてもらっている親族・知人は、どちらにお住まいですか。

「住んでいる地区」は、1~3年生では42.6%、4~6年生では38.6%となっています。

育児支援者の居住地[%]

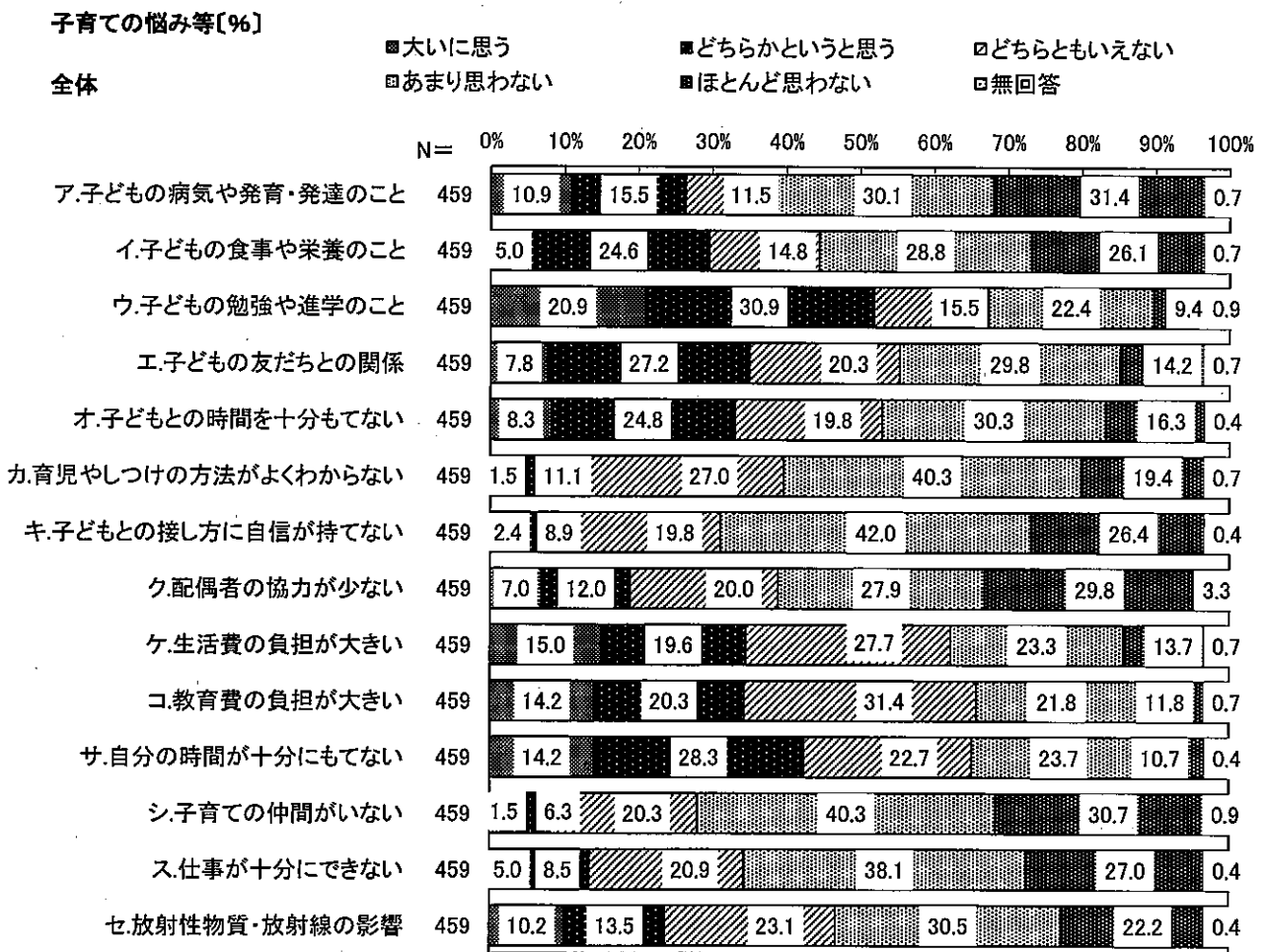


問 16 子育てに関して、悩みや気にかかることはありますか。(項目毎にあてはまる番号1つに○)

全体では、悩みや気にかかることについて「大いに思う」が最も多いのは、「子どもの勉強や進学のこと」の20.9%で、「どちらかというと思う」まで含めると51.8%となっています。次いで多いのは「教育費の負担」「生活費の負担」「自分の時間が十分にもてない」でそれぞれ15.0%、14.2%、14.2%となっています。

また、1～3年生では、「子どもの勉強や進学のこと(16.7%)」「自分の時間が十分にもてない(16.2%)」で、4～6年生では、「子どもの勉強や進学のこと」が24.7%と他よりも10%以上多くなっています。

ひとり親世帯で「大いに思う」が最も多いのは「生活費の負担」「教育費の負担」で35.1%、32.4%となっています。「どちらかというと思う」まで含めると「子どもの勉強や進学のこと」「子どもとの時間を十分にもてない」「自分の時間が十分にもてない」が56.8%、48.6%、48.6%と多くなります。

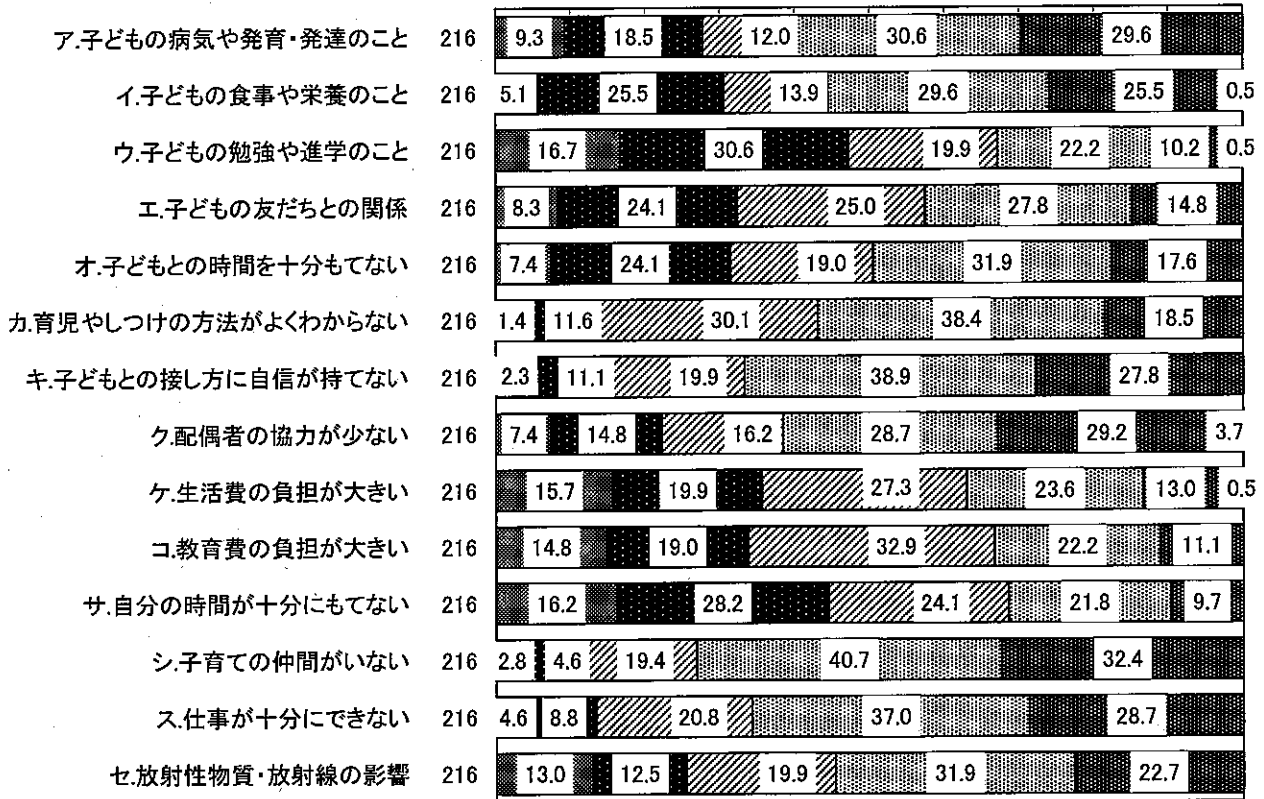


子育ての悩み等[%]

1~3年生

■大いに思う
□あまり思わない
■どちらかというと思う
■ほとんど思わない
□どちらともいえない
□無回答

N= 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

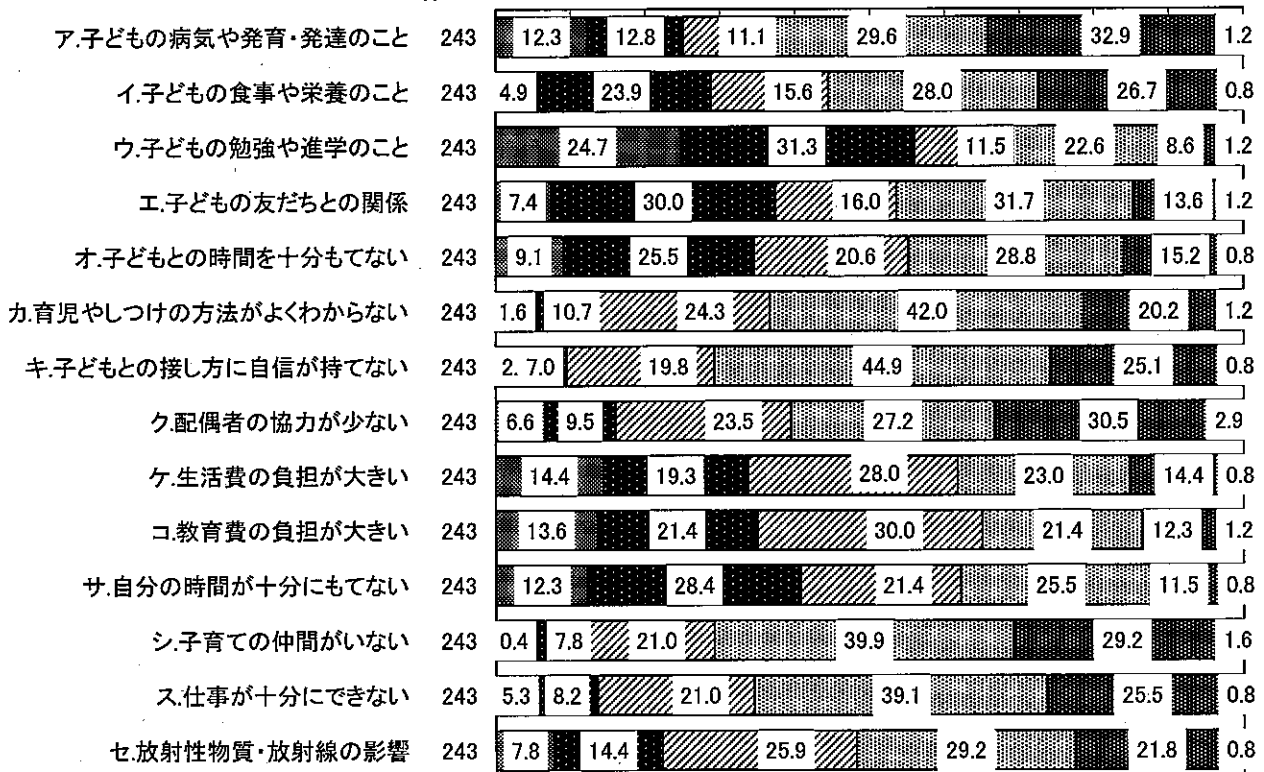


子育ての悩み等[%]

4~6年生

■大いに思う
□あまり思わない
■どちらかというと思う
■ほとんど思わない
□どちらともいえない
□無回答

N= 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

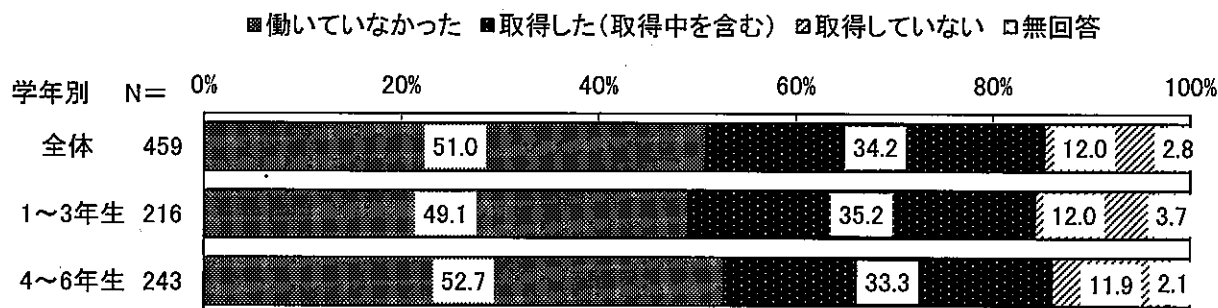


●仕事と子育ての両立について

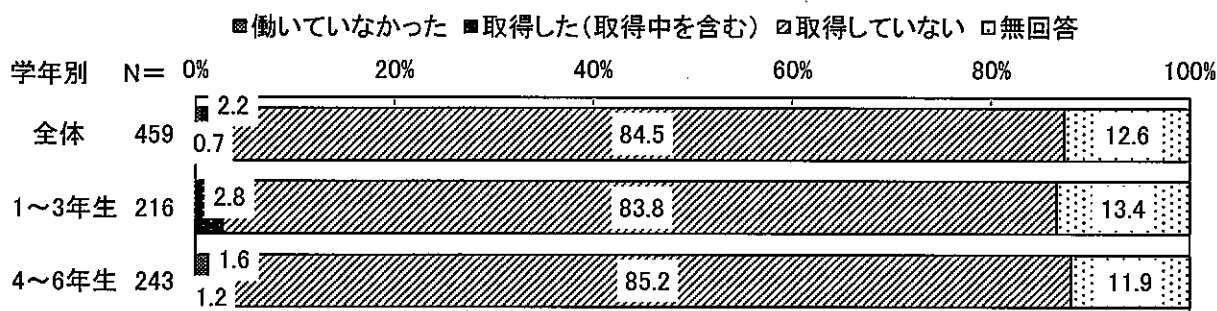
問 17 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(母親、父親それぞれについて1つに○) 取得していない方はその理由をお答えください。

母親の育児休業は、全体で34.2%と就学前児童の0~2歳に比べ、15.1%低くなっていますが、3~5歳との差は3.7%しかありません。父親の取得率は全般的に低く、1~3年生で2.8%、4~6年生では1.6%です。

母親/育児休業の取得[%]



父親/育児休業の取得[%]



母親が育休を取得しない理由で多いのが、「職場の雰囲気や制度がない(パート)ため」で20名、次が「退職した」、「自営業のため」でそれぞれ10名、「生活のため」が2名です。ひとり親世帯では、「職場の雰囲気や制度がない(パート)ため」が3名、「生活のため」が1名です。

父親が育休を取得しない理由で多いのが、「母親に任せた等」で119名、「職場の雰囲気や制度がない(パート)ため」が114名、「取るつもりはなかった」「自営業のため」「生活のため」がそれぞれ17名、14名、13名などです。ひとり親世帯では、「母親に任せた等」が4名で、「職場の雰囲気や制度がない(パート)ため」「生活のため」「自営業のため」がそれぞれ1名です。

●今後の市の取組について

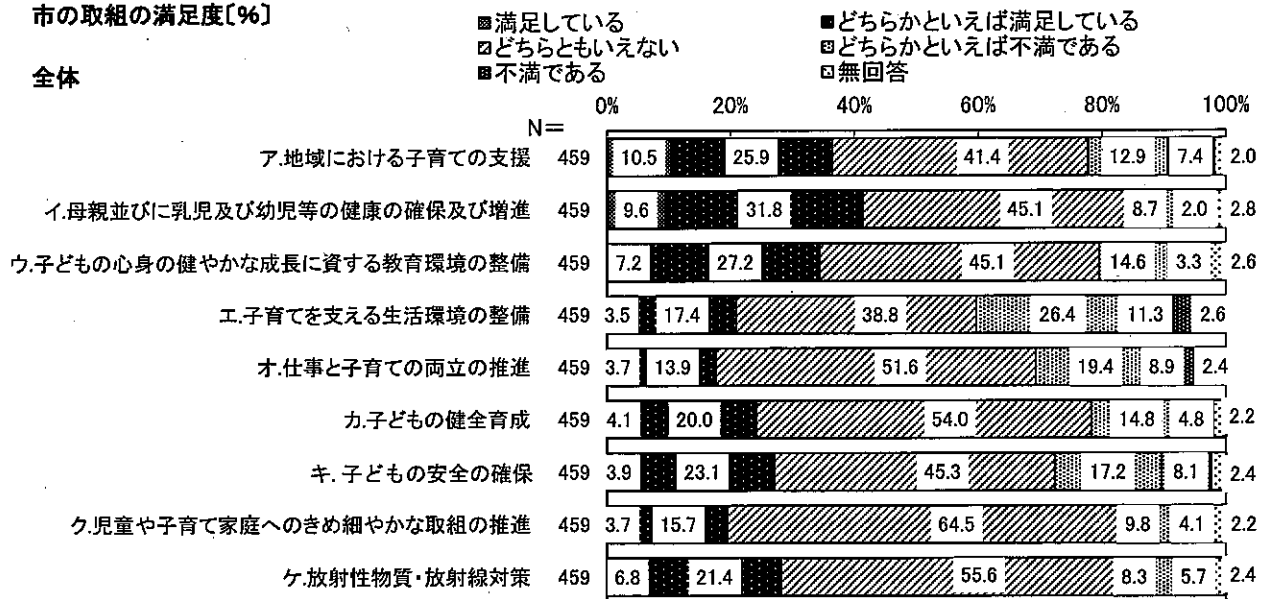
問 18 市の子育て支援の取組についてどのように感じていますか。(項目毎にあてはまる番号1つに○)

満足度が高いのは、「母親並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進」、「地域における子育ての支援」、「子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備」で、「満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせると、それぞれ、41.4%、36.4%、34.4%となっています。逆に「どちらかといえば不満である」「不満である」を合わせた満足度が低いものは、「子育てを支える生活環境の整備」で37.7%となっています。

市の取組の重要度が高いとする施策は、「子どもの安全確保」「子どもの健全育成」「地域における子育ての支援」でそれぞれ「重要である」との回答が、全体で63.4%、57.3%、50.3%となっています。

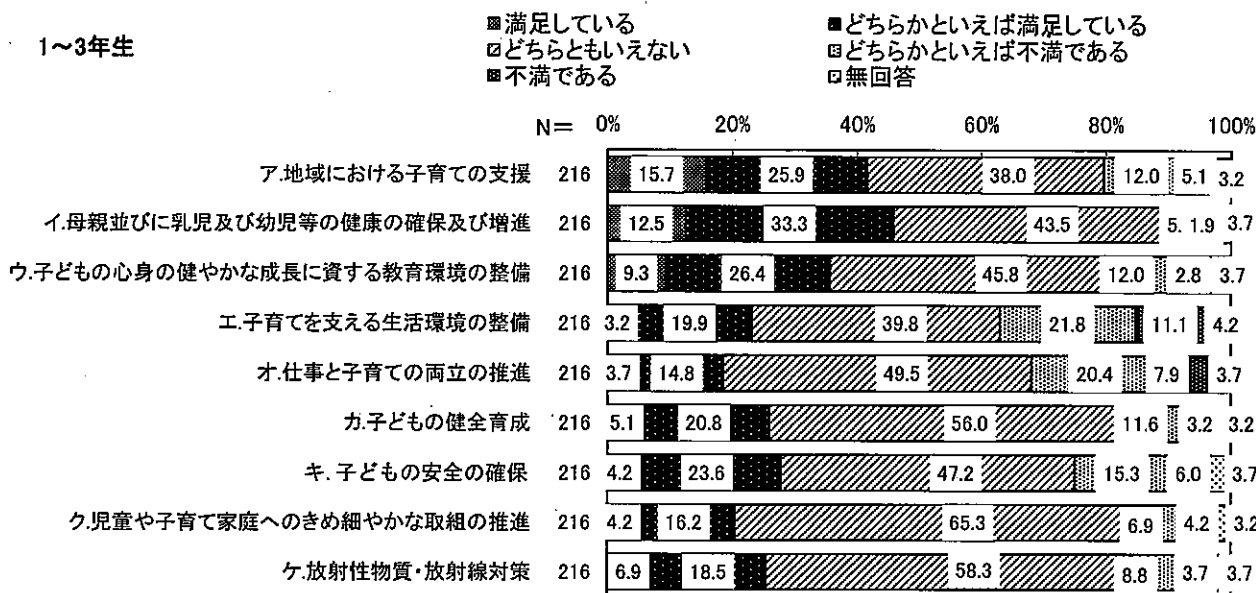
市の取組の満足度[%]

全体



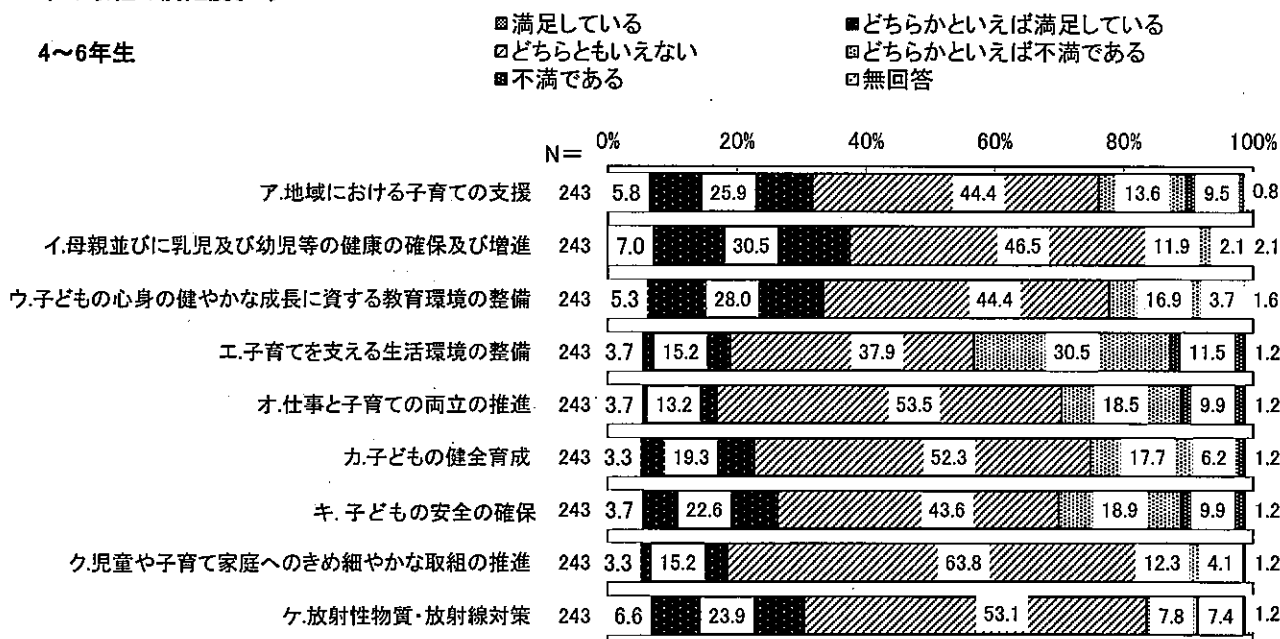
市の取組の満足度[%]

1～3年生



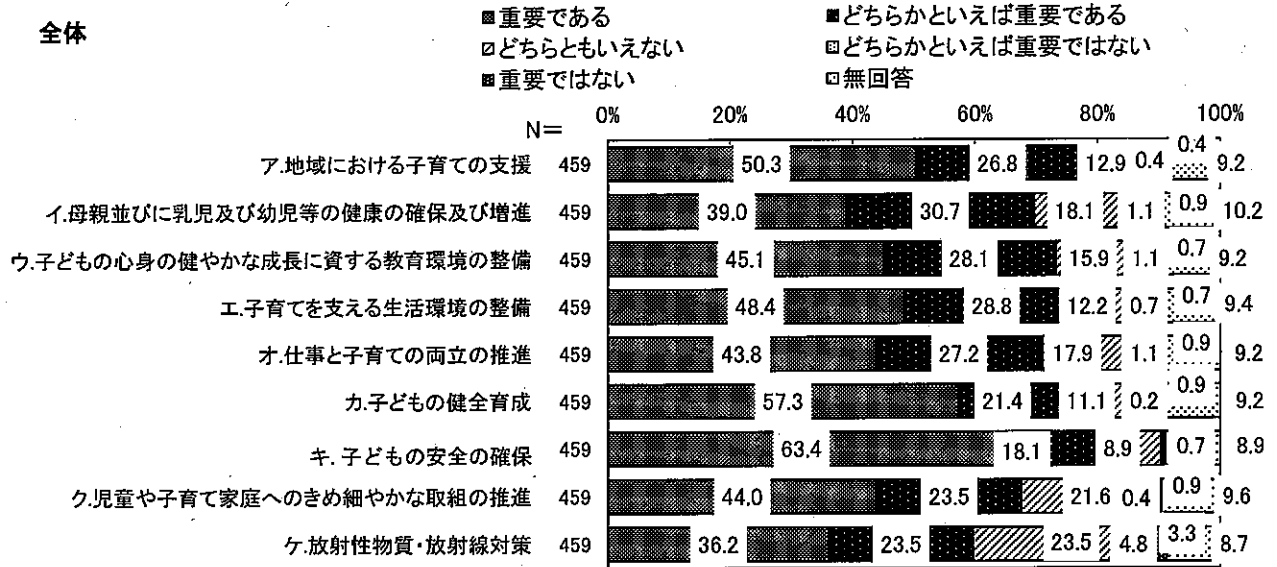
市の取組の満足度[%]

4～6年生



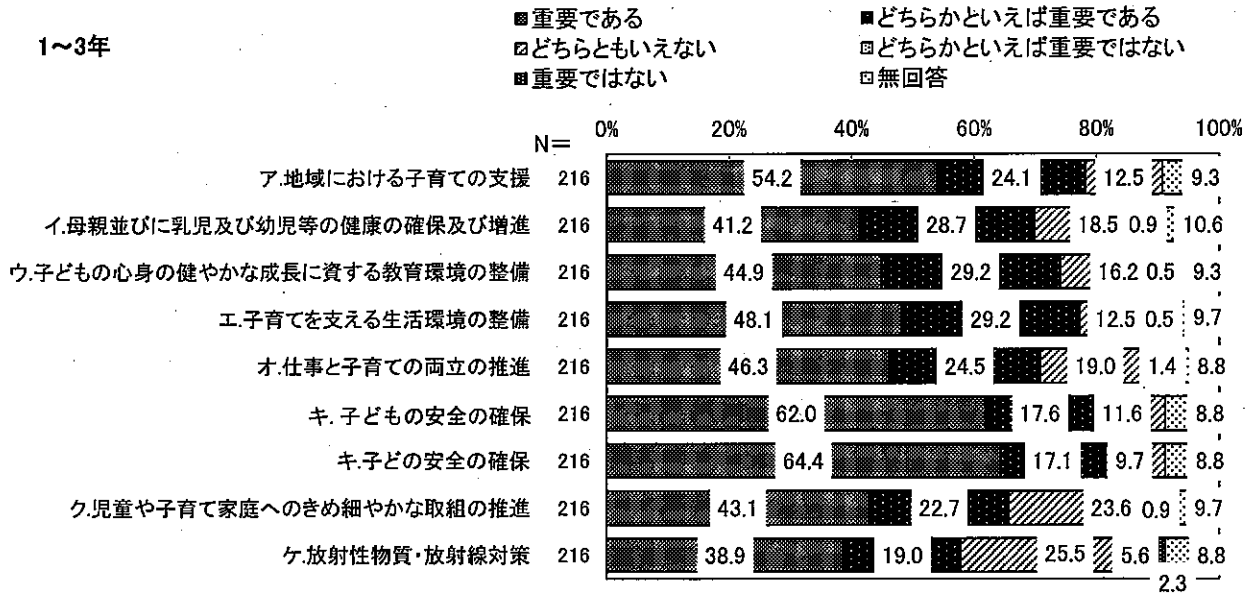
市の取組の重要度[%]

全体



市の取組の重要度[%]

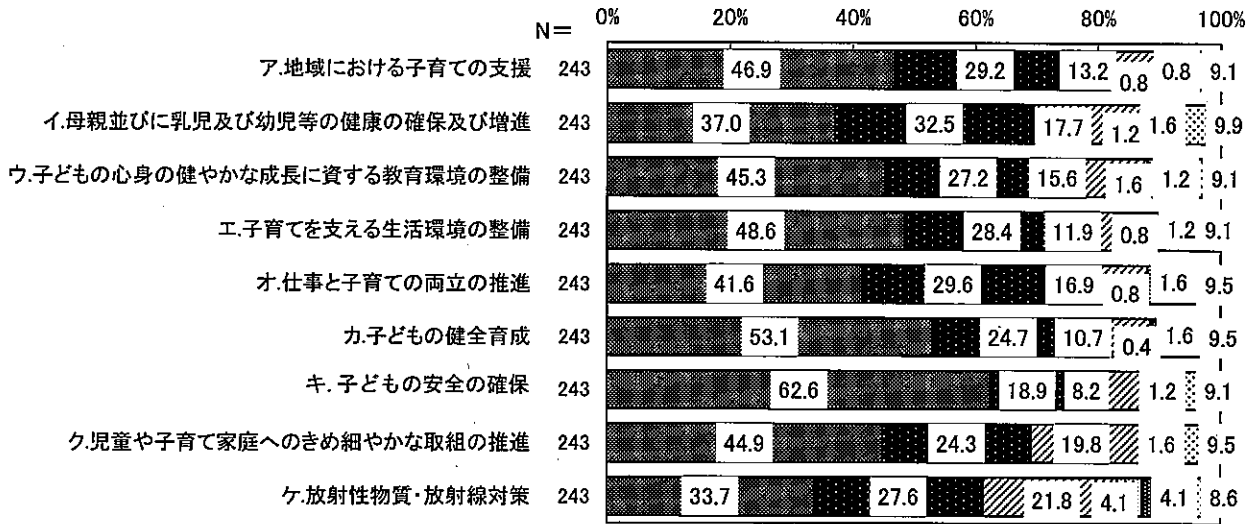
1~3年



市の取組の重要度[%]

4～6年生

- 重要である
- どちらともいえない
- 重要ではない
- どちらかといえば重要である
- どちらかといえば重要ではない
- 無回答



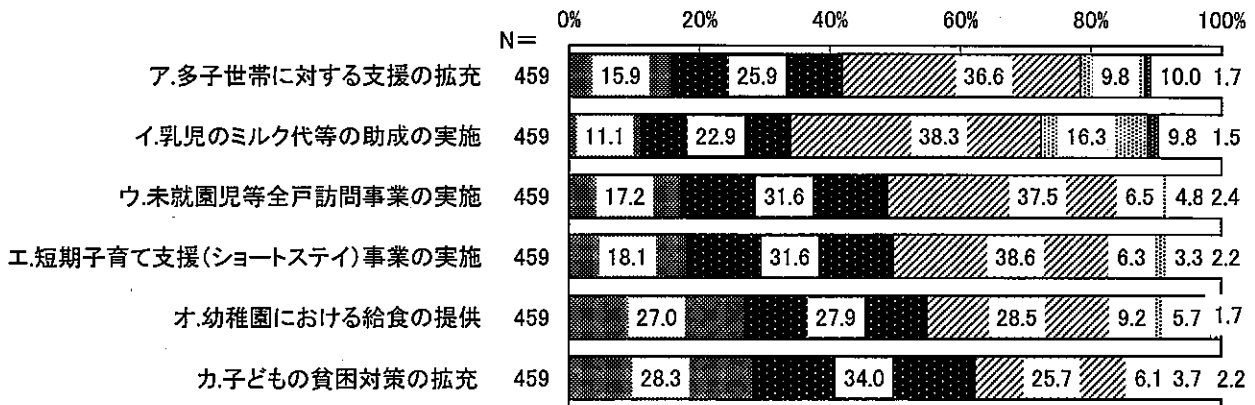
問 19 今後、市に優先的に取り組んで欲しい施策についてお答えください。(項目毎にあてはまる番号1つに○)

市で優先的に取り組んでほしい施策は、全体では「子どもの貧困対策の拡充」「幼稚園における給食の提供」の順で多く、それぞれ「優先度が高いと思う」は、28.3%、27.0%となっています。

市に優先的に取組んで欲しい施策[%]

全体

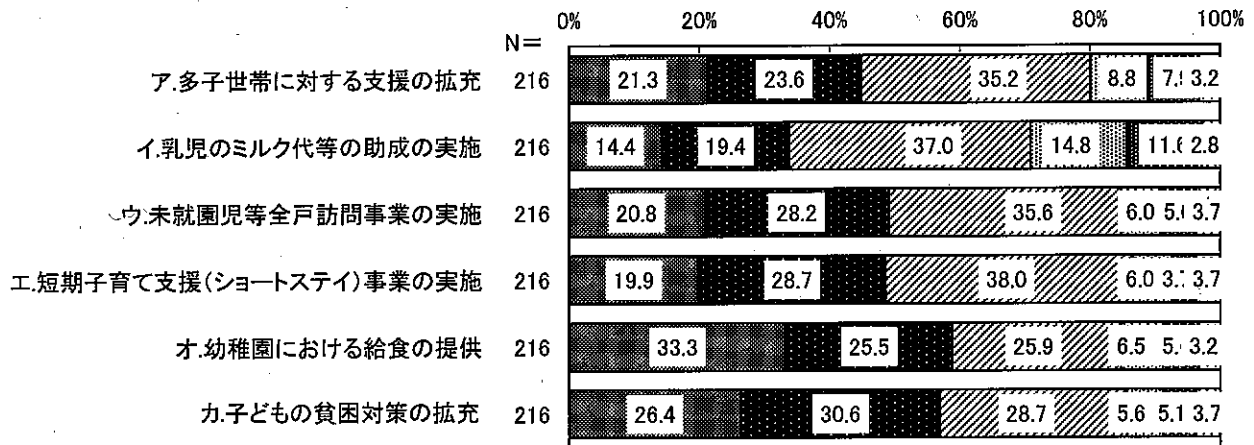
- 優先度が高いと思う
- どちらともいえない
- 優先度が低いと思う
- どちらかというと思う
- どちらかというと思う
- 無回答



市に優先的に取組んで欲しい施策〔%〕

1～3年生

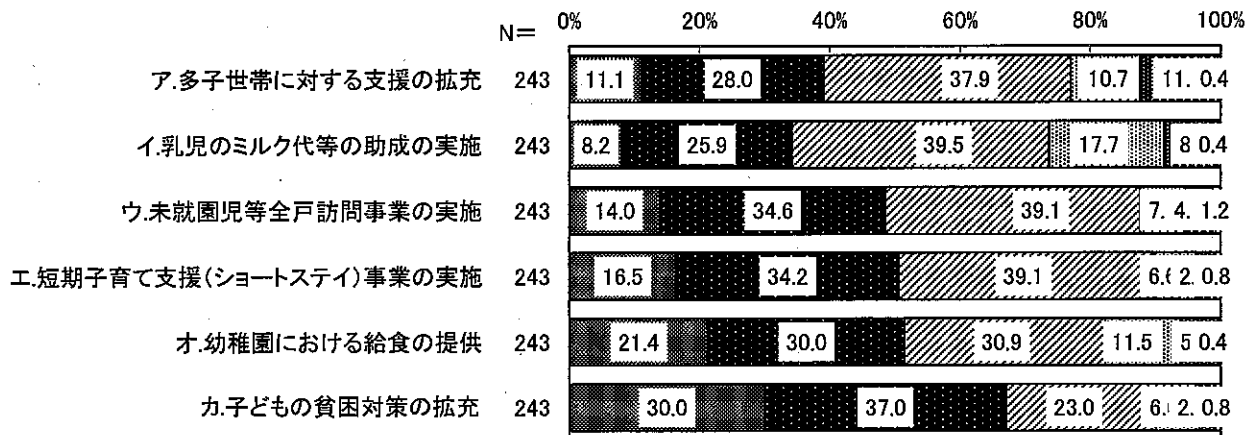
- 優先度が高いと思う
- どちらともいえない
- 優先度が低いと思う
- どちらかという高いと思う
- どちらかという低いと思う
- 無回答



市に優先的に取組んで欲しい施策〔%〕

4～6年生

- 優先度が高いと思う
- どちらともいえない
- 優先度が低いと思う
- どちらかという高いと思う
- どちらかという低いと思う
- 無回答



[市に優先的に取り組んで欲しい施策についての自由記載意見]

160 件の意見が寄せられました。

主な意見としては、「放課後児童クラブ」「学校（施設・設備）」「世帯への助成・支援」等です。

問 20 市の子育て支援や環境づくりについてのご意見、ご要望をご自由にお書きください。

[市の子育て支援や環境づくりについての自由記載意見]

151 件の意見が寄せられました。

主な意見としては、「子育て環境」「放課後児童クラブ」「公共施設」等です。

白河市子育てしやすい環境づくりを進めるための
アンケート調査報告書

2019（平成31年）3月発行

発行：白河市 保健福祉部 こども未来室 こども支援課
〒961-8602 白河市八幡小路7番地1
電話：0248-22-1111 FAX：0248-23-1255